

---

## 第8章

### 精神障がい者調査

(通院患者調査:二次調査結果)

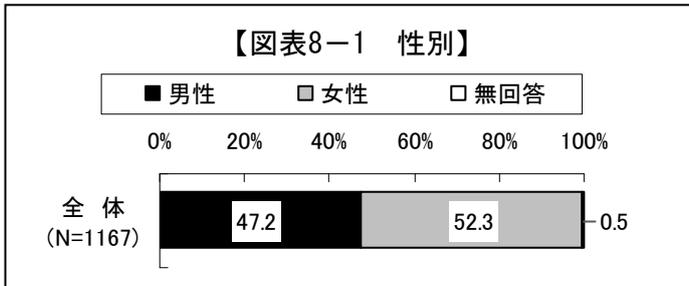
---

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

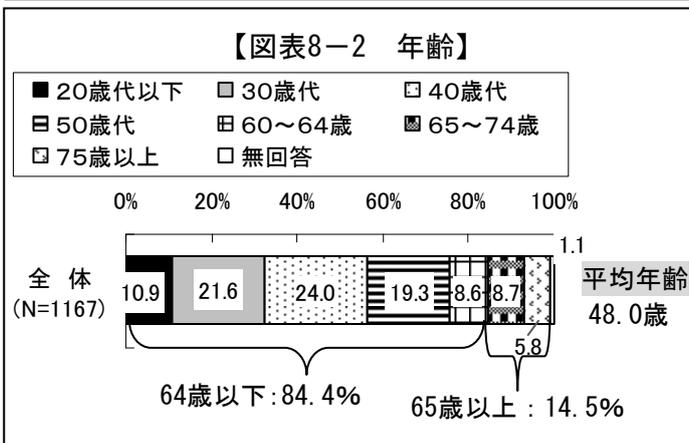
1～4は、医療機関スタッフによる回答結果である（スタッフ票）。

1. 通院患者の基本属性

(1) 性別・年齢・居住地区・収入源

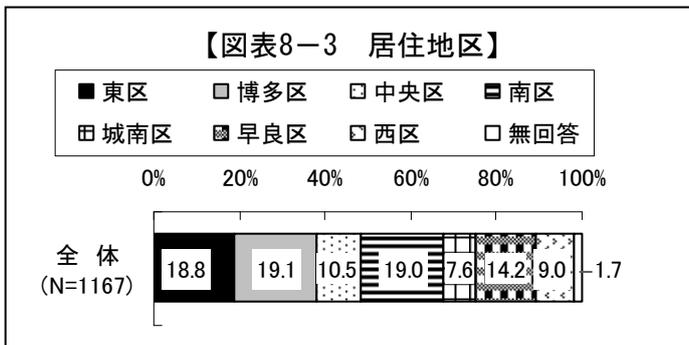


性別は、「女性」(52.3%)、「男性」(47.2%)となっている。

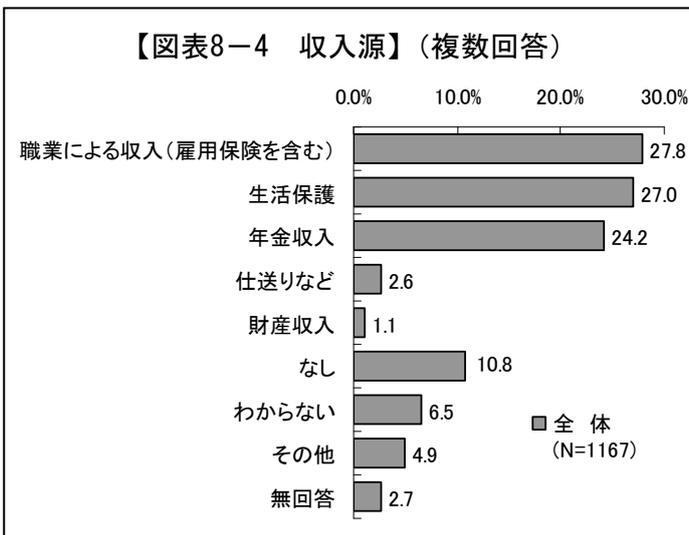


年齢は40歳代(24.0%)が最も多く、次いで「30歳代」(21.6%)、「50歳代」(19.3%)となっている。また、64歳以下(84.4%)が全体の8割強を占めており、平均年齢48.0歳となっている。

前回調査時(平成22年度)は、平均48.6歳であった。

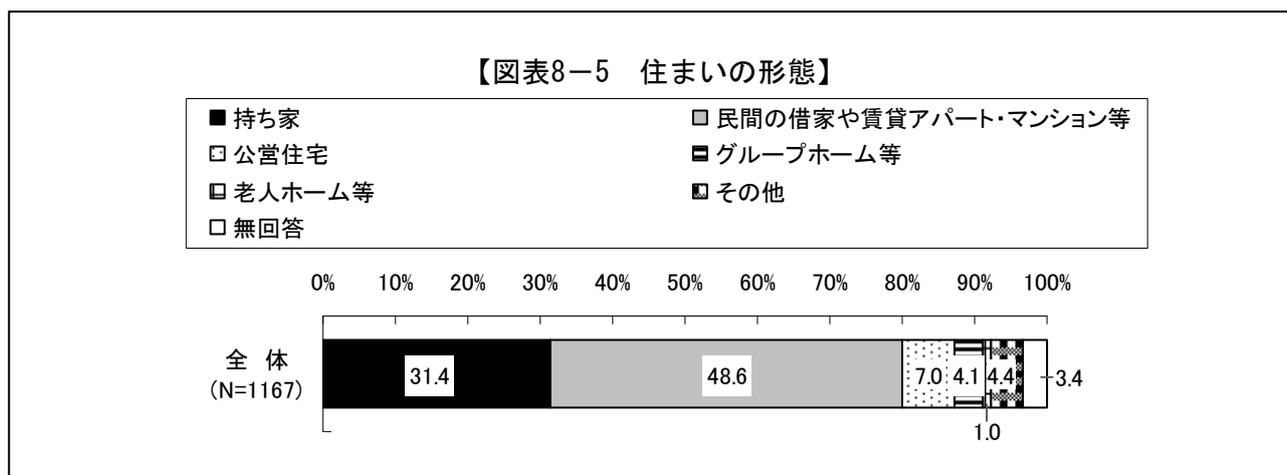


居住地区(住民票の所在地)としては、「博多区」(19.1%)と「南区」(19.0%)、「東区」(18.8%)がほぼ同率で多く、2割弱となっている。



収入源としては、「職業による収入(雇用保険を含む)」(27.8%)と「生活保護」(27.0%)が3割弱と多く、次いで「年金収入」(24.2%)となっている。

(2) 住まいの形態



住まいの形態としては、「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」（48.6%）が最も多く、次いで「持ち家」（31.4%）となっている。

年齢別にみると、若い世代ほど「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」の割合が高く、半数を超えている。

主な診断名（集約）別にみると、依存症の人では「持ち家」（10.0%）の割合が低く、「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」（60.0%）「グループホーム等」（17.5%）の割合が高くなっている。また、認知症の人では「持ち家」（45.2%）、「老人ホーム等」（11.9%）の割合がそれぞれ他に比べて高くなっている。

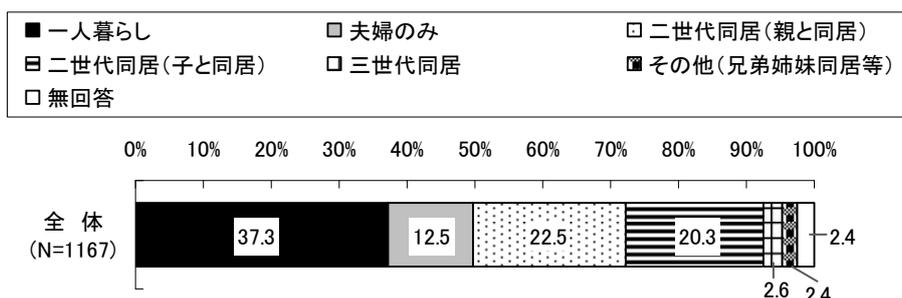
退院からの経過期間別にみると、10年以上になる人では「持ち家」（44.3%）の割合が他に比べて高くなっている。

**【図表8-6 年齢別、主な診断名（集約）別、退院からの経過期間別 住まいの形態】 (%)**

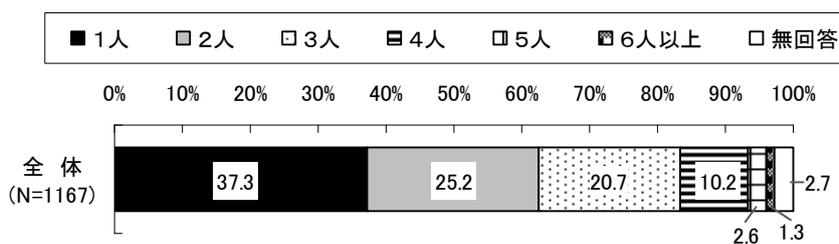
	調査数（人）	住まいの形態							
		持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンション等	公営住宅	グループホーム等	老人ホーム等	その他	無回答	
全体	1167	31.4	48.6	7.0	4.1	1.0	4.4	3.4	
年齢	20歳代以下	127	34.6	55.1	3.1	0.8	-	3.1	3.1
	30歳代	252	28.6	57.5	5.2	4.0	-	4.0	0.8
	40歳代	280	29.3	52.9	6.1	2.9	-	5.0	3.9
	50歳代	225	32.4	46.7	8.0	4.0	-	4.0	4.9
	60～64歳	100	27.0	47.0	11.0	8.0	-	3.0	4.0
	65～74歳	102	33.3	33.3	9.8	8.8	5.9	3.9	4.9
	75歳以上	68	41.2	19.1	11.8	4.4	8.8	10.3	4.4
	無回答	13	53.8	38.5	7.7	-	-	-	-
全体	1167	31.4	48.6	7.0	4.1	1.0	4.4	3.4	
主な診断名（集約）	統合失調症	342	33.3	45.9	7.6	7.9	0.9	1.5	2.9
	気分（感情）障害	452	31.2	54.2	6.6	1.1	0.2	3.3	3.3
	依存症	40	10.0	60.0	10.0	17.5	-	2.5	-
	認知症	42	45.2	16.7	4.8	2.4	11.9	16.7	2.4
	その他	274	30.3	47.4	7.3	2.9	1.1	8.4	2.6
	無回答	17	35.3	23.5	-	-	-	-	41.2
全体	495	32.1	46.9	7.1	8.5	1.2	1.4	2.8	
退院からの経過期間	1年未満	89	20.2	53.9	9.0	9.0	1.1	2.2	4.5
	1～3年未満	107	30.8	49.5	0.9	9.3	2.8	0.9	5.6
	3～5年未満	79	40.5	38.0	10.1	8.9	-	1.3	1.3
	5～10年未満	84	22.6	52.4	9.5	10.7	-	3.6	1.2
	10年以上	79	44.3	39.2	7.6	6.3	1.3	-	1.3
	無回答	57	38.6	45.6	7.0	5.3	1.8	-	1.8

(3) 同居家族の状況

【図表8-7 世帯の状況】



【図表8-8 本人を含む同居家族の人数】



同居家族の続柄から世帯の状況を集約したところ、「一人暮らし」(37.3%)が4割弱で最も多く、次いで「二世帯同居(親と同居)」(22.5%)と「二世帯同居(子と同居)」(20.3%)が2割台で続いている。また、同居家族の人数は、「1人」(37.3%)、「2人」(25.2%)、「3人」(20.7%)となっている。

年齢別にみると、「二世帯同居(親と同居)」の割合は年代が若いほど高い。「一人暮らし」はどの年代も3割以上を占める。

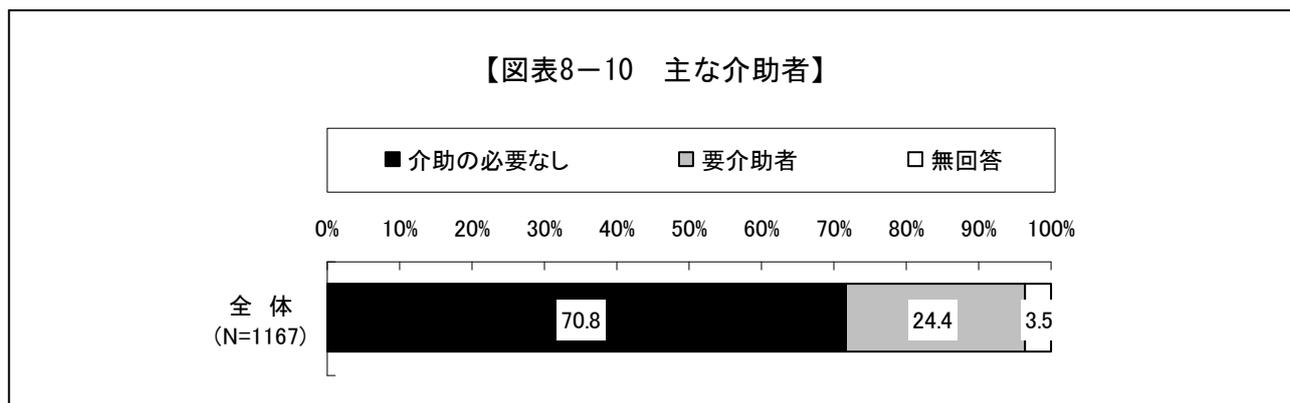
主な診断名(集約)別にみると、依存症の人では他に比べて「一人暮らし」(72.5%)の割合が高く、認知症の人では「二世帯同居(子と同居)」が5割を占めている。

要介護認定別にみると、要介護4~5の人では「一人暮らし」(14.3%)が少なく、「二世帯同居(子と同居)」(71.4%)が7割強を占めている。また、要支援1~2の人では「一人暮らし」の割合が高く、半数弱を占めている。

【図表8-9 年齢別、主な診断名(集約)別、要介護認定別 世帯の状況】(%)

	調査数(人)	世帯の状況							
		一人暮らし	夫婦のみ	(二世帯同居)	(二世帯同居)	三世帯同居	姉妹同居等(兄弟)	その他(兄弟)	無回答
全体	1167	37.3	12.5	22.5	20.3	2.6	2.4	2.4	
年齢	20歳代以下	127	30.7	2.4	55.1	0.8	3.9	3.1	3.9
	30歳代	252	34.1	8.7	35.3	15.9	2.4	2.0	1.6
	40歳代	280	34.6	10.4	22.5	23.9	3.9	2.1	2.5
	50歳代	225	38.7	16.9	12.0	27.1	2.7	1.3	1.3
	60~64歳	100	48.0	14.0	6.0	23.0	1.0	5.0	3.0
	65~74歳	102	51.0	18.6	2.9	19.6	-	2.9	4.9
	75歳以上	68	30.9	29.4	1.5	35.3	-	2.9	-
	無回答	13	38.5	7.7	30.8	7.7	7.7	-	7.7
主な診断名(集約)	全体	1167	37.3	12.5	22.5	20.3	2.6	2.4	2.4
	統合失調症	342	38.6	6.4	34.5	12.3	3.2	2.9	2.0
	気分(感情)障害	452	35.0	17.3	17.3	24.8	1.8	2.4	1.5
	依存症	40	72.5	2.5	12.5	10.0	-	-	2.5
	認知症	42	31.0	16.7	2.4	50.0	-	-	-
	その他	274	36.5	13.9	20.4	20.8	3.6	2.6	2.2
無回答	17	17.6	-	29.4	5.9	5.9	-	41.2	
要介護認定	全体	1167	37.3	12.5	22.5	20.3	2.6	2.4	2.4
	対象外(年齢)	388	33.2	6.4	41.8	10.6	3.1	2.3	2.6
	要介護認定なし	668	38.8	15.1	14.5	24.1	2.7	2.2	2.5
	要支援1~2	19	47.4	21.1	-	26.3	-	5.3	-
	要介護1~3	30	46.7	20.0	-	33.3	-	-	-
	要介護4~5	7	14.3	-	14.3	71.4	-	-	-
無回答	55	41.8	18.2	5.5	27.3	-	5.5	1.8	

(4) 主な介助者



介助の必要がない者（「介助の必要なし」）が7割を占め、介助が必要な者（「要介助者」）（24.4%）は3割弱を占めている。主な介助者としては「母親」（6.8%）や「配偶者（夫・妻）」（6.5%）、「サービス事業者」（5.0%）が5%以上でやや多い。

年齢別にみると、60歳代を境に大きく変化しており、50歳代までは「介助の必要なし」の割合が7～8割弱と高いが、60歳代以上では徐々に少なくなり、75歳以上では2割（20.6%）となっている。また、60歳以上では50歳代以下に比べて「配偶者（夫・妻）」の割合が高く、特に75歳以上では3割弱（29.4%）となっている。さらに、65歳以上の高齢者では「サービス事業者」の割合も1割を超えて高い。

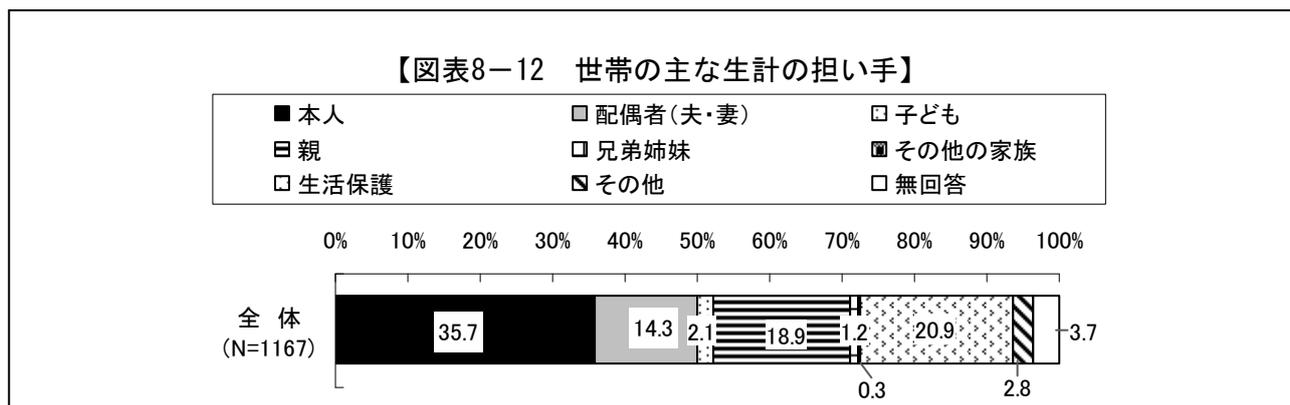
主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では他に比べて「配偶者（夫・妻）」（33.3%）や「子ども」（31.0%）の割合が高く、3割強となっている。また、「サービス事業者」（21.4%）の割合も2割強と高い。

要介護認定別にみると、要介護4～5の人では、調査数が7人と少ないが「子ども」と「サービス事業者」のみが、主な介助者となっている。

**【図表8-11 年齢別、主な診断名（集約）別、要介護認定別 主な介助者】（%）**

	調査数（人）	主な介助者											
		介助の必要なし	父親	母親	祖父母	配偶者（夫・妻）	子ども	兄弟姉妹	その他の家族	サービス事業者	その他	無回答	
全体	1167	70.8	1.4	6.8	0.1	6.5	2.8	1.4	0.3	5.0	1.5	3.5	
年齢	20歳代以下	127	72.4	3.9	18.1	0.8	-	-	-	1.6	-	3.1	
	30歳代	252	77.8	2.0	9.9	-	3.6	-	0.8	0.4	2.8	1.2	1.6
	40歳代	280	77.9	2.1	7.1	-	3.6	-	1.1	-	3.2	2.1	2.9
	50歳代	225	77.8	-	4.0	-	5.8	2.2	0.9	-	3.6	0.9	4.9
	60～64歳	100	69.0	-	-	-	12.0	4.0	5.0	-	6.0	1.0	3.0
	65～74歳	102	51.0	-	1.0	-	10.8	6.9	3.9	-	17.6	2.9	5.9
	75歳以上	68	20.6	-	-	-	29.4	25.0	-	4.4	11.8	2.9	5.9
	無回答	13	76.9	-	7.7	-	7.7	-	-	-	-	-	7.7
全体	1167	70.8	1.4	6.8	0.1	6.5	2.8	1.4	0.3	5.0	1.5	3.5	
主な診断名（集約）	統合失調症	342	60.8	2.9	13.5	-	5.0	2.0	2.3	0.3	7.0	1.5	4.7
	気分（感情）障害	452	80.8	0.7	2.4	-	7.1	2.0	1.3	-	2.4	1.5	1.8
	依存症	40	77.5	-	2.5	-	-	-	2.5	-	12.5	-	5.0
	認知症	42	-	-	-	-	33.3	31.0	-	4.8	21.4	7.1	2.4
	その他	274	77.4	1.1	7.3	0.4	4.7	1.5	0.4	0.4	3.3	0.7	2.9
	無回答	17	58.8	-	5.9	-	-	-	-	-	-	-	35.3
全体	1167	70.8	1.4	6.8	0.1	6.5	2.8	1.4	0.3	5.0	1.5	3.5	
要介護認定	対象外（年齢）	388	76.0	2.6	12.6	0.3	2.3	-	0.5	0.3	2.3	0.8	2.3
	要介護認定なし	668	76.6	0.7	3.9	-	7.0	1.8	1.0	-	3.6	1.6	3.6
	要支援1～2	19	21.1	-	-	-	10.5	31.6	-	5.3	31.6	-	-
	要介護1～3	30	3.3	-	-	-	33.3	13.3	-	6.7	33.3	6.7	3.3
	要介護4～5	7	-	-	-	-	-	57.1	-	-	42.9	-	-
	無回答	55	25.5	1.8	7.3	-	14.5	12.7	12.7	-	10.9	1.8	12.7

(5) 世帯の主な生計の担い手



世帯の主な生計の担い手としては、「本人」(35.7%)が最も多く、次いで「生活保護」(20.9%)、「親」(18.9%)、「配偶者(夫・妻)」(14.3%)となっている。

年齢別にみると、30歳代以下では他の年代に比べて「親」の割合が高く、特に20歳代以下では6割(60.6%)と高くなっている。また、50歳代～64歳では「配偶者(夫・妻)」、65～74歳では「本人」の割合が他の年代に比べて高い。

主な診断名(集約)別にみると、統合失調症では「親」(30.7%)が3割を占め、気分(感情)障害では「本人」(41.2%)と4割以上を占めている。

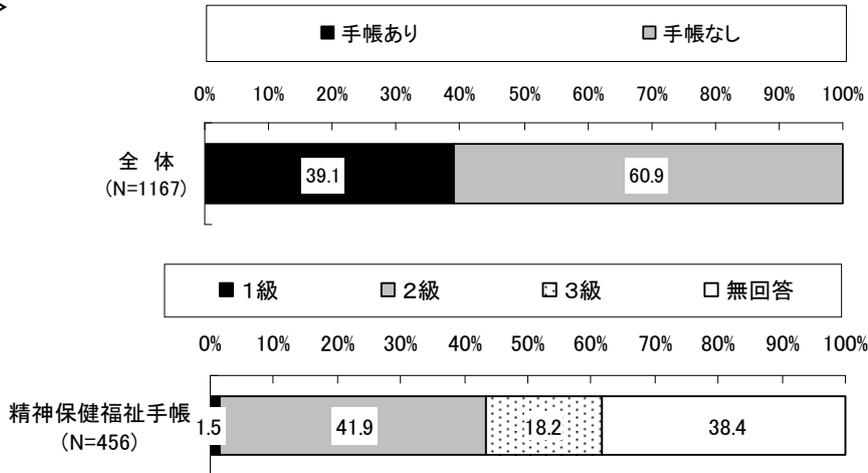
**【図表8-13 年齢別、主な診断名(集約)別 世帯の主な生計の担い手】(%)**

	調査数(人)	世帯の主な生計の担い手									
		本人	配偶者(夫・妻)	子ども	親	兄弟姉妹	その他の家族	生活保護	その他	無回答	
全体	1167	35.7	14.3	2.1	18.9	1.2	0.3	20.9	2.8	3.7	
年齢	20歳代以下	127	22.0	0.8	-	60.6	-	0.8	11.8	0.8	3.1
	30歳代	252	32.5	12.7	-	30.2	1.2	0.8	21.0	0.8	0.8
	40歳代	280	38.2	15.7	-	16.1	1.8	-	23.6	1.4	3.2
	50歳代	225	38.7	19.6	0.9	8.0	1.3	-	25.3	2.7	3.6
	60～64歳	100	32.0	23.0	4.0	2.0	2.0	-	29.0	1.0	7.0
	65～74歳	102	48.0	13.7	8.8	1.0	1.0	1.0	16.7	3.9	5.9
	75歳以上	68	41.2	13.2	13.2	-	-	-	4.4	19.1	8.8
	無回答	13	30.8	-	-	15.4	-	-	30.8	15.4	7.7
全体	1167	35.7	14.3	2.1	18.9	1.2	0.3	20.9	2.8	3.7	
主な診断名(集約)	統合失調症	342	26.0	9.1	1.8	30.7	2.6	0.9	22.5	1.2	5.3
	気分(感情)障害	452	41.2	18.6	1.5	12.4	1.1	0.2	21.7	2.0	1.3
	依存症	40	35.0	-	2.5	7.5	-	-	50.0	-	5.0
	認知症	42	40.5	7.1	16.7	-	-	-	2.4	28.6	4.8
	その他	274	39.8	17.2	1.1	19.0	-	-	17.2	2.9	2.9
	無回答	17	11.8	11.8	-	29.4	-	-	5.9	-	41.2

(6) 手帳の状況

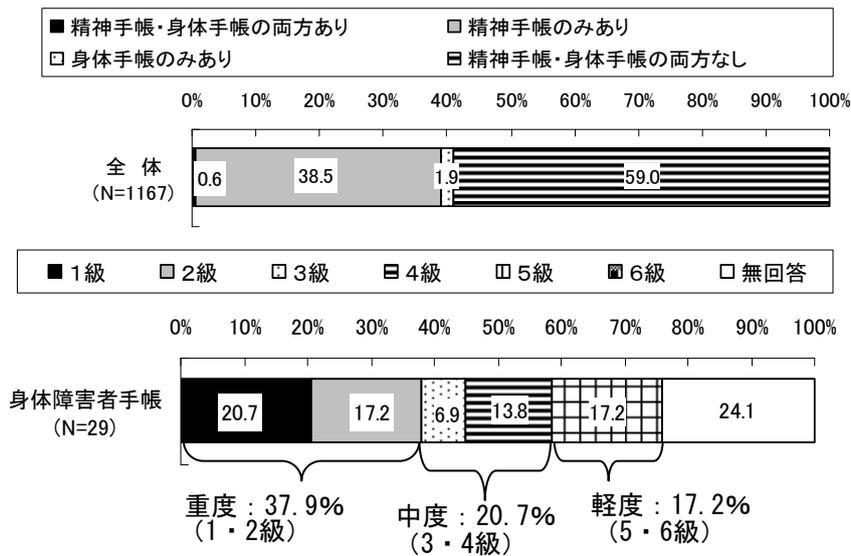
【図表8-14 精神保健福祉手帳の所持状況、等級】

<精神手帳>

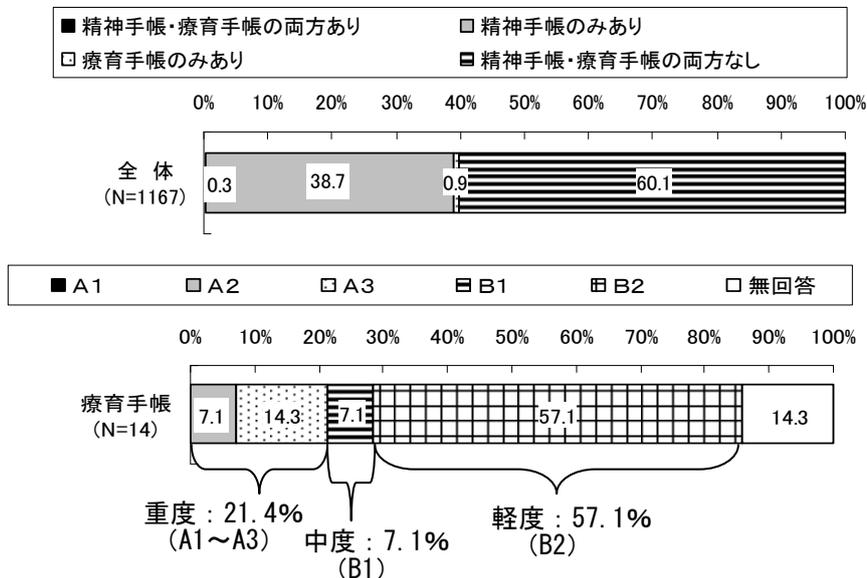


【図表8-15 他の障害者手帳との重複所持状況、等級・判定】

<身体手帳>



<療育手帳>



## 第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

手帳の状況としては、精神保健福祉手帳の所持者は約4割（39.1%）おり、「1級」（1.5%）、「2級」（41.9%）、「3級」（18.2%）となっている。身体障害者手帳所持者（2.5%）と療育手帳所持者（1.2%）はいずれも2%前後である。

精神保健福祉手帳と身体障害者手帳を持っている人は0.6%、身体障害者手帳のみの方は1.9%であり、また、精神保健福祉手帳と療育手帳を持っている人は0.3%、療育手帳のみの方は0.9%であった。

身体障害者手帳の等級では、1・2級の重度者が37.9%で最も多く、中度者（3・4級）が20.7%、軽度者（5・6級）17.2%となっている。

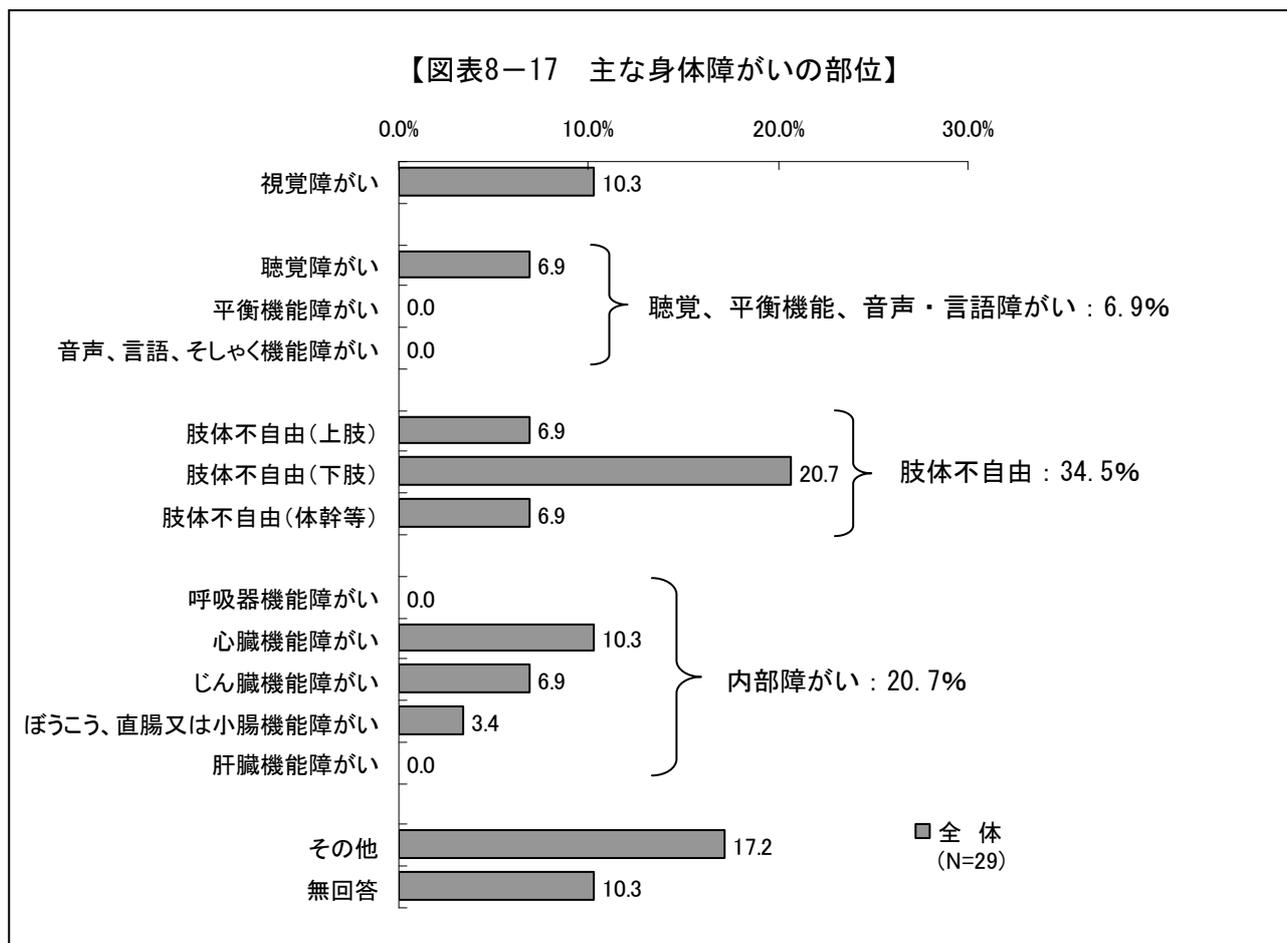
精神保健福祉手帳の所持状況を年齢別にみると、20歳代以下では3割が所持しており、30歳代～64歳では、4割強が所持している。

主な診断名（詳細）別にみると、統合失調症（66.7%）は他の疾患に比べ7割弱と多く所持している。認知症の9割以上、うつ病やパーソナリティ障害の約7割は「手帳なし」となっている。

【図表8-16 年齢別、主な診断名（詳細）別 手帳の所持状況、精神保健福祉手帳の等級】（%）

	調査数（人）	手帳の所持状況				調査数（人）	精神保健福祉手帳の等級				
		精神保健福祉手帳	身体障害者手帳	療育手帳	手帳なし		1級	2級	3級	無回答	
全体	1167	39.1	2.5	1.2	58.3	456	1.5	41.9	18.2	38.4	
年齢	20歳代以下	127	29.9	-	1.6	69.3	38	-	18.4	23.7	57.9
	30歳代	252	41.3	2.8	2.0	54.8	104	1.0	40.4	16.3	42.3
	40歳代	280	43.6	2.5	1.4	53.9	122	0.8	48.4	18.0	32.8
	50歳代	225	41.8	2.7	0.9	56.0	94	-	43.6	16.0	40.4
	60～64歳	100	47.0	3.0	-	52.0	47	6.4	48.9	21.3	23.4
	65～74歳	102	39.2	4.9	-	55.9	40	5.0	45.0	20.0	30.0
	75歳以上	68	10.3	1.5	-	88.2	7	-	-	28.6	71.4
無回答	13	30.8	-	7.7	61.5	4	-	25.0	-	75.0	
全体	1167	39.1	2.5	1.2	58.3	456	1.5	41.9	18.2	38.4	
主な診断名（詳細）	統合失調症	342	66.7	1.8	1.5	31.3	228	2.6	55.7	14.0	27.6
	非定型精神病	14	28.6	7.1	-	64.3	4	-	25.0	25.0	50.0
	うつ病	348	29.6	1.7	-	69.0	103	1.0	30.1	29.1	39.8
	双極性感情障害	104	37.5	1.9	-	60.6	39	-	28.2	12.8	59.0
	てんかん	7	28.6	14.3	14.3	57.1	2	-	-	-	100.0
	精神遅滞	12	41.7	16.7	41.7	25.0	5	-	40.0	-	60.0
	アルコール依存症	32	46.9	3.1	-	50.0	15	-	13.3	20.0	66.7
	その他の薬物依存症	8	50.0	-	-	50.0	4	-	50.0	25.0	25.0
	パーソナリティ障害	13	30.8	-	-	69.2	4	-	25.0	25.0	50.0
	認知症	42	2.4	4.8	-	92.9	1	-	100.0	-	-
	高次脳機能障害	3	66.7	-	-	33.3	2	-	50.0	-	50.0
	その他の老年精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	223	19.7	2.2	1.3	77.1	44	-	25.0	18.2	56.8
	診断保留	2	100.0	50.0	-	-	2	-	50.0	50.0	-
無回答	17	17.6	11.8	-	76.5	3	-	-	33.3	66.7	

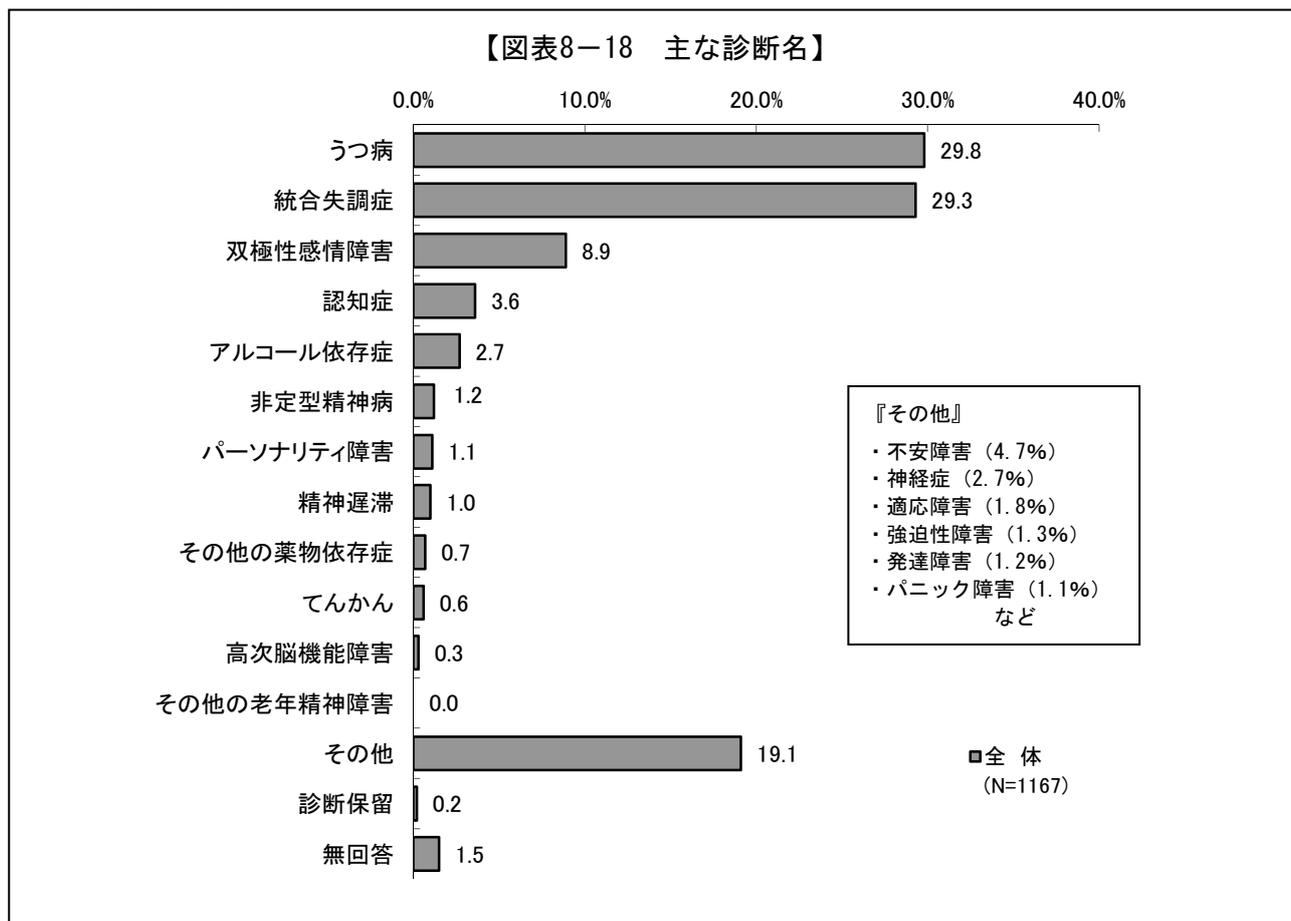
(7) 主な身体障がいの部位



身体障害者手帳所持者の主な身体障がいの部位（大分類）では、「肢体不自由」（34.5%）が3割強を占めて最も多く、次いで「内部障がい」（20.7%）となっている。

2. 患者の疾患や入通院状況

(1) 主な診断名



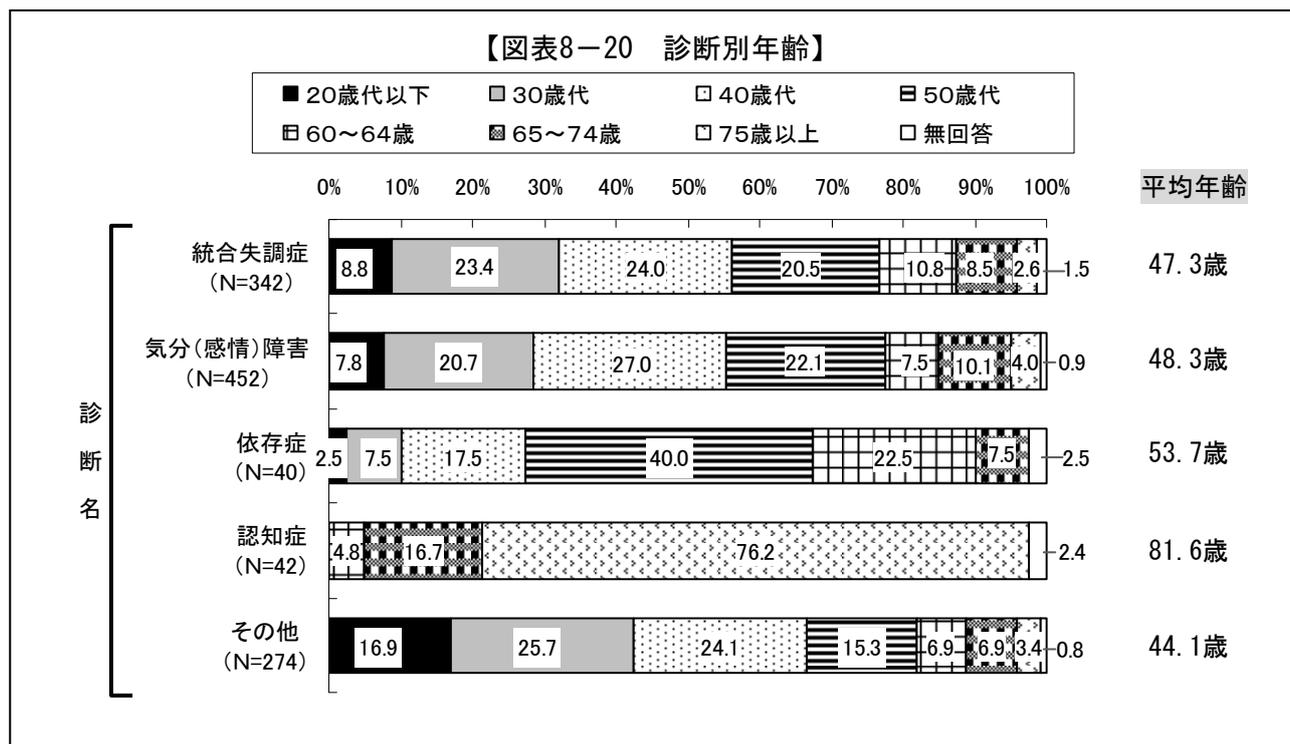
主な診断名は、「うつ病」(29.8%)と「統合失調症」(29.3%)が約3割と多い。

主な診断名について、性別にみると、男性では女性に比べて「統合失調症」(33.8%)や「アルコール依存症」(5.1%)等の割合が高い。

年齢別にみると、いずれの年齢においても「うつ病」と「統合失調症」の割合が高くなっており、60～64歳では「統合失調症」(37.0%)が、65～74歳では「うつ病」(34.3%)の割合が最も高い。また、「双極性感情障害」の割合は概ね年齢が若いほど高くなっている。75歳以上では「認知症」(47.1%)が5割弱を占めている。

【図表8-19 性別、年齢別 主な診断名】(%)

	調査数(人)	主な診断名															
		うつ病	統合失調症	双極性感情障害	認知症	アルコール依存症	非定型精神病	パーソナリティ障害	精神遅滞	依存症	その他の薬物	てんかん	高次脳機能障害	精神遅滞	その他の老年	その他	診断保留
全体	1167	29.8	29.3	8.9	3.6	2.7	1.2	1.1	1.0	0.7	0.6	0.3	-	19.1	0.2	1.5	
性別	男性	551	27.8	33.8	7.6	2.5	5.1	0.5	0.4	1.3	0.7	0.9	0.4	-	18.1	0.2	0.7
	女性	610	31.8	25.4	10.2	4.4	0.7	1.8	1.8	0.8	0.5	0.3	0.2	-	19.8	0.2	2.1
	無回答	6	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	-	33.3	-	-
全体	1167	29.8	29.3	8.9	3.6	2.7	1.2	1.1	1.0	0.7	0.6	0.3	-	19.1	0.2	1.5	
年齢	20歳代以下	127	21.3	23.6	12.6	-	-	1.6	1.6	3.1	0.8	-	0.8	-	30.7	-	3.9
	30歳代	252	28.6	31.7	11.5	-	1.2	2.4	3.2	0.4	-	0.8	-	20.2	-	-	
	40歳代	280	33.6	29.3	9.3	-	1.8	1.1	1.1	1.4	0.7	-	-	18.9	-	2.1	
	50歳代	225	34.2	31.1	8.0	-	5.8	0.4	-	0.9	1.3	0.4	-	16.0	-	1.8	
	60～64歳	100	26.0	37.0	9.0	2.0	8.0	-	-	-	1.0	1.0	-	15.0	1.0	-	
	65～74歳	102	34.3	28.4	4.9	6.9	2.9	2.0	-	-	-	1.0	1.0	-	16.7	-	2.0
	75歳以上	68	20.6	13.2	1.5	47.1	-	-	-	-	-	-	1.5	-	14.7	1.5	-
無回答	13	23.1	38.5	-	7.7	-	-	-	7.7	7.7	-	-	-	15.4	-	-	



主な診断名別に年齢をみると、統合失調症と気分（感情）障害は、すべての年齢でほぼ同じ傾向がみられるが、依存症では他に比べて「50歳代」（40.0%）や「60～64歳」（22.5%）の割合が高い。また、認知症は「75歳以上」（76.2%）が8割弱と大半を占めている。

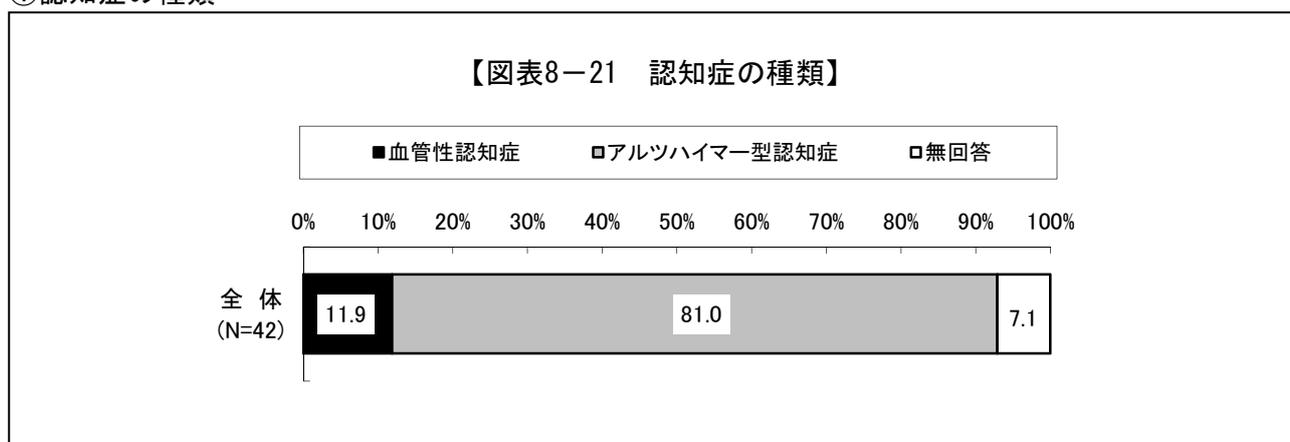
<図表中の診断名（集約）の表記>

以降の図表中の診断（疾患）名は、原則として、以下の区分・内容により表記している。

区分	具体的な診断（疾患）の内容
統合失調症	統合失調症
気分（感情）障害	うつ病、双極性感情障害
依存症	アルコール依存症、その他の薬物依存症
認知症	認知症
その他	非定型精神病、てんかん、精神遅滞、パーソナリティ障害、高次脳機能障害、その他の老年精神障害、その他、診断保留

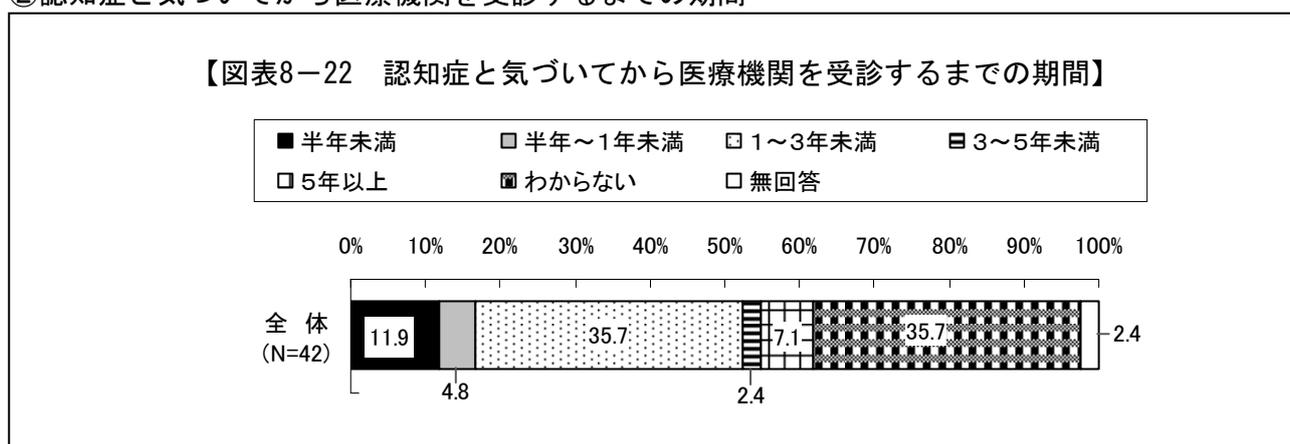
(2) 認知症患者の状況

① 認知症の種類



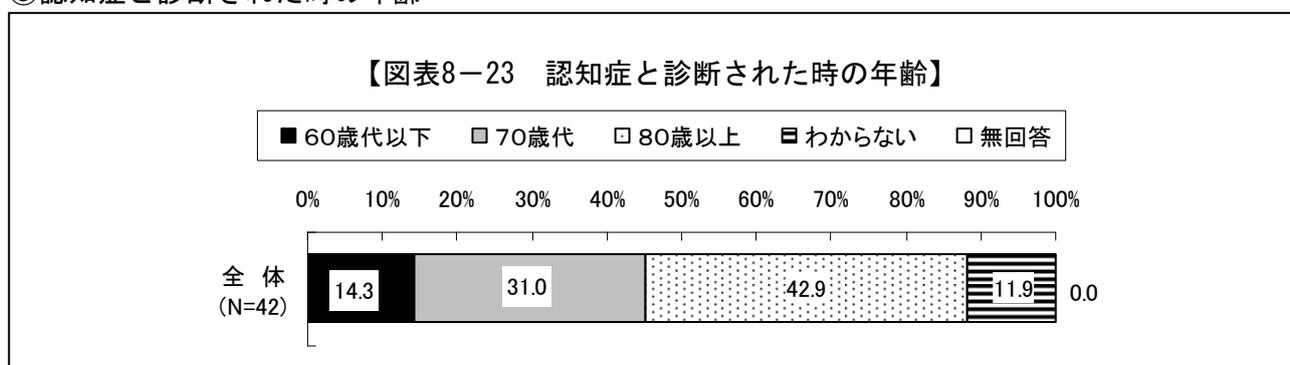
認知症の種類では「アルツハイマー型認知症」(81.0%)が8割強と大半を占めている。  
 (アンケート中の該当がなかった「レビー小体型認知症」「前頭側頭型認知症」「その他」はグラフには表示せず)

② 認知症と気づいてから医療機関を受診するまでの期間



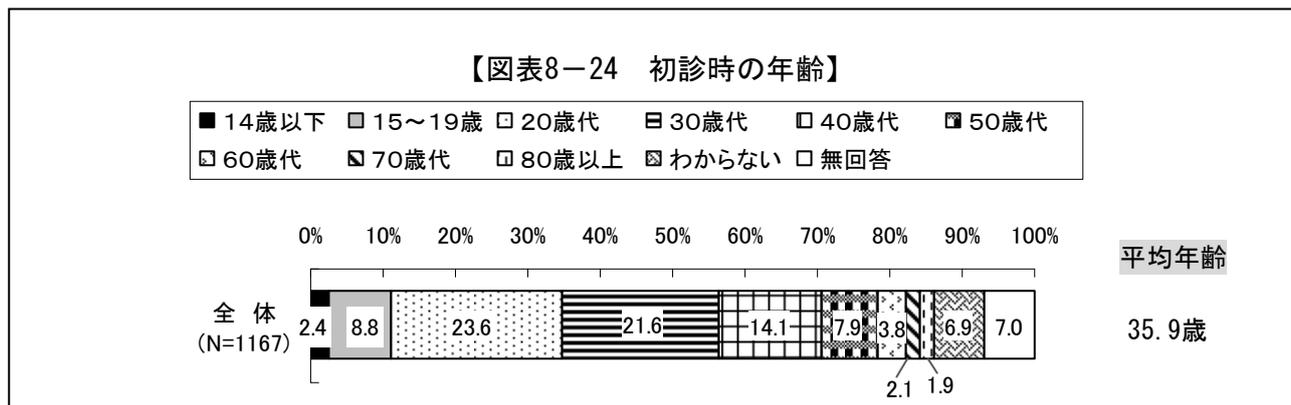
認知症と気づいてから医療機関を受診するまでの期間としては、「1～3年未満」(35.7%)、「半年未満」(11.9%)の順となっており、「わからない」(35.7%)が3割強であった。

③ 認知症と診断された時の年齢



認知症と診断された時の年齢は、「80歳以上」(42.9%)が最も多く、次いで「70歳代」(31.0%)、「60歳代以下」(14.3%)となっている。また、「わからない」(11.9%)が1割強を占めている。

(3) 初診時の年齢



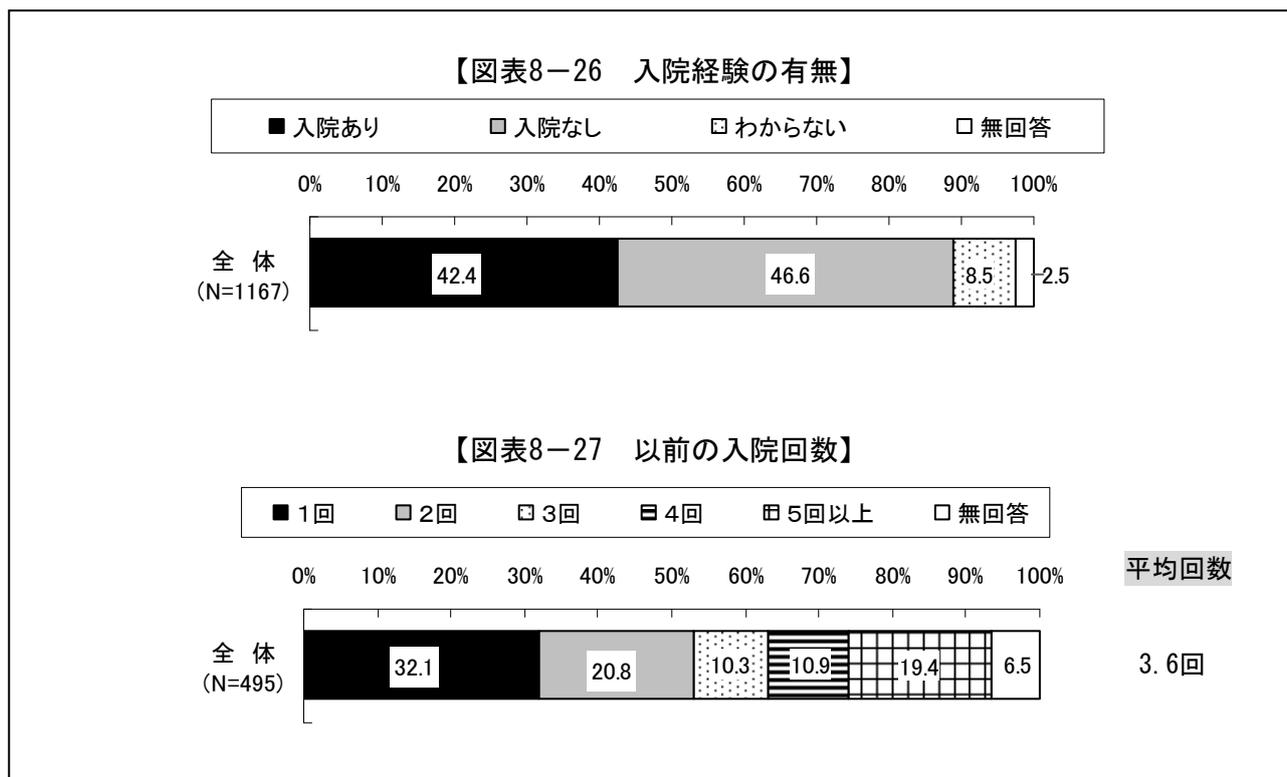
初めて精神科・神経科を受診した時の年齢は、「20歳代」(23.6%)が最も多く、次いで「30歳代」(21.6%)、「40歳代」(14.1%)となっており、平均年齢は35.9歳である。

主な診断名（詳細）別にみると、統合失調症、非定型精神病、パーソナリティ障害、では「20歳代」が4割弱～6割弱を占めている。その他の薬物依存では「40歳代」が4割弱を占めていた。

【図表8-25 主な診断名（詳細）別 初診時の年齢】 (%)

	調査数 (人)	初診時の年齢											
		14歳以下	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答	
全体	1167	2.4	8.8	23.6	21.6	14.1	7.9	3.8	2.1	1.9	6.9	7.0	
主な診断名 (詳細)	統合失調症	342	3.8	15.5	36.8	21.9	8.2	2.0	0.6	0.3	0.3	6.1	4.4
	非定型精神病	14	-	-	57.1	28.6	7.1	-	-	-	-	-	7.1
	うつ病	348	1.1	3.4	13.8	23.9	19.0	12.9	6.0	1.4	-	8.0	10.3
	双極性感情障害	104	3.8	10.6	31.7	24.0	12.5	7.7	1.0	-	-	4.8	3.8
	てんかん	7	14.3	14.3	-	28.6	-	14.3	-	-	-	14.3	14.3
	精神遅滞	12	8.3	33.3	25.0	-	16.7	-	-	-	-	8.3	8.3
	アルコール依存症	32	-	-	3.1	28.1	25.0	25.0	9.4	-	-	6.3	3.1
	その他の薬物依存症	8	-	-	12.5	12.5	37.5	12.5	-	-	-	25.0	-
	パーソナリティ障害	13	-	7.7	46.2	30.8	15.4	-	-	-	-	-	-
	認知症	42	-	-	-	-	-	4.8	7.1	26.2	45.2	14.3	2.4
	高次脳機能障害	3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-
	その他の老年精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	223	2.2	8.5	21.1	20.2	17.5	8.1	6.3	2.2	0.9	6.3	6.7
診断保留	2	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	
無回答	17	-	5.9	11.8	23.5	5.9	5.9	-	-	-	5.9	41.2	

(4) 入院経験の有無・回数



以前の精神科病院への入院経験の有無は、「入院あり」（42.4％）が4割強を占めている。

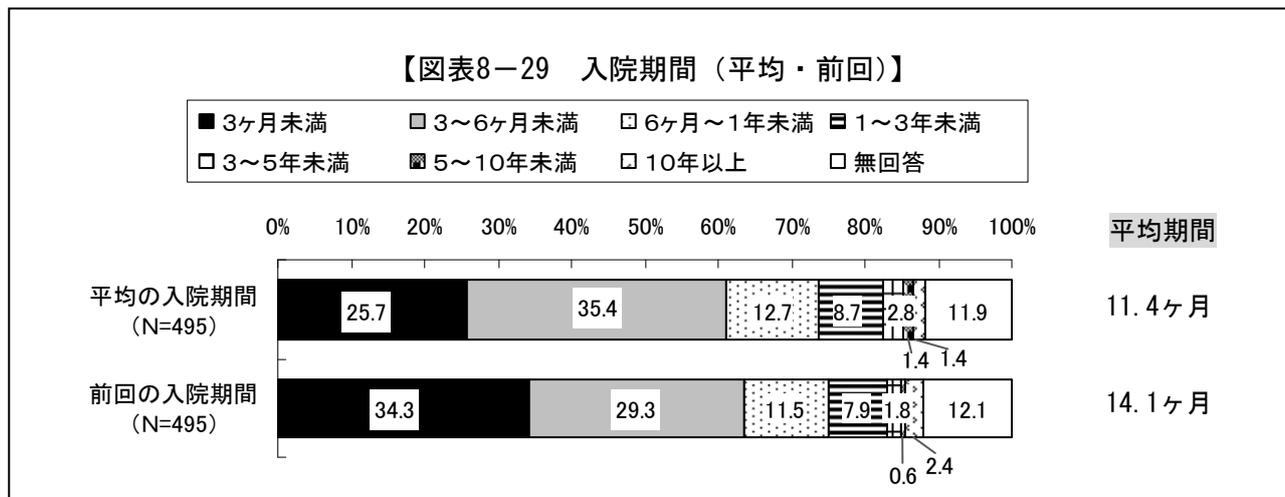
主な診断名（詳細）別にみると、入院経験のある人の割合は、アルコール依存症（96.9％）で高く、9割を超えている。また統合失調症（75.1％）でも7割を超えて高い。

以前に精神科病院への入院経験がある人に対して、過去の入院回数をたずねたところ、「1回」（32.1％）が最も多く、次いで「2回」（20.8％）、「5回以上」（19.4％）となっている。また、平均回数3.6回である。

**【図表8-28 主な診断名（詳細）別 入院経験の有無、入院回数】（％）**

	調査数 (人)	入院経験の有無				調査数 (人)	入院回数						
		入院あり	入院なし	わからない	無回答		1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	
全体	1167	42.4	46.6	8.5	2.5	495	32.1	20.8	10.3	10.9	19.4	6.5	
主な診断名 (詳細)	統合失調症	342	75.1	17.8	6.1	0.9	257	27.6	22.2	11.7	12.5	18.7	7.4
	非定型精神病	14	50.0	50.0	-	-	7	-	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3
	うつ病	348	22.7	64.4	9.2	3.7	79	43.0	24.1	6.3	6.3	17.7	2.5
	双極性感情障害	104	47.1	48.1	2.9	1.9	49	36.7	12.2	10.2	12.2	28.6	-
	てんかん	7	14.3	57.1	14.3	14.3	1	100.0	-	-	-	-	-
	精神遅滞	12	33.3	50.0	16.7	-	4	25.0	-	-	-	75.0	-
	アルコール依存症	32	96.9	3.1	-	-	31	19.4	25.8	12.9	9.7	29.0	3.2
	その他の薬物依存症	8	75.0	12.5	12.5	-	6	50.0	16.7	16.7	-	-	16.7
	パーソナリティ障害	13	23.1	69.2	7.7	-	3	-	33.3	-	33.3	-	33.3
	認知症	42	16.7	40.5	42.9	-	7	42.9	14.3	14.3	14.3	-	14.3
	高次脳機能障害	3	66.7	33.3	-	-	2	50.0	50.0	-	-	-	-
	その他の老年精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	223	19.7	69.1	9.0	2.2	44	40.9	15.9	6.8	9.1	13.6	13.6
	診断保留	2	50.0	50.0	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-
無回答	17	23.5	47.1	-	29.4	4	50.0	25.0	-	25.0	-	-	

(5) 入院期間（平均・前回）



以前に精神科病院への入院経験がある人に対して、入院期間をたずねたところ、平均入院期間は、「3～6ヶ月未満」（35.4%）が最も多く、次いで「3ヶ月未満」（25.7%）、「6ヶ月～1年未満」（12.7%）の順となっている。

前回の入院期間は、「3ヶ月未満」（34.3%）が最も多く、次いで「3～6ヶ月未満」（29.3%）、「6ヶ月～1年未満」（11.5%）の順となっている。

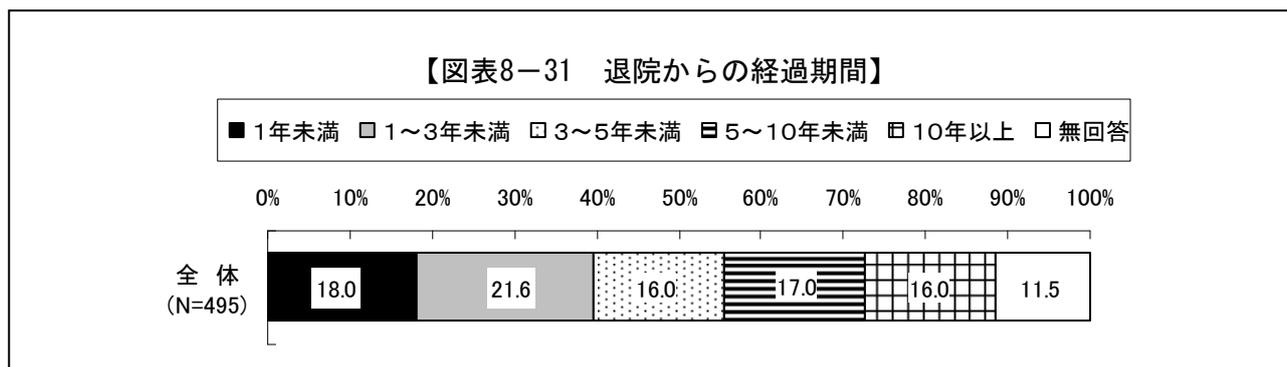
平均入院期間について、年齢別にみると、概ね年齢が上がるほど入院期間も長い傾向が見られ、20歳代以下では他の年代に比べて「3ヶ月未満」（48.8%）の割合が高く、半数弱となっている。

主な診断名（集約）別にみると、いずれの診断名においても「3～6ヶ月未満」が最も多くなっているが、統合失調症及び認知症では他の疾患に比べて「6ヶ月～1年未満」「1～3年未満」の割合が1割を超えてやや高い。

**【図表8-30 年齢別、主な診断名（集約）別 平均の入院期間】（%）**

	調査数（人）	平均の入院期間								（平均月入院期間）	
		3ヶ月未満	3～6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	無回答		
全体	495	25.7	35.4	12.7	8.7	2.8	1.4	1.4	11.9	11.4	
年齢	20歳代以下	43	48.8	23.3	14.0	7.0	-	-	2.3	4.7	6.6
	30歳代	94	24.5	44.7	7.4	10.6	-	-	-	12.8	4.8
	40歳代	111	28.8	41.4	10.8	5.4	1.8	0.9	-	10.8	5.4
	50歳代	106	22.6	34.0	16.0	9.4	4.7	1.9	-	11.3	8.9
	60～64歳	65	20.0	26.2	21.5	10.8	4.6	-	6.2	10.8	24.8
	65～74歳	51	11.8	33.3	9.8	9.8	5.9	7.8	2.0	19.6	28.4
	75歳以上	20	30.0	35.0	10.0	10.0	-	-	5.0	10.0	15.7
無回答	5	40.0	-	-	-	20.0	-	-	40.0	13.0	
全体	495	25.7	35.4	12.7	8.7	2.8	1.4	1.4	11.9	11.4	
主な診断名（集約）	統合失調症	257	21.0	29.6	16.3	12.5	3.9	2.7	1.9	12.1	16.5
	気分（感情）障害	128	32.8	46.1	7.8	3.9	0.8	-	0.8	7.8	4.2
	依存症	37	21.6	56.8	5.4	2.7	8.1	-	-	5.4	6.3
	認知症	7	14.3	42.9	14.3	14.3	-	-	-	14.3	5.2
	その他	62	33.9	25.8	12.9	6.5	-	-	1.6	19.4	7.0
	無回答	4	25.0	-	-	-	-	-	-	75.0	2.0

(6) 退院からの経過期間



以前に精神科病院への入院経験がある人の退院からの経過期間は、「1～3年未満」（21.6%）が最も多く、次いで「1年未満」（18.0%）、「5～10年未満」（17.0%）となっている。

年齢別にみると、30歳代以下や75歳以上では「1年未満」の割合が2割を超えている。

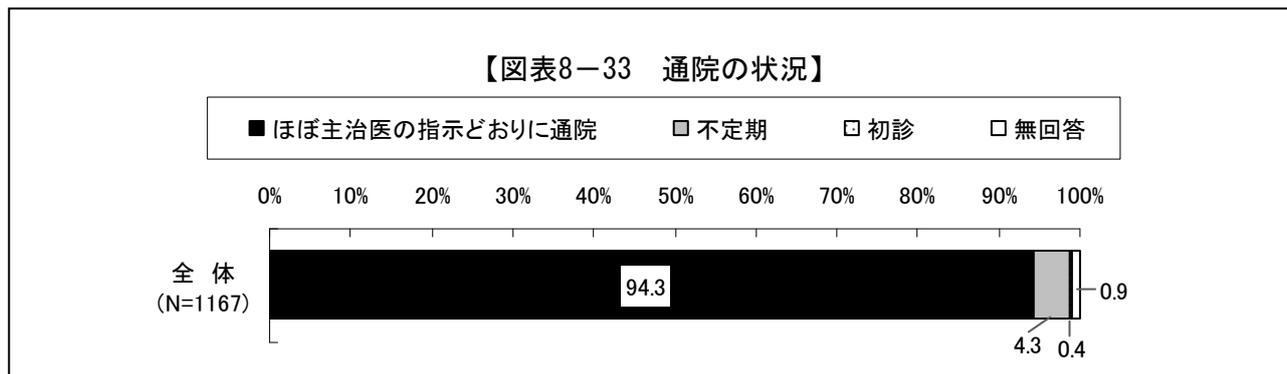
主な診断名（集約）別にみると、統合失調症では、他に比べて再入院までの期間が長い人の割合が高く、「10年以上」（24.5%）と「5～10年未満」（20.2%）が2割を超えている。一方、気分（感情）障害や依存症では「1年未満」の割合が3割前後と高い。

現在の病状の程度別にみると、不安定の人では「1年未満」（24.2%）の割合がやや高い。

**【図表8-32 年齢別、主な診断名（集約）別、現在の病状の程度別 退院からの経過期間】（%）**

	調査数（人）	退院からの経過期間					無回答	
		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上		
全体	1167	18.0	21.6	16.0	17.0	16.0	11.5	
年齢	20歳代以下	127	23.3	23.3	18.6	11.6	4.7	18.6
	30歳代	252	21.3	21.3	22.3	19.1	6.4	9.6
	40歳代	280	17.1	21.6	9.9	20.7	18.9	11.7
	50歳代	225	13.2	19.8	17.0	13.2	23.6	13.2
	60～64歳	100	18.5	23.1	16.9	18.5	13.8	9.2
	65～74歳	102	17.6	23.5	11.8	17.6	23.5	5.9
	75歳以上	68	25.0	25.0	15.0	15.0	15.0	5.0
無回答	13	-	-	20.0	-	20.0	60.0	
全体	495	18.0	21.6	16.0	17.0	16.0	11.5	
主な診断名（集約）	統合失調症	257	11.7	17.5	16.0	20.2	24.5	10.1
	気分（感情）障害	128	25.0	24.2	16.4	18.0	6.3	10.2
	依存症	37	32.4	24.3	18.9	8.1	5.4	10.8
	認知症	7	14.3	57.1	14.3	-	-	14.3
	その他	62	22.6	29.0	12.9	9.7	9.7	16.1
	無回答	4	-	-	25.0	-	-	75.0
全体	495	18.0	21.6	16.0	17.0	16.0	11.5	
病状現在の程度	ほぼ安定している	385	17.1	21.8	17.4	17.7	16.4	9.6
	不安定	91	24.2	20.9	11.0	14.3	9.9	19.8
	無回答	19	5.3	21.1	10.5	15.8	36.8	10.5

(7) 通院の状況



通院の状況としては、「ほぼ主治医の指示どおりに通院」(94.3%)が9割を超えて大半を占めている。また、「不定期」(4.3%)と「初診」(0.4%)はいずれも5%未満である。

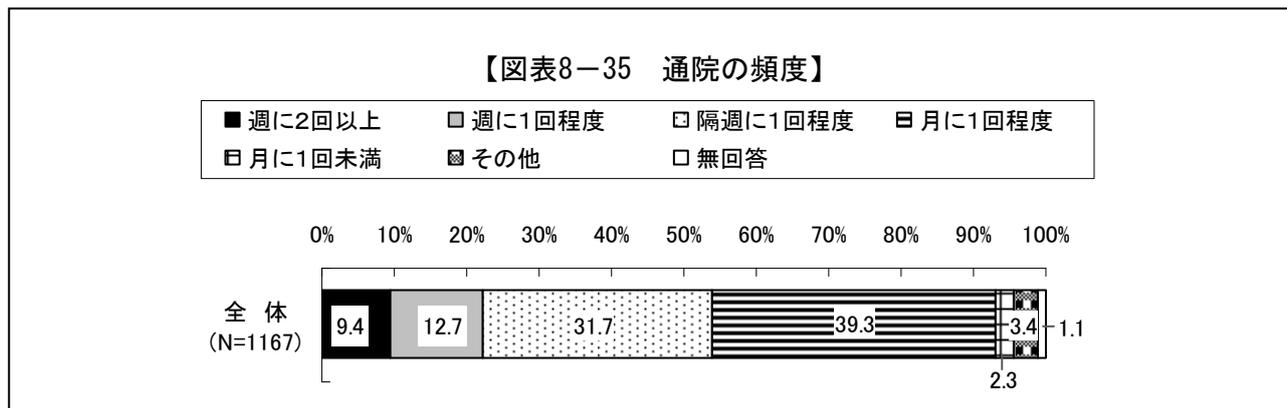
年齢別にみると、30歳代以下では「不定期」の割合が7%程度と他の年代と比べてやや高い。

主な診断名(集約)別にみると、パーソナリティ障害(23.1%)、てんかん(14.3%)、アルコール依存症(9.4%)で「不定期」の割合が高くなっている。

**【図表8-34 年齢別、主な診断名(集約)別 通院の状況】(%)**

	調査数(人)	通院の状況				
		通指ほ 院示ほ ど主 お治 り医 にの	不 定 期	初 診	無 回 答	
全 体	1167	94.3	4.3	0.4	0.9	
年 齢	20歳代以下	127	92.1	7.1	-	0.8
	30歳代	252	90.1	7.9	1.2	0.8
	40歳代	280	96.1	2.1	0.4	1.4
	50歳代	225	95.1	4.0	0.4	0.4
	60~64歳	100	99.0	1.0	-	-
	65~74歳	102	95.1	2.9	-	2.0
	75歳以上	68	95.6	2.9	-	1.5
	無回答	13	100.0	-	-	-
全 体	1167	94.3	4.3	0.4	0.9	
主 な 診 断 名 ( 詳 細 )	統合失調症	342	96.8	2.3	-	0.9
	非定型精神病	14	100.0	-	-	-
	うつ病	348	94.5	4.3	0.3	0.9
	双極性感情障害	104	97.1	1.9	-	1.0
	てんかん	7	71.4	14.3	-	14.3
	精神遅滞	12	100.0	-	-	-
	アルコール依存症	32	90.6	9.4	-	-
	その他の薬物依存症	8	100.0	-	-	-
	パーソナリティ障害	13	76.9	23.1	-	-
	認知症	42	97.6	-	-	2.4
	高次脳機能障害	3	100.0	-	-	-
	その他の老年精神障害	-	-	-	-	-
	その他	223	89.7	7.6	1.8	0.9
	診断保留	2	100.0	-	-	-
無回答	17	94.1	5.9	-	-	

(8) 通院の頻度



通院の頻度としては、「月に1回程度」(39.3%)が4割弱を占めて最も多く、次いで「隔週に1回程度」(31.7%)、「週に1回程度」(12.7%)となっている。

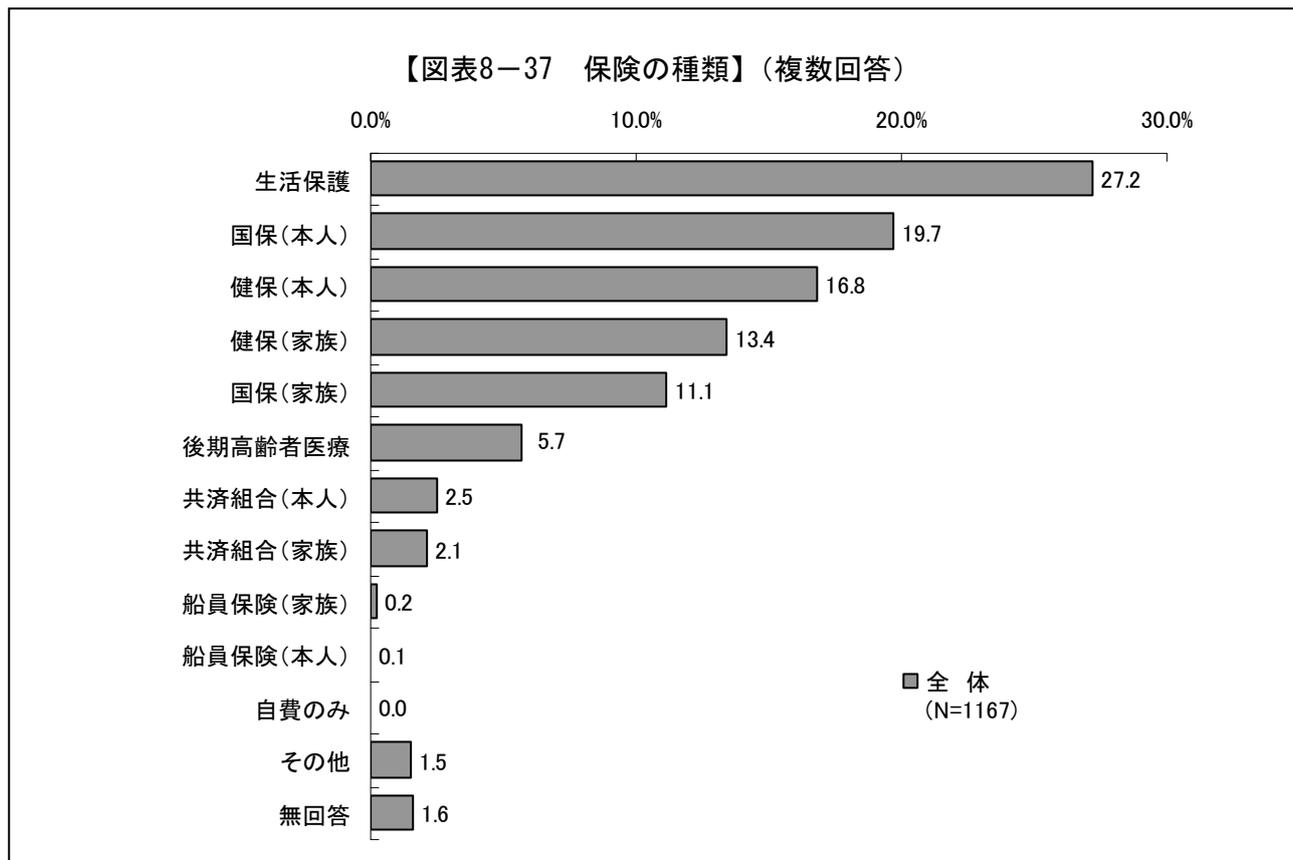
年齢別にみると、30歳代を除くどの年代においても「月に1回程度」が最も多くなっている。ただし、20歳代以下と60歳以上では、他の年代に比べて「週に2回以上」の割合が高く、1割を超えている。

主な診断名(集約)別にみると、どの疾患も概ね「月に1回程度」が多い傾向にあるが、特に認知症の人(64.3%)では6割強を占めている。

**【図表8-36 年齢別・主な診断名(集約)別 通院の頻度】(%)**

	調査数(人)	通院の頻度							
		週に2回以上	週に1回程度	隔週に1回程度	月に1回程度	月に1回未満	その他	無回答	
全体	1167	9.4	12.7	31.7	39.3	2.3	3.4	1.1	
年齢	20歳代以下	127	15.0	14.2	26.8	38.6	0.8	3.9	0.8
	30歳代	252	6.7	19.0	35.3	32.5	2.0	2.4	2.0
	40歳代	280	4.6	15.7	37.5	37.9	1.8	1.4	1.1
	50歳代	225	7.1	7.1	34.7	40.4	4.0	5.3	1.3
	60~64歳	100	18.0	10.0	28.0	38.0	3.0	3.0	-
	65~74歳	102	15.7	8.8	21.6	45.1	2.0	5.9	1.0
	75歳以上	68	14.7	-	14.7	61.8	2.9	5.9	-
	無回答	13	7.7	23.1	30.8	38.5	-	-	-
全体	1167	9.4	12.7	31.7	39.3	2.3	3.4	1.1	
主な診断名(集約)	統合失調症	342	16.4	11.4	35.1	34.5	0.3	2.0	0.3
	気分(感情)障害	452	3.8	14.2	36.1	38.3	3.1	3.3	1.3
	依存症	40	35.0	5.0	17.5	35.0	2.5	5.0	-
	認知症	42	21.4	2.4	4.8	64.3	-	7.1	-
	その他	274	5.1	13.5	27.0	43.8	4.0	4.4	2.2
	無回答	17	-	29.4	23.5	41.2	-	5.9	-

(9) 保険の種類



通院患者の保険の種類では「生活保護」(27.2%)が3割弱で最も多く、次いで「国保(本人)」(19.7%)、「健保(本人)」(16.8%)、「健保(家族)」(13.4%)、「国保(家族)」(11.1%)が1割台で続いている。

年齢別にみると、30歳代～60歳代前半では「生活保護」の割合が最も高く、特に60歳代前半では4割強(42.0%)と高くなっている。

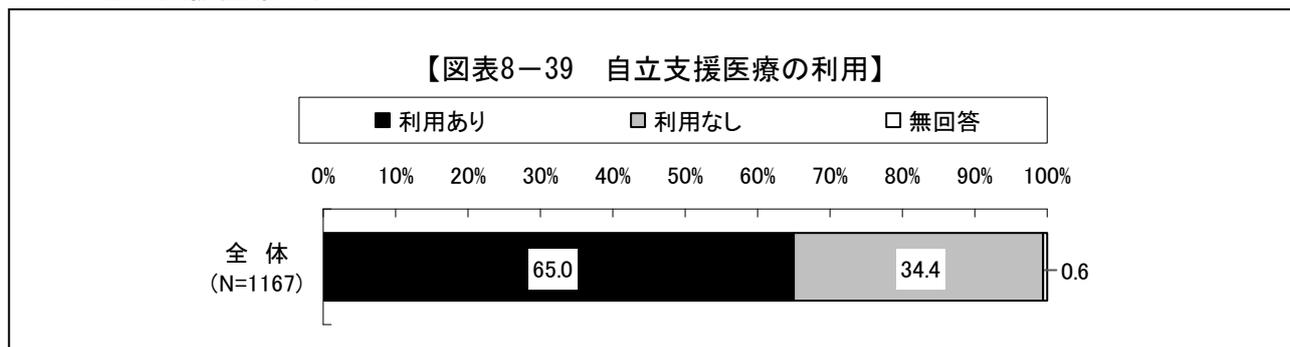
主な診断名(集約)別にみると、認知症の人以外では「生活保護」の割合が高く、とくに依存症の人では他に比べて「生活保護」(75.0%)の割合が7割を超えて高い。

また、認知症の人では「後期高齢者医療」(73.8%)が7割強と高くなっている。

**【図表8-38 年齢別・主な診断名(集約)別 保険の種類】(%)**

	調査数(人)	保険の種類													
		生活保護	国保(本人)	健保(本人)	健保(家族)	国保(家族)	後期高齢者医療	共済組合(本人)	共済組合(家族)	船員保険(家族)	船員保険(本人)	自費のみ	その他	無回答	
全体	1167	27.2	19.7	16.8	13.4	11.1	5.7	2.5	2.1	0.2	0.1	-	1.5	1.6	
年齢	20歳代以下	127	15.0	15.0	14.2	33.9	12.6	-	-	7.1	0.8	-	-	1.6	-
	30歳代	252	25.8	15.1	21.8	15.1	14.3	-	2.8	2.8	-	-	-	1.2	3.2
	40歳代	280	28.6	20.0	25.7	10.4	10.0	-	2.5	1.8	0.4	-	-	2.9	1.1
	50歳代	225	33.3	18.2	16.4	12.9	11.6	-	5.8	0.9	-	0.4	-	1.3	1.3
	60～64歳	100	42.0	23.0	7.0	10.0	11.0	2.0	2.0	1.0	-	-	-	2.0	1.0
	65～74歳	102	24.5	44.1	4.9	4.9	11.8	6.9	-	-	-	-	-	-	2.9
	75歳以上	68	8.8	10.3	-	-	-	80.9	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	13	38.5	7.7	15.4	15.4	-	15.4	-	-	-	-	-	-	7.7
全体	1167	27.2	19.7	16.8	13.4	11.1	5.7	2.5	2.1	0.2	0.1	-	1.5	1.6	
主な診断名(集約)	統合失調症	342	32.7	23.7	5.3	13.5	17.8	2.0	-	2.3	-	0.3	-	0.6	2.3
	気分(感情)障害	452	24.8	18.4	23.5	14.2	7.7	4.0	5.1	1.8	0.2	-	-	1.5	1.3
	依存症	40	75.0	20.0	2.5	-	-	-	2.5	-	-	-	-	2.5	-
	認知症	42	2.4	21.4	-	-	-	73.8	-	-	-	-	-	-	2.4
	その他	274	22.3	17.2	24.8	15.7	10.2	3.6	1.8	2.2	0.4	-	-	2.9	1.1
	無回答	17	5.9	11.8	17.6	17.6	29.4	-	-	11.8	-	-	-	-	5.9

(10) 自立支援医療の利用



自立支援医療「利用あり」(65.0%)が6割強となっている。

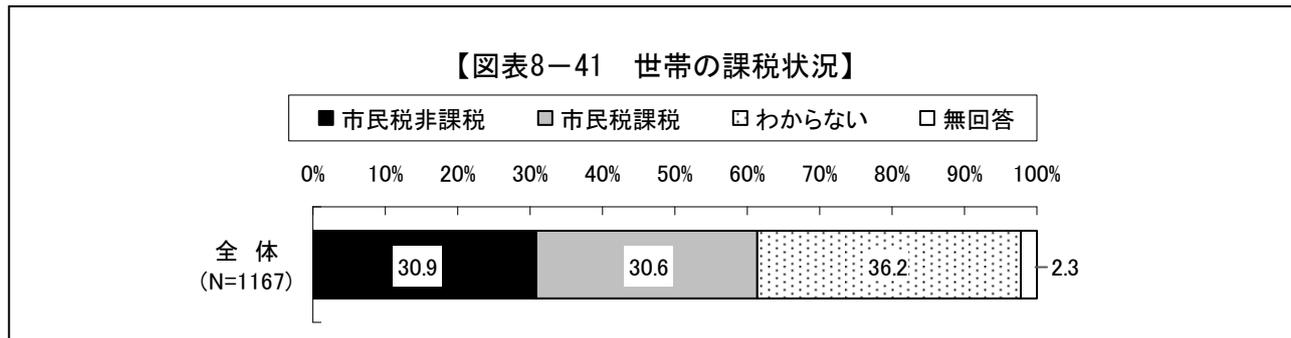
年齢別にみると、60～64歳では他の年代に比べて「利用あり」(78.0%)の割合が高く、8割弱を占めている。一方、75歳以上では「利用なし」(72.1%)の割合が7割強と高い。

主な診断名(集約)別にみると、統合失調症と依存症の人では「利用あり」の割合が8割を超えて高くなっている。

**【図表8-40 年齢別、主な診断名(集約)別 自立支援医療の利用】 (%)**

	調査数 (人)	自立支援医療の利用			
		利用あり	利用なし	無回答	
全体	1167	65.0	34.4	0.6	
年齢	20歳代以下	127	69.3	30.7	-
	30歳代	252	67.9	31.7	0.4
	40歳代	280	68.2	31.1	0.7
	50歳代	225	64.0	35.6	0.4
	60～64歳	100	78.0	22.0	-
	65～74歳	102	57.8	41.2	1.0
	75歳以上	68	27.9	72.1	-
	無回答	13	61.5	23.1	15.4
全体	1167	65.0	34.4	0.6	
主な診断名 (集約)	統合失調症	342	89.5	9.9	0.6
	気分(感情)障害	452	55.7	43.4	0.9
	依存症	40	82.5	17.5	-
	認知症	42	21.4	78.6	-
	その他	274	54.2	45.2	0.5
	無回答	17	64.7	35.3	-

(11) 世帯の課税状況



「市民税非課税」(30.9%)と「市民税課税」(30.6%)がほぼ同率となっている。

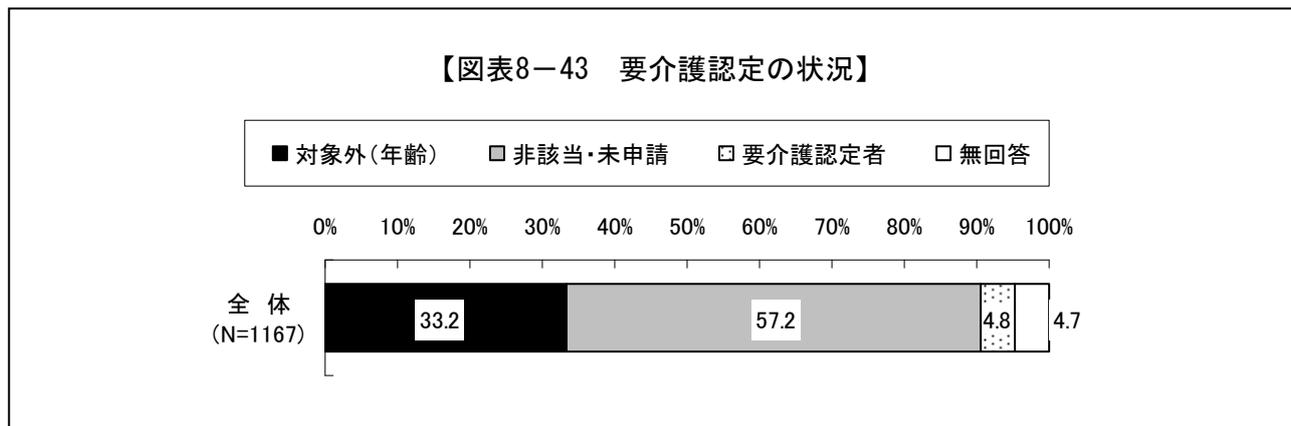
年齢別にみると、40歳代までは「市民税課税」の人がそれぞれ4割弱となっており、「市民税非課税」の人よりも多いが、50歳代以上では「市民税非課税」の人の方が多くなっており、60～64歳では過半数(51.0%)となっている。

世帯状況別にみると、一人暮らしの人では他に比べて「市民税非課税」(51.3%)の割合が高く、夫婦のみの人や三世帯同居の人では「市民税課税」の割合が高く、半数及び過半数となっている。

**【図表8-42 年齢別、世帯状況別 世帯の課税状況】 (%)**

	調査数(人)	世帯の課税状況				
		市民税非課税	市民税課税	わからない	無回答	
全体	1167	30.9	30.6	36.2	2.3	
年齢	20歳代以下	127	14.2	39.4	44.9	1.6
	30歳代	252	25.8	35.7	37.3	1.2
	40歳代	280	33.6	38.2	25.4	2.9
	50歳代	225	33.8	29.3	33.3	3.6
	60～64歳	100	51.0	20.0	26.0	3.0
	65～74歳	102	40.2	16.7	41.2	2.0
	75歳以上	68	19.1	8.8	70.6	1.5
	無回答	13	23.1	7.7	69.2	-
全体	1167	30.9	30.6	36.2	2.3	
世帯状況	一人暮らし	435	51.3	18.9	27.6	2.3
	夫婦のみ	146	14.4	50.0	32.9	2.7
	二世帯同居(親と同居)	263	17.5	31.2	48.7	2.7
	二世帯同居(子と同居)	237	22.4	40.5	35.9	1.3
	三世帯同居	30	10.0	53.3	36.7	-
	その他(兄弟姉妹同居等)	28	32.1	14.3	50.0	3.6
	無回答	28	21.4	14.3	57.1	7.1

(12) 要介護認定の状況



要介護認定者は1割に満たない（4.8%）。

年齢別にみると、40～64歳では「非該当・未申請」が9割を超えている。また、要介護認定者の割合は、65～74歳（16.8%）で2割弱、75歳以上（53.0%）では半数を超えている。

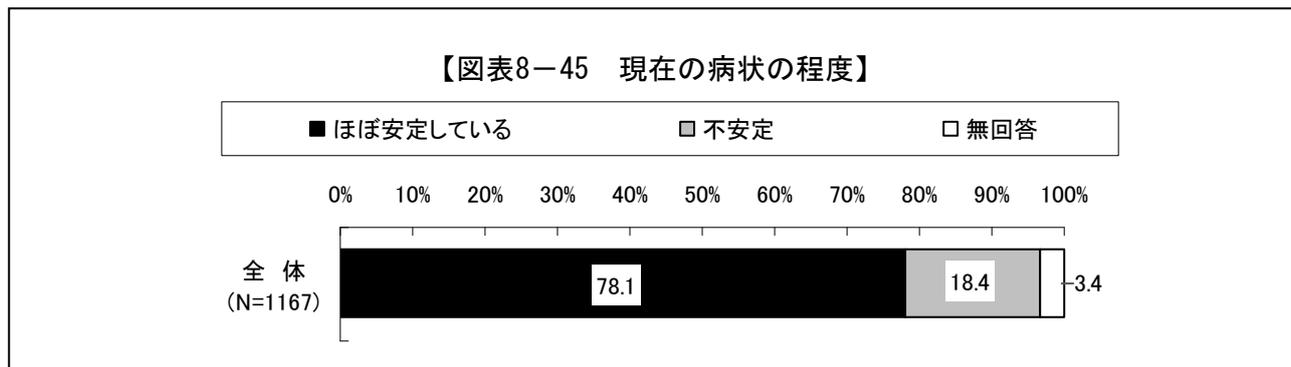
主な診断名（集約）別にみると、要介護認定者の大半が認知症の人である。

**【図表8-44 年齢別、現在の病状の程度別 要介護認定の状況】（%）**

	調査数（人）	要介護認定の状況										
		対象外（年齢）	非該当・未申請	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	
全体	1167	33.2	57.2	1.1	0.5	1.3	0.6	0.7	0.5	0.1	4.7	
年齢	30歳代以下	379	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40～64歳	605	-	95.5	-	-	-	0.2	-	0.2	4.1	
	65～74歳	102	-	70.6	6.9	1.0	3.9	1.0	2.0	2.0	12.7	
	75歳以上	68	-	25.0	8.8	5.9	16.2	7.4	8.8	4.4	1.5	22.1
	無回答	13	69.2	7.7	-	7.7	-	-	-	-	-	15.4
全体	1167	33.2	57.2	1.1	0.5	1.3	0.6	0.7	0.5	0.1	4.7	
主な診断名（集約）	統合失調症	342	33.3	57.9	0.6	0.6	0.6	-	0.3	0.3	-	6.4
	気分(感情)障害	452	32.5	61.9	1.3	0.2	0.2	-	-	0.2	-	3.5
	依存症	40	10.0	85.0	-	-	-	-	2.5	-	-	2.5
	認知症	42	-	4.8	9.5	4.8	19.0	16.7	14.3	9.5	2.4	19.0
	その他	274	43.1	51.8	0.4	0.4	1.5	-	-	-	-	2.9
	無回答	17	29.4	70.6	-	-	-	-	-	-	-	-

### 3. 患者の病状等

#### (1) 現在の病状の程度



現在の病状の程度としては、「ほぼ安定している」(78.1%)が8割弱となっており、「不安定」(18.4%)は2割弱である。

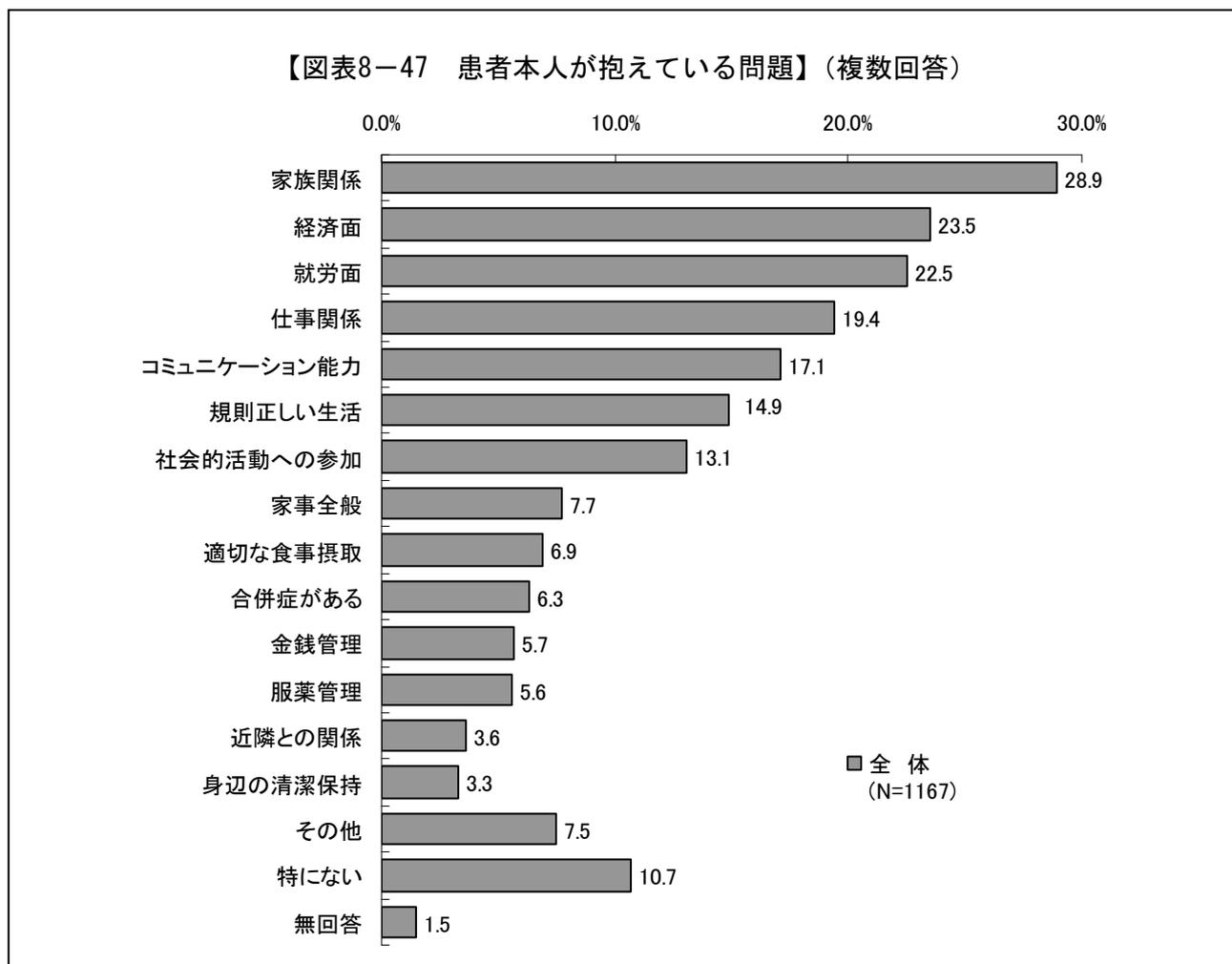
年齢別にみると、30歳代以下では他の年代に比べて「不安定」の割合が高く、2割を超えている。

主な診断名（集約）別にみると、依存症や認知症の人では「ほぼ安定している」の割合が8割を超えており、他に比べてやや高い。

**【図表8-46 年齢別 現在の病状の程度】 (%)**

	調査数 (人)	現在の病状の程度			
		ほぼ安定している	不安定	無回答	
全体	1167	78.1	18.4	3.4	
年齢	20歳代以下	127	70.9	26.8	2.4
	30歳代	252	71.8	25.0	3.2
	40歳代	280	76.4	19.6	3.9
	50歳代	225	81.8	13.8	4.4
	60～64歳	100	79.0	18.0	3.0
	65～74歳	102	93.1	4.9	2.0
	75歳以上	68	83.8	11.8	4.4
	無回答	13	92.3	7.7	-
全体	1167	78.1	18.4	3.4	
主な診断名 (集約)	統合失調症	342	77.8	17.8	4.4
	気分(感情)障害	452	77.7	19.2	3.1
	依存症	40	82.5	10.0	7.5
	認知症	42	83.3	11.9	4.8
	その他	274	78.1	20.1	1.8
	無回答	17	76.5	17.6	5.9

(2) 患者本人が抱えている問題



患者本人が抱えている問題としては、「家族関係」（28.9%）が3割弱で最も多く、次いで「経済面」（23.5%）、「就労面」（22.5%）、「仕事関係」（19.4%）となっている。

年齢別にみると、30歳代以下では40歳代以上に比べて「就労面」や「コミュニケーション能力」の割合が高くなっている。また、20歳代以下では「社会活動への参加」（28.3%）や「規則正しい生活」（26.8%）の割合も他の年代に比べて高い。

主な診断名（集約）別にみると、気分（感情）障害の人では他の診断名に比べて「仕事関係」（26.1%）の割合が高くなっている。また、認知症の人では「服薬管理」（31.0%）や「家事全般」（31.0%）、「コミュニケーション能力」（28.6%）、「金銭管理」（23.8%）、「身辺の清潔保持」（19.0%）等、日常生活の中の多くの項目で割合が高い。

【図表8-48 年齢別・主な診断名（集約）別 患者本人が抱えている問題】（%）

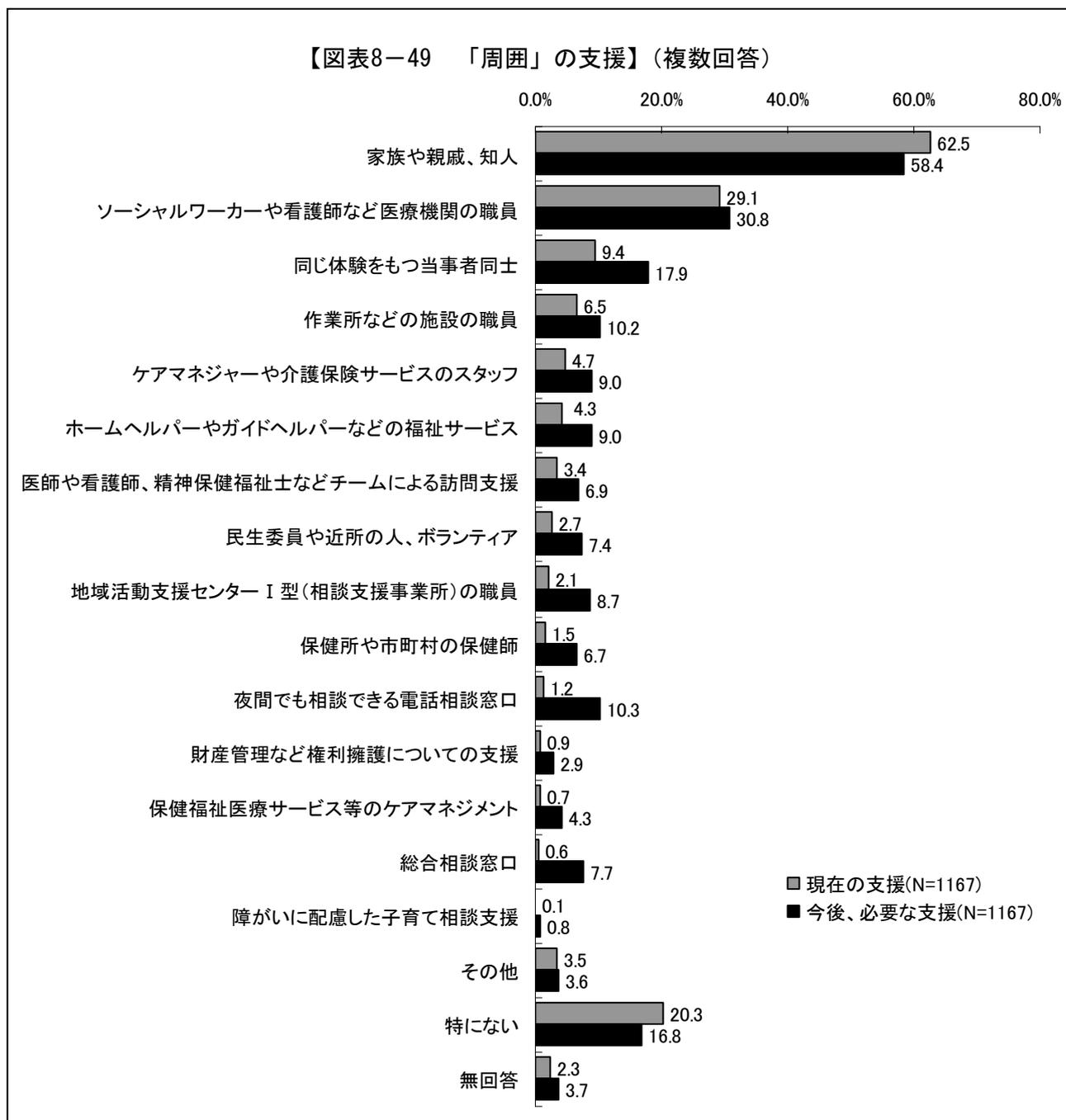
	調査数（人）	患者本人が抱えている問題									
		家族関係	経済面	就労面	仕事関係	コミュニケーション能力	活規則正しい生活	の社会的活動への参加	家事全般	取適切な食事摂	
全体	1167	28.9	23.5	22.5	19.4	17.1	14.9	13.1	7.7	6.9	
年齢	20歳代以下	127	28.3	21.3	37.8	21.3	32.3	26.8	28.3	1.6	3.1
	30歳代	252	29.4	22.6	34.1	23.8	24.2	18.3	12.7	4.8	6.0
	40歳代	280	30.4	28.6	25.7	28.2	14.3	13.9	10.0	5.7	5.7
	50歳代	225	34.7	25.8	21.3	21.3	8.9	12.0	10.2	10.7	6.2
	60～64歳	100	23.0	19.0	6.0	4.0	9.0	13.0	13.0	7.0	8.0
	65～74歳	102	22.5	21.6	-	3.9	14.7	8.8	9.8	11.8	11.8
	75歳以上	68	26.5	11.8	-	1.5	14.7	7.4	14.7	23.5	14.7
	無回答	13	-	23.1	15.4	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7
全体	1167	28.9	23.5	22.5	19.4	17.1	14.9	13.1	7.7	6.9	
主な診断名（集約）	統合失調症	342	27.5	21.9	23.1	7.6	23.1	16.1	15.5	8.2	8.2
	気分（感情）障害	452	32.1	27.2	24.8	26.1	11.1	15.3	11.7	8.2	6.0
	依存症	40	22.5	10.0	17.5	7.5	2.5	20.0	12.5	2.5	12.5
	認知症	42	23.8	2.4	-	-	28.6	9.5	14.3	31.0	16.7
	その他	274	27.4	23.7	21.9	25.9	20.1	12.8	12.4	4.0	4.7
	無回答	17	23.5	35.3	23.5	47.1	11.8	17.6	11.8	-	-

	調査数（人）	患者本人が抱えている問題							無回答	
		合併症がある	金銭管理	服薬管理	近隣との関係	持身辺の清潔保	その他	特にな		
全体	1167	6.3	5.7	5.6	3.6	3.3	7.5	10.7	1.5	
年齢	20歳代以下	127	-	3.1	6.3	-	-	11.0	3.1	-
	30歳代	252	2.4	5.6	4.8	2.8	1.6	7.1	7.1	2.8
	40歳代	280	3.2	5.0	2.1	3.9	2.1	5.0	12.5	2.1
	50歳代	225	10.7	4.9	6.2	6.7	1.8	5.3	8.9	0.4
	60～64歳	100	13.0	6.0	7.0	3.0	7.0	8.0	20.0	1.0
	65～74歳	102	11.8	9.8	4.9	4.9	10.8	12.7	12.7	1.0
	75歳以上	68	8.8	10.3	17.6	1.5	8.8	13.2	19.1	1.5
	無回答	13	23.1	-	7.7	-	7.7	-	15.4	7.7
全体	1167	6.3	5.7	5.6	3.6	3.3	7.5	10.7	1.5	
主な診断名（集約）	統合失調症	342	5.8	6.4	8.2	5.6	5.3	7.9	9.1	1.2
	気分（感情）障害	452	6.9	4.2	2.4	2.7	1.1	4.4	10.4	2.2
	依存症	40	17.5	15.0	7.5	5.0	2.5	20.0	15.0	-
	認知症	42	11.9	23.8	31.0	2.4	19.0	7.1	9.5	2.4
	その他	274	3.6	3.3	3.6	2.6	2.2	10.9	12.4	1.1
	無回答	17	-	-	-	5.9	5.9	-	17.6	-

#### 4. 障がい者への支援の利用状況と今後必要な支援

『周囲の支援』『医療に関する支援』『生活の場（住まい）に関する支援』『日中活動や就労に関する支援』の4分野について、現在の支援状況と、今後必要な支援をたずねた。

##### (1) 「周囲」の支援



現在の周囲の支援としては、「家族や親戚、知人」(62.5%)が最も多く、次いで「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員」(29.1%)となっており、その他はいずれも1割未満である。

また、今後、必要な支援としても、「家族や親戚、知人」(58.4%)が最も多く、次いで「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員」(30.8%)となっており、「同じ体験をもつ当事者同士」(17.9%)と続いている。

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

現在の支援について、年齢別にみると、20歳代以下と75歳以上では他の年代に比べて「家族や親戚、知人」の割合が高く、8割強を占めている。また、65歳以上の高齢者では「ケアマネジャーや介護保険サービスのスタッフ」の割合が高く、65～74歳では2割弱（16.7%）、75歳以上では4割強（45.6%）となっている。

主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では「家族や親戚、知人」（92.9%）の割合が高く、9割強を占めている。また、統合失調症と依存症の人では「同じ体験をもつ当事者同士」や「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員」、「作業所などの施設の職員」、「医師や看護師、精神保健福祉士などチームによる訪問支援」の割合が高くなっている。

【図表8-50 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別  
「周囲」の支援（現在の支援）】（%）

	調査数（人）	「周囲」の支援（現在の支援）																				
		家族や親戚、知人	療機関の職員	ソーシャルワーカーや看護師など	同じ体験をもつ当事者同士	作業所などの施設の職員	ケアマネジャーや介護保険サービスのスタッフ	どの福祉サービス	ホームヘルパーやガイドヘルパーなどのサービス	チームによる訪問支援	医師や看護師、精神保健福祉士など	民生委員や近所の人、ボランティア	地域活動支援センターI型（相談支援事業所）の職員	保健所や市町村の保健師	夜間でも相談できる電話相談窓口	財産管理など権利擁護についての支援	介護管理など権利擁護についての支援	保健福祉医療サービス等のケアマネ	総合相談窓口	障がいに配慮した子育て相談支援	その他	特にな
全体	1167	62.5	29.1	9.4	6.5	4.7	4.3	3.4	2.7	2.1	1.5	1.2	0.9	0.7	0.6	0.1	3.5	20.3	2.3			
年齢	20歳代以下	127	81.1	39.4	12.6	5.5	0.8	0.8	3.9	0.8	1.6	-	2.4	-	-	-	4.7	12.6	1.6			
	30歳代	252	63.9	28.6	9.9	8.7	0.4	3.2	2.0	1.6	4.0	1.6	1.2	0.8	0.4	1.2	0.4	1.2	22.6	2.8		
	40歳代	280	56.8	25.7	6.4	5.0	-	2.5	2.5	3.2	2.9	1.8	-	0.4	1.1	0.7	-	4.6	23.9	3.2		
	50歳代	225	56.0	28.0	11.6	8.4	1.3	4.4	3.6	2.7	0.4	1.8	3.1	1.3	-	0.9	-	3.6	25.3	2.7		
	60～64歳	100	61.0	41.0	14.0	4.0	1.0	5.0	5.0	2.0	2.0	2.0	-	1.0	-	-	-	4.0	18.0	2.0		
	65～74歳	102	51.0	27.5	9.8	6.9	16.7	8.8	8.8	4.9	-	-	1.0	2.9	2.9	-	-	5.9	16.7	-		
	75歳以上	68	82.4	17.6	1.5	2.9	45.6	13.2	-	5.9	-	-	-	1.5	1.5	-	-	1.5	5.9	1.5		
無回答	13	84.6	15.4	-	7.7	7.7	7.7	7.7	-	15.4	15.4	-	-	-	-	-	-	7.7	-			
全体	1167	62.5	29.1	9.4	6.5	4.7	4.3	3.4	2.7	2.1	1.5	1.2	0.9	0.7	0.6	0.1	3.5	20.3	2.3			
主な診断名（集約）	統合失調症	342	66.4	50.6	17.0	12.9	2.6	7.3	6.1	2.0	2.6	1.8	1.8	1.2	1.8	0.9	-	3.5	7.6	2.9		
	気分（感情）障がい	452	61.1	16.6	4.2	2.9	1.8	2.4	0.2	2.0	1.3	1.1	0.7	0.2	0.2	0.2	-	2.9	27.4	2.0		
	依存症	40	50.0	60.0	37.5	10.0	5.0	10.0	17.5	5.0	2.5	2.5	2.5	-	-	-	-	5.0	7.5	5.0		
	認知症	42	92.9	26.2	-	4.8	69.0	14.3	2.4	9.5	-	-	-	4.8	-	-	-	2.4	-	-		
	その他	274	56.9	20.8	6.6	4.4	2.6	1.5	3.3	2.9	3.3	1.8	1.5	1.5	0.4	1.1	0.4	4.4	29.6	2.2		
無回答	17	64.7	-	-	5.9	-	-	5.9	5.9	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	17.6	-		
全体	1167	62.5	29.1	9.4	6.5	4.7	4.3	3.4	2.7	2.1	1.5	1.2	0.9	0.7	0.6	0.1	3.5	20.3	2.3			
現在の病状	ほぼ安定している	912	59.3	28.7	9.9	6.3	5.3	4.2	3.6	3.0	1.4	1.5	1.1	1.1	0.7	0.4	0.1	3.3	21.8	2.4		
	不安定	215	75.8	34.0	7.0	7.9	2.8	5.6	3.3	1.4	4.2	1.4	1.9	0.5	0.5	1.4	-	4.7	15.3	-		
	無回答	40	62.5	12.5	12.5	5.0	2.5	-	-	2.5	7.5	-	-	-	2.5	-	-	2.5	12.5	12.5		

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

今後必要な支援について、年齢別にみると、現在の支援と同じく、20歳代以下と75歳以上では他の年代に比べて「家族や親戚、知人」の割合が高く、7割強を占めている。また、65歳以上の高齢者では「ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの福祉サービス」や「ケアマネジャーや介護保健サービスのスタッフ」の割合が高い。「同じ体験をもつ当事者同士」の割合は若い年代ほど高く、20歳代以下では3割弱（27.6%）となっている。

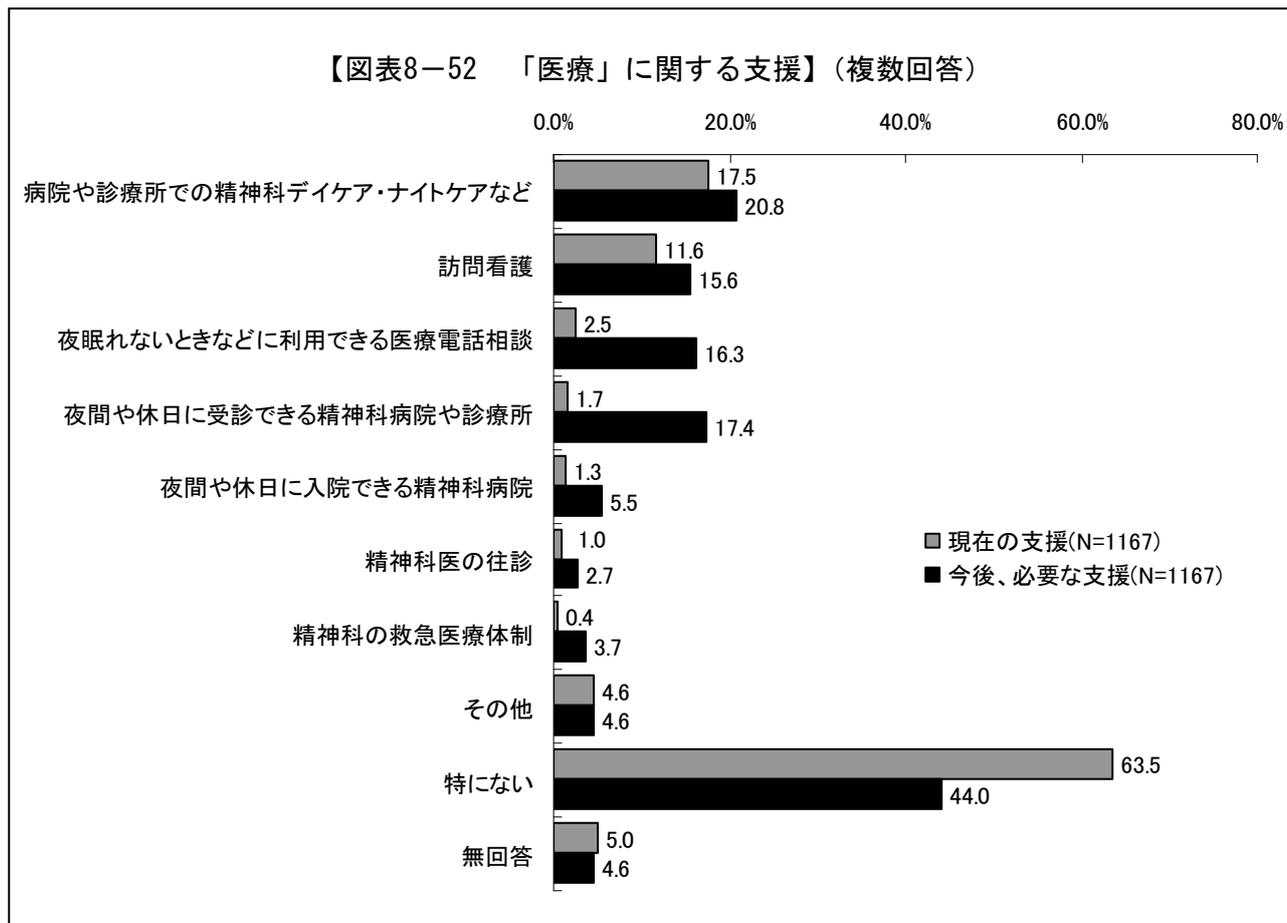
主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では「家族や親戚、知人」（90.5%）と「ケアマネジャーや介護保険サービスのスタッフ」（90.5%）の割合が高く、統合失調症の人では「家族や親戚、知人」（61.7%）、「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員」（51.5%）の割合が高い。また、依存症の人では、「同じ体験をもつ当事者同士」（42.5%）の割合が他の疾患と比べて高くなっている。

現在の病状の程度別にみると、不安定な人は、ほぼ安定している人に比べて「家族や親戚、友人」（71.2%）や「夜間でも相談できる電話相談窓口」（16.7%）、「総合相談窓口」（14.4%）、「保健所や市町村の保健師」（14.0%）の割合が高い。

【図表8-51 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別  
「周囲」の支援（今後必要な支援）】（%）

	調査数（人）	「周囲」の支援(今後必要な支援)																		
		家族や親戚、知人	療機関の職員	ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員	同じ体験をもつ当事者同士	夜間でも相談できる電話相談窓口	作業所などの施設の職員	ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの福祉サービス	ケアマネジャーや介護保険サービスのスタッフ	地域活動支援センター型（相談支援事業所）の職員	総合相談窓口	民生委員や近所の人、ボランティア	医師や看護師、精神保健福祉士などチームによる訪問支援	保健所や市町村の保健師	保健福祉医療サービス等のケアマネジメント	財産管理など権利擁護についての支援	障がい配慮した子育て相談支援	その他	特にない	無回答
全体	1167	58.4	30.8	17.9	10.3	10.2	9.0	9.0	8.7	7.7	7.4	6.9	6.7	4.3	2.9	0.8	3.6	16.8	3.7	
年齢	20歳代以下	127	74.8	43.3	27.6	11.8	13.4	1.6	0.8	4.7	6.3	2.4	7.1	3.9	2.4	1.6	-	3.9	11.0	3.1
	30歳代	252	60.3	31.3	19.8	12.3	13.5	4.8	1.2	15.1	8.3	6.7	6.7	7.1	3.6	1.6	2.8	2.4	16.7	3.6
	40歳代	280	54.3	26.4	19.6	11.1	11.1	3.9	1.8	8.6	8.2	6.4	7.5	6.8	4.3	2.1	0.4	4.6	20.0	5.0
	50歳代	225	52.4	30.2	18.7	11.6	12.0	9.8	3.1	6.2	11.1	9.3	6.2	8.9	4.0	2.2	0.4	4.0	23.6	3.1
	60～64歳	100	57.0	39.0	16.0	7.0	2.0	15.0	12.0	6.0	8.0	7.0	8.0	8.0	6.0	3.0	-	3.0	11.0	5.0
	65～74歳	102	49.0	27.5	6.9	6.9	5.9	20.6	31.4	8.8	3.9	11.8	6.9	4.9	8.8	3.9	-	3.9	13.7	3.9
	75歳以上	68	72.1	20.6	2.9	4.4	1.5	27.9	63.2	1.5	1.5	10.3	2.9	2.9	2.9	14.7	-	2.9	7.4	-
無回答	13	61.5	15.4	15.4	-	7.7	23.1	15.4	30.8	-	7.7	15.4	7.7	-	-	-	-	7.7	-	
全体	1167	58.4	30.8	17.9	10.3	10.2	9.0	9.0	8.7	7.7	7.4	6.9	6.7	4.3	2.9	0.8	3.6	16.8	3.7	
主な診断名（集約）	統合失調症	342	61.7	51.5	25.7	12.3	18.4	13.2	7.3	14.6	8.5	12.0	13.2	8.2	5.6	4.1	0.9	3.5	7.6	4.4
	気分(感情)障害	452	56.9	19.7	12.8	8.4	4.9	6.0	4.0	6.6	5.5	4.4	2.4	5.8	2.9	1.1	0.7	2.7	22.6	4.2
	依存症	40	45.0	47.5	42.5	10.0	17.5	10.0	15.0	10.0	10.0	7.5	17.5	7.5	12.5	-	-	5.0	7.5	5.0
	認知症	42	90.5	28.6	7.1	9.5	4.8	28.6	90.5	-	7.1	16.7	-	4.8	2.4	14.3	-	2.4	-	-
	その他	274	54.0	22.6	15.3	11.7	8.8	5.8	6.6	6.2	10.2	5.1	5.8	6.6	4.4	3.3	1.1	4.7	22.6	2.2
無回答	17	52.9	5.9	5.9	-	5.9	5.9	-	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	-	-	-	11.8	17.6	5.9	
全体	1167	58.4	30.8	17.9	10.3	10.2	9.0	9.0	8.7	7.7	7.4	6.9	6.7	4.3	2.9	0.8	3.6	16.8	3.7	
現在の病状	ほぼ安定している	912	55.6	30.3	17.5	9.0	10.4	9.1	9.9	7.9	6.5	7.6	6.0	4.9	3.9	3.2	0.8	3.5	19.1	3.1
	不安定	215	71.2	35.8	19.5	16.7	10.7	9.3	5.6	11.6	14.4	6.5	10.2	14.0	6.0	1.9	0.9	3.7	7.4	3.7
	無回答	40	52.5	15.0	17.5	5.0	2.5	5.0	7.5	12.5	-	7.5	7.5	7.5	2.5	2.5	-	5.0	15.0	17.5

(2) 「医療」に関する支援



現在の医療に関する支援状況については、「特にない」（63.5%）が6割強を占めている。具体的な内容としては、「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」（17.5%）と「訪問看護」（11.6%）が1割を超えている。

また、今後、必要な支援としては、「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」（20.8%）が2割で最も多く、次いで「夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所」（17.4%）、「夜眠れないときなどに利用できる医療電話相談」（16.3%）、「訪問看護」（15.6%）が1割強で続いている。

現在の支援について、年齢別にみると、20歳代以下と60～74歳では他の年代に比べて「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」の割合が高く、3割弱となっている。また、60～74歳では「訪問看護」の割合が2割を超えて高い。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症や依存症の人では「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」や「訪問看護」の割合が高くなっている。

【図表8-53 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別  
「医療」に関する支援（現在の支援）】（%）

	調査数（人）	「医療」に関する支援（現在の支援）										
		ア科病 院や 診療 所 で の 精 神 科 デ イ カ エ ア な ど	訪 問 看 護	談 利 用 で き な い と き に は 電 話 に 相 談	夜 間 精 神 科 病 院 に 受 診 で き な い	夜 間 精 神 科 休 日 に 受 診 で き な い	夜 間 精 神 科 休 日 に 入 院 で き な い	精 神 科 医 の 往 診	精 神 科 の 救 急 医 療 体 制	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	1167	17.5	11.6	2.5	1.7	1.3	1.0	0.4	4.6	63.5	5.0	
年 齢	20歳代以下	127	28.3	6.3	3.9	1.6	2.4	3.1	2.4	3.9	55.9	2.4
	30歳代	252	11.9	7.1	2.8	2.0	1.6	0.4	0.4	3.2	69.0	7.5
	40歳代	280	13.6	7.9	1.1	1.8	1.1	0.7	0.4	5.0	68.6	6.1
	50歳代	225	16.0	15.6	4.0	1.8	1.3	0.4	-	2.2	66.2	4.4
	60～64歳	100	29.0	26.0	4.0	4.0	1.0	2.0	-	6.0	48.0	2.0
	65～74歳	102	21.6	21.6	1.0	-	-	1.0	-	7.8	56.9	2.0
	75歳以上	68	11.8	2.9	-	-	1.5	1.5	-	11.8	63.2	7.4
無回答	13	38.5	15.4	-	-	-	-	-	-	46.2	-	
全 体	1167	17.5	11.6	2.5	1.7	1.3	1.0	0.4	4.6	63.5	5.0	
主 な 診 断 名 （ 集 約 ）	統合失調症	342	31.6	26.6	2.9	3.2	2.9	1.5	0.6	4.4	42.1	5.3
	気分（感情）障がい	452	8.8	1.8	2.9	1.3	0.4	0.2	0.2	3.1	79.4	4.4
	依存症	40	40.0	47.5	2.5	7.5	2.5	2.5	2.5	7.5	27.5	2.5
	認知症	42	19.0	2.4	-	-	-	2.4	-	4.8	61.9	9.5
	その他	274	10.9	5.8	1.5	-	0.7	1.5	0.4	7.3	68.6	5.1
無回答	17	11.8	-	5.9	-	-	-	-	-	76.5	5.9	
全 体	1167	17.5	11.6	2.5	1.7	1.3	1.0	0.4	4.6	63.5	5.0	
病 現 状 の 程 度	ほぼ安定している	912	16.9	11.8	2.3	1.6	1.2	1.0	0.3	4.6	64.6	4.3
	不安定	215	20.9	10.2	3.3	2.3	1.9	1.4	0.9	4.2	60.9	5.6
	無回答	40	12.5	12.5	2.5	-	-	-	-	7.5	52.5	17.5

## 第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

今後必要な支援について、年齢別にみると、現在の支援と同じく、20歳代以下と60～64歳では他の年代に比べて「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」の割合が高く、3割強となっている。また、60～64歳では「訪問看護」の割合が3割弱で高い。

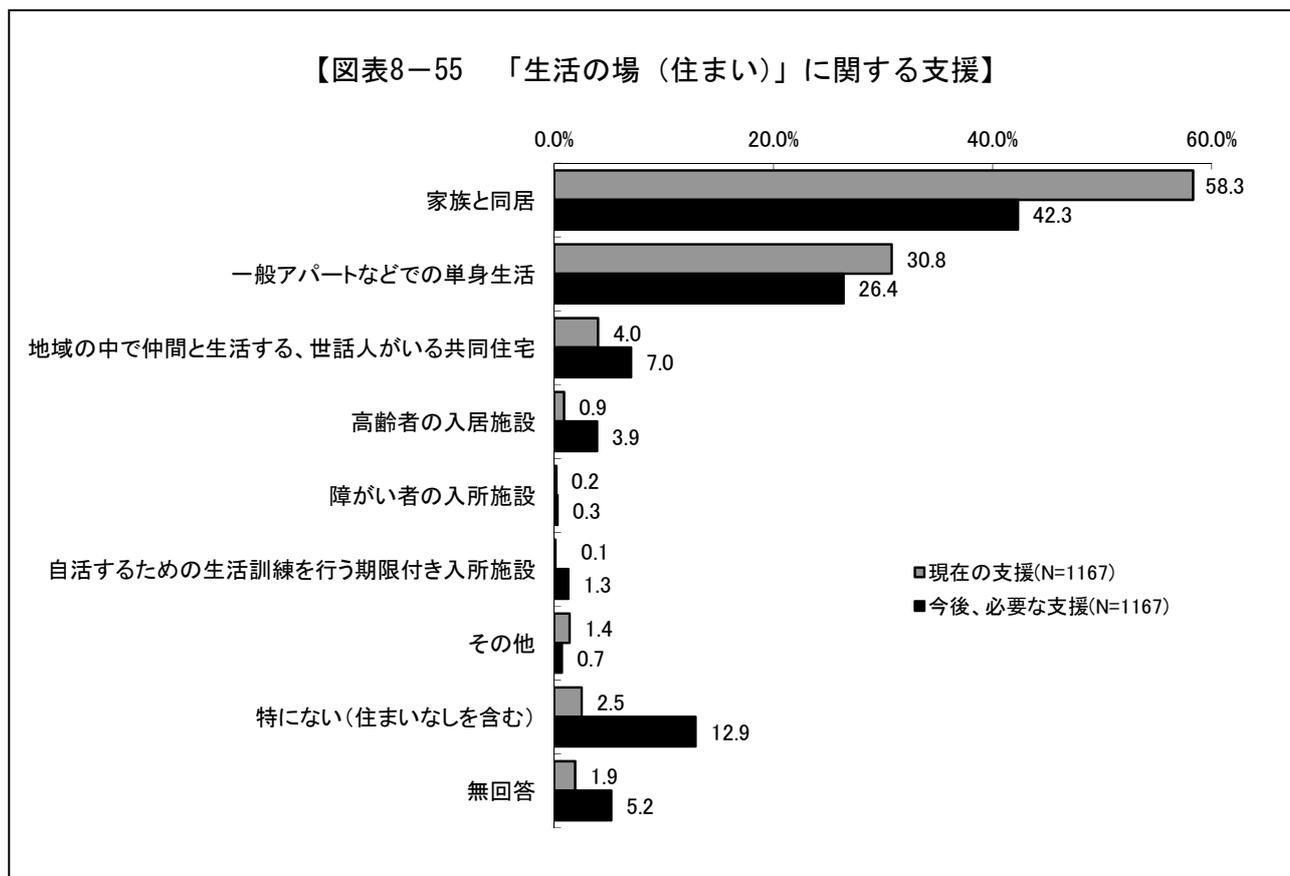
主な診断名（集約）別にみると、統合失調症や依存症の人では「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」の割合が高くなっており、特に依存症の人では「夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所」の割合も高い。

現在の病状の程度別にみると、不安定な人では、ほぼ安定している人に比べて「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」（27.0%）や「夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所」（26.5%）、「夜眠れないときなどに利用できる医療電話相談」（25.1%）等の割合が高い。

【図表8-54 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別  
「医療」に関する支援（今後必要な支援）】（%）

	調査数（人）	「医療」に関する支援（今後必要な支援）										
		ア科病 院や 診療 所 の 精 神 科 ケ ア な ど	訪 問 看 護	談 利 用 で き な い 医 療 電 話 に 相 談	夜 間 精 神 科 休 日 に 受 診 で き る	夜 間 精 神 科 休 日 に 受 診 で き る	夜 間 精 神 科 休 日 に 入 院 で き る	精 神 科 医 の 往 診	精 神 科 の 救 急 医 療 体 制	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	1167	20.8	15.6	16.3	17.4	5.5	2.7	3.7	4.6	44.0	4.6	
年齢	20歳代以下	127	33.9	10.2	17.3	15.7	3.1	3.9	3.1	3.9	35.4	3.1
	30歳代	252	17.1	12.3	21.4	19.4	6.3	2.4	3.2	3.2	46.0	4.0
	40歳代	280	17.5	12.9	16.8	20.4	5.7	1.8	5.0	4.3	45.4	5.7
	50歳代	225	18.7	18.7	15.6	16.4	5.3	1.8	3.1	2.2	50.2	4.0
	60～64歳	100	32.0	29.0	16.0	15.0	5.0	4.0	2.0	4.0	36.0	6.0
	65～74歳	102	21.6	20.6	9.8	14.7	5.9	2.0	3.9	8.8	39.2	5.9
	75歳以上	68	10.3	11.8	7.4	13.2	7.4	5.9	4.4	14.7	48.5	4.4
無回答	13	38.5	15.4	7.7	7.7	-	7.7	7.7	7.7	30.8	-	
全体	1167	20.8	15.6	16.3	17.4	5.5	2.7	3.7	4.6	44.0	4.6	
主な 診断 名 (集約)	統合失調症	342	38.0	33.0	19.9	20.8	8.5	4.1	4.7	4.1	22.8	6.7
	気分(感情)障がい	452	11.1	15.3	17.3	4.6	4.2	2.4	1.5	3.5	56.9	4.2
	依存症	40	40.0	20.0	7.5	47.5	7.5	7.5	2.5	7.5	17.5	2.5
	認知症	42	16.7	16.7	9.5	11.9	11.9	14.3	-	7.1	50.0	7.1
	その他	274	13.5	16.1	13.1	8.8	2.9	2.6	3.3	6.6	52.2	2.6
無回答	17	17.6	-	5.9	23.5	-	-	-	-	47.1	5.9	
全体	1167	20.8	15.6	16.3	17.4	5.5	2.7	3.7	4.6	44.0	4.6	
病 現 状 の 程 度	ほぼ安定している	912	19.5	15.0	14.5	15.6	4.9	2.2	3.1	4.7	46.7	4.3
	不安定	215	27.0	17.7	25.1	26.5	8.4	4.7	6.5	3.7	34.9	3.7
	無回答	40	17.5	17.5	10.0	10.0	2.5	2.5	2.5	7.5	32.5	17.5

(3) 「生活の場（住まい）」に関する支援



生活の場（住まい）に関する支援の現在の支援状況については、「家族と同居」（58.3%）が6割弱を占めて最も多く、次いで「一般アパートなどでの単身生活」（30.8%）となっており、その他はいずれも5%未満である。

また、今後、必要な支援としては、現在の支援状況と同じく「家族と同居」（42.3%）が最も多く、次いで「一般アパートなどでの単身生活」（26.4%）となっている。

## 第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

現在の支援について、年齢別にみると、「家族と同居」の割合は75歳以上を除くと若い年代ほど高く、20歳代以下では7割弱（66.1%）となっている。ただし、75歳以上でも7割弱（66.2%）と高い。

主な診断名（集約）別にみると、依存症以外の人では「家族と同居」が最も多いが、依存症の人では「一般アパートなどでの単身生活」（55.0%）が最も多く、過半数となっている。また、「地域の中で仲間と生活する、世話人がいる共同住宅」（15.0%）の割合も1割を超えており、他の疾患と比べてやや高い。

【図表8-56 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別  
「生活の場（住まい）」に関する支援（現在の支援）】（%）

	調査数（人）	「生活の場（住まい）」に関する支援（現在の支援）									
		家族と同居	単一般生 身アパ ートな どでの	同す地 住る域 の世 話中 人が 共 生 活	高 齢 者 の 入 居 施 設	障 が い 者 の 入 所 施 設	施 練 を 行 う 期 限 付 き 入 所 訓	自 活 す る た め の 生 活 所 訓	そ の 他	（特 に 住 ま い な し を 含 む）	無 回 答
全体	1167	58.3	30.8	4.0	0.9	0.2	0.1	1.4	2.5	1.9	
年齢	20歳代以下	127	66.1	26.8	0.8	-	-	2.4	2.4	1.6	
	30歳代	252	63.1	30.6	3.2	-	0.4	0.8	-	2.0	
	40歳代	280	60.0	31.1	2.1	-	0.4	0.4	0.7	3.6	
	50歳代	225	55.1	32.9	4.0	-	-	-	1.8	3.6	
	60～64歳	100	48.0	40.0	8.0	-	-	-	-	3.0	
	65～74歳	102	43.1	34.3	8.8	5.9	-	-	2.0	2.9	
	75歳以上	68	66.2	13.2	8.8	5.9	-	-	2.9	2.9	
	無回答	13	61.5	30.8	-	-	-	-	7.7	-	
全体	1167	58.3	30.8	4.0	0.9	0.2	0.1	1.4	2.5	1.9	
主な （集約） 診断名	統合失調症	342	57.3	29.2	7.6	0.6	0.3	-	0.9	1.8	
	気分（感情）障害	452	60.4	32.3	1.3	0.2	-	-	1.3	2.9	
	依存症	40	25.0	55.0	15.0	-	-	2.5	-	2.5	
	認知症	42	66.7	14.3	7.1	7.1	-	-	2.4	2.4	
	その他	274	58.0	30.3	2.2	1.5	0.4	-	2.2	2.9	
	無回答	17	82.4	17.6	-	-	-	-	-	-	
全体	1167	58.3	30.8	4.0	0.9	0.2	0.1	1.4	2.5	1.9	
病現 状在 の程 度の	ほぼ安定している	912	59.3	29.9	4.3	1.0	0.1	-	1.1	2.9	
	不安定	215	57.2	32.1	3.3	0.5	0.5	-	2.8	1.4	
	無回答	40	40.0	45.0	2.5	-	-	2.5	-	10.0	

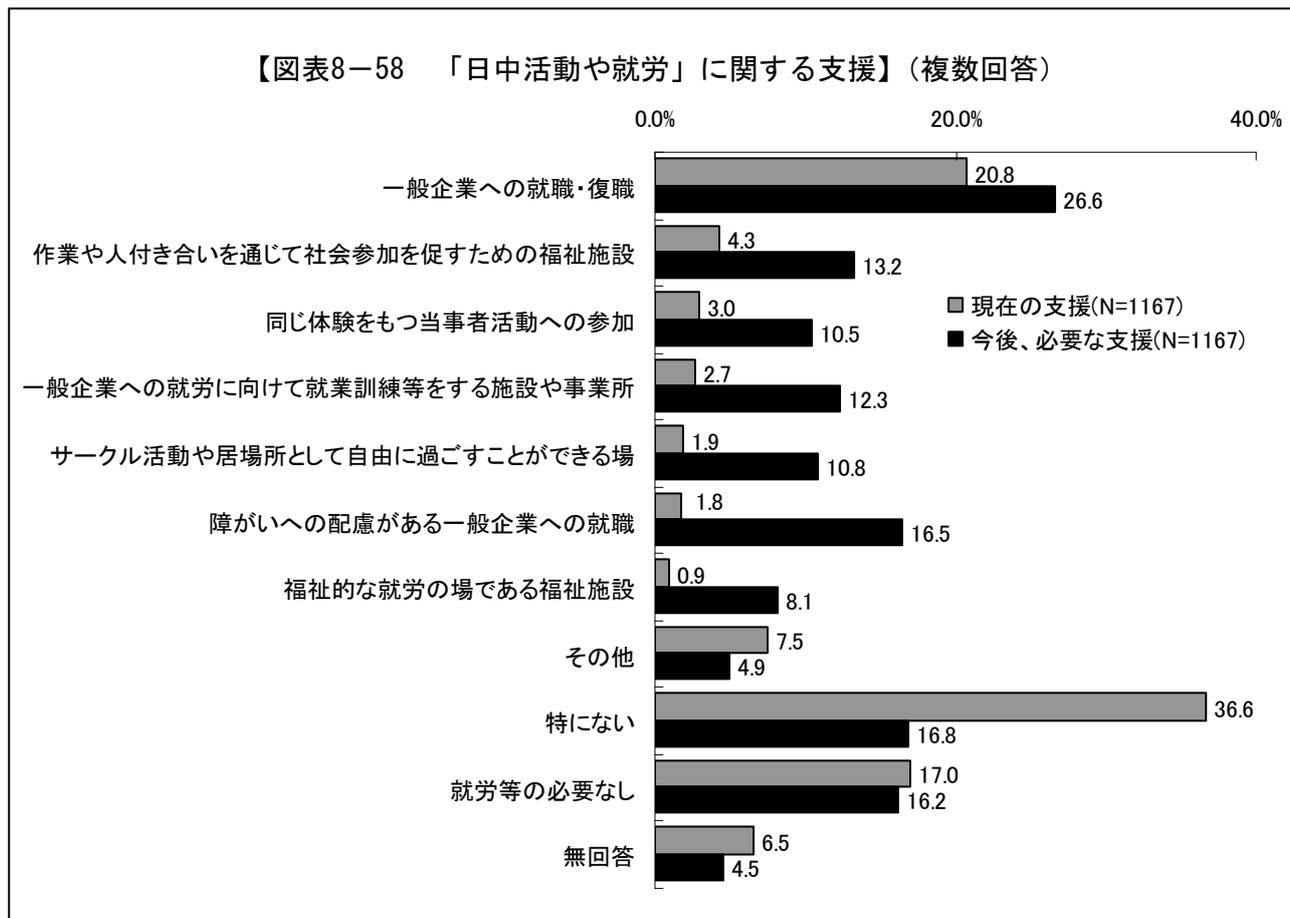
今後必要な支援について、年齢別にみると、「一般アパートなどでの単身生活」の割合は若い年代ほど高く、20歳代以下では4割弱（37.0%）となっている。また、60歳以上では50歳代以下に比べて「地域の中で仲間と生活する、世話人がいる共同住宅」や「高齢者の入居施設」の割合が高い。

主な診断名（集約）別にみると、現在の支援と同じく、依存症以外の人では「家族と同居」が最も多いが、依存症の人では「一般アパートなどでの単身生活」（47.5%）が最も多く、半数弱となっている。また、認知症の人では「地域の中で仲間と生活する、世話人がいる共同住宅」と「高齢者の入居施設」（それぞれ21.4%）の割合が高い。

【図表8-57 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別  
「生活の場（住まい）」に関する支援（今後必要な支援）】（%）

	調査数（人）	「生活の場（住まい）」に関する支援（今後必要な支援）									
		家族と同居	単一般アパートなどでの生活	同す地域の住宅世話人がいる共同生活	高齢者の入居施設	施設を自活を行うため付き入所訓練	障がい者の入所施設	その他	（特になしを含む）	無回答	
全体	1167	42.3	26.4	7.0	3.9	1.3	0.3	0.7	12.9	5.2	
年齢	20歳代以下	127	42.5	37.0	0.8	-	3.1	-	0.8	10.2	5.5
	30歳代	252	47.2	30.2	4.4	-	1.6	0.8	0.8	10.7	4.4
	40歳代	280	41.1	30.0	4.3	-	1.8	0.4	-	16.8	5.7
	50歳代	225	42.7	25.8	5.8	2.7	0.4	-	0.9	16.4	5.3
	60～64歳	100	39.0	23.0	15.0	6.0	1.0	1.0	1.0	8.0	6.0
	65～74歳	102	33.3	13.7	18.6	15.7	-	-	-	10.8	7.8
	75歳以上	68	44.1	4.4	14.7	25.0	-	-	1.5	10.3	-
	無回答	13	53.8	23.1	7.7	-	-	-	7.7	-	7.7
全体	1167	42.3	26.4	7.0	3.9	1.3	0.3	0.7	12.9	5.2	
主な診断名（集約）	統合失調症	342	40.4	26.0	11.1	4.1	1.2	0.3	1.5	7.3	8.2
	気分（感情）障害	452	44.0	27.9	4.0	2.2	1.1	-	0.4	16.4	4.0
	依存症	40	22.5	47.5	12.5	2.5	5.0	-	-	5.0	5.0
	認知症	42	47.6	2.4	21.4	21.4	-	2.4	-	4.8	-
	その他	274	43.1	25.2	4.4	4.0	1.5	0.7	0.4	16.8	4.0
	無回答	17	58.8	23.5	-	-	-	-	-	5.9	11.8
全体	1167	42.3	26.4	7.0	3.9	1.3	0.3	0.7	12.9	5.2	
現在の病状の程度	ほぼ安定している	912	43.3	25.2	6.8	3.8	0.7	0.1	0.7	14.5	4.9
	不安定	215	40.5	30.7	7.9	3.3	3.3	1.4	0.9	7.4	4.7
	無回答	40	30.0	30.0	7.5	7.5	5.0	-	-	5.0	15.0

(4) 「日中活動や就労」に関する支援



現在の日中活動や就労に関する支援状況については、「特になし」（36.6%）が4割弱、「就労等の必要なし」（17.0%）が2割弱である。具体的な内容としては、「一般企業への就職・復職」（20.8%）が2割となっている。

また、今後、必要な支援としては、「一般企業への就職・復職」（26.6%）が最も多く、次いで「障がいへの配慮がある一般企業への就職」（16.5%）、「作業や人付き合いを通じて社会参加を促すための福祉施設」（13.2%）となっている。

現在の支援について、年齢別にみると、50歳代までは「一般企業への就職・復職」の割合が2割を超えている。

主な診断名（集約）別にみると、気分（感情）障害の人では「一般企業への就職・復職」（27.7%）の割合が高く、3割弱となっている。また、依存症の人では「同じ体験をもつ当事者活動への参加」（22.5%）の割合が2割を超えて高い。

現在の病状の程度別にみると、「一般企業への就職・復職」や「同じ体験をもつ当事者活動への参加」では、ほぼ安定しているの割合が高く、「サークル活動や居場所として自由に過ごすことができる場」では、不安定の割合が高い。

【図表8-59 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別  
「日中活動や就労」に関する支援（現在の支援）】（%）

	調査数（人）	「日中活動や就労」に関する支援（現在の支援）											
		職一般 企業への 就職・復	めじ のて社 の福社 施会 設加設	作業 や人 社参 加付 き合 いを 促す た通	活同 動じ への 参加 をも つ当 事者	施け 設て や就 事業 業訓 練等 をす る向	とが とで サー クル 活自 動由 に動 過居 す場 所	一障 が企 業へ の配 慮が ある	る福 祉社 施な 就 設労 の場 であ	そ の 他	特 に ない	就 労 等 の 必 要 なし	無 回 答
全体	1167	20.8	4.3	3.0	2.7	1.9	1.8	0.9	7.5	36.6	17.0	6.5	
年齢	20歳代以下	127	27.6	3.1	0.8	3.1	0.8	-	0.8	13.4	35.4	7.9	7.9
	30歳代	252	27.8	5.6	2.8	4.4	2.0	4.0	1.6	5.6	39.3	2.8	8.3
	40歳代	280	26.1	3.6	1.4	2.5	2.9	2.1	1.1	7.9	41.8	6.1	7.1
	50歳代	225	23.6	7.6	6.2	2.7	1.3	2.2	0.9	8.9	33.8	12.4	5.3
	60～64歳	100	8.0	3.0	6.0	2.0	3.0	-	1.0	4.0	35.0	39.0	3.0
	65～74歳	102	1.0	2.0	2.9	-	2.0	-	-	4.9	28.4	54.9	4.9
	75歳以上	68	-	-	-	-	-	-	-	7.4	32.4	55.9	4.4
無回答	13	23.1	-	-	7.7	-	-	-	-	30.8	23.1	15.4	
全体	1167	20.8	4.3	3.0	2.7	1.9	1.8	0.9	7.5	36.6	17.0	6.5	
主な 診断 名 (集約)	統合失調症	342	8.5	10.5	5.8	1.8	4.1	3.8	1.2	9.1	35.4	15.8	10.5
	気分(感情)障害	452	27.7	0.9	0.9	3.1	0.4	1.1	0.7	5.8	39.6	16.4	4.6
	依存症	40	2.5	5.0	22.5	7.5	2.5	-	2.5	5.0	32.5	15.0	12.5
	認知症	42	-	-	-	-	-	-	-	4.8	47.6	42.9	4.8
	その他	274	30.7	2.9	0.7	2.6	1.8	1.1	0.7	8.8	31.8	16.1	4.4
無回答	17	23.5	-	-	5.9	-	-	5.9	11.8	41.2	11.8	-	
全体	1167	20.8	4.3	3.0	2.7	1.9	1.8	0.9	7.5	36.6	17.0	6.5	
病現 状の 程度	ほぼ安定している	912	22.3	4.1	3.5	2.5	1.6	2.0	1.0	6.8	34.9	18.1	6.5
	不安定	215	15.3	5.6	0.9	2.8	3.3	0.9	0.5	11.6	43.7	12.1	5.6
	無回答	40	17.5	2.5	2.5	5.0	-	2.5	2.5	-	37.5	17.5	12.5

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

今後必要な支援について、年齢別にみると、ほとんどの項目で若い年代ほど必要な人の割合が高く、特に30歳代以下では「一般企業への就職・復職」の割合が4割前後と高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、現在の支援と同じく、気分（感情）障害の人では「一般企業への就職・復職」（37.2%）の割合が高く、4割弱となっている。また、統合失調症や依存症の人では「作業や人付き合いを通じて社会参加を促すための福祉施設」の割合が高くなっており、特に依存症の人では「同じ体験をもつ当事者活動への参加」（35.0%）の割合も高い。さらに、統合失調症の人では「障がいへの配慮がある一般企業への就職」（21.1%）や「サークル活動や居場所として自由に過ごすことができる場」（20.2%）の割合が高くなっている。

現在の病状の程度別にみると、「一般企業への就職・復職」や「同じ体験をもつ当事者活動への参加」について、全体の割合とほぼ安定しているや不安定の割合に差異は殆ど見られないが、それ以外については全体の割合に比べ不安定の割合が高い。

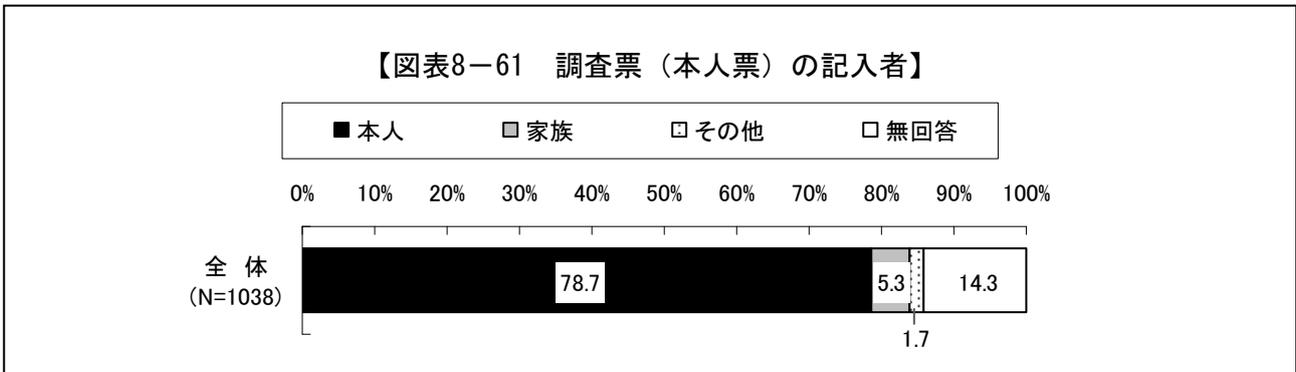
【図表8-60 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別  
「日中活動や就労」に関する支援（今後必要な支援）】（%）

	調査数（人）	「日中活動や就労」に関する支援（今後必要な支援）												
		職一般企業への就職・復	障がいへの配慮がある	福祉施設参加を促す	作業や人付き合いを通	施設や事業所を向	一般企業への就労する	サークル活動や居場所	活動への参加	同じ体験をもつ当事者	福祉的な就労の場であ	その他	特にな	就労等の必要なし
全体	1167	26.6	16.5	13.2	12.3	10.8	10.5	8.1	4.9	16.8	16.2	4.5		
年齢	20歳代以下	127	41.7	29.1	16.5	22.8	15.0	10.2	13.4	9.4	7.9	5.5	4.7	
	30歳代	252	38.1	23.0	19.4	17.9	13.9	11.1	11.5	2.8	12.7	2.0	2.8	
	40歳代	280	30.0	22.1	12.9	15.0	10.0	12.5	10.0	4.3	20.7	3.9	5.4	
	50歳代	225	28.0	12.9	16.9	8.0	10.2	12.9	5.8	6.7	16.4	11.1	4.9	
	60～64歳	100	10.0	6.0	7.0	7.0	12.0	11.0	5.0	2.0	15.0	44.0	4.0	
	65～74歳	102	1.0	1.0	2.0	-	6.9	5.9	1.0	4.9	18.6	55.9	5.9	
	75歳以上	68	-	-	-	-	1.5	-	-	5.9	33.8	54.4	4.4	
無回答	13	23.1	-	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	-	15.4	23.1	7.7		
全体	1167	26.6	16.5	13.2	12.3	10.8	10.5	8.1	4.9	16.8	16.2	4.5		
主な診断名（集約）	統合失調症	342	9.6	21.1	27.5	13.2	20.2	16.7	14.0	7.6	11.1	15.2	7.0	
	気分（感情）障害	452	37.2	16.6	3.8	10.8	6.0	4.9	4.4	2.4	18.8	15.9	4.0	
	依存症	40	12.5	12.5	27.5	15.0	10.0	35.0	10.0	2.5	7.5	15.0	5.0	
	認知症	42	-	-	2.4	-	-	2.4	-	4.8	45.2	40.5	4.8	
	その他	274	35.4	12.8	11.3	13.9	9.1	10.6	8.0	5.8	17.9	15.0	2.2	
無回答	17	41.2	35.3	-	35.3	5.9	-	-	5.9	11.8	5.9	5.9		
全体	1167	26.6	16.5	13.2	12.3	10.8	10.5	8.1	4.9	16.8	16.2	4.5		
病状の程度	ほぼ安定している	912	26.0	15.8	11.4	11.1	9.0	10.9	6.5	3.9	18.3	17.5	4.1	
	不安定	215	28.8	20.9	21.9	17.7	19.1	10.7	15.8	9.8	10.7	10.7	5.1	
	無回答	40	27.5	10.0	7.5	12.5	7.5	2.5	2.5	-	15.0	15.0	12.5	

5. 通院患者の状況

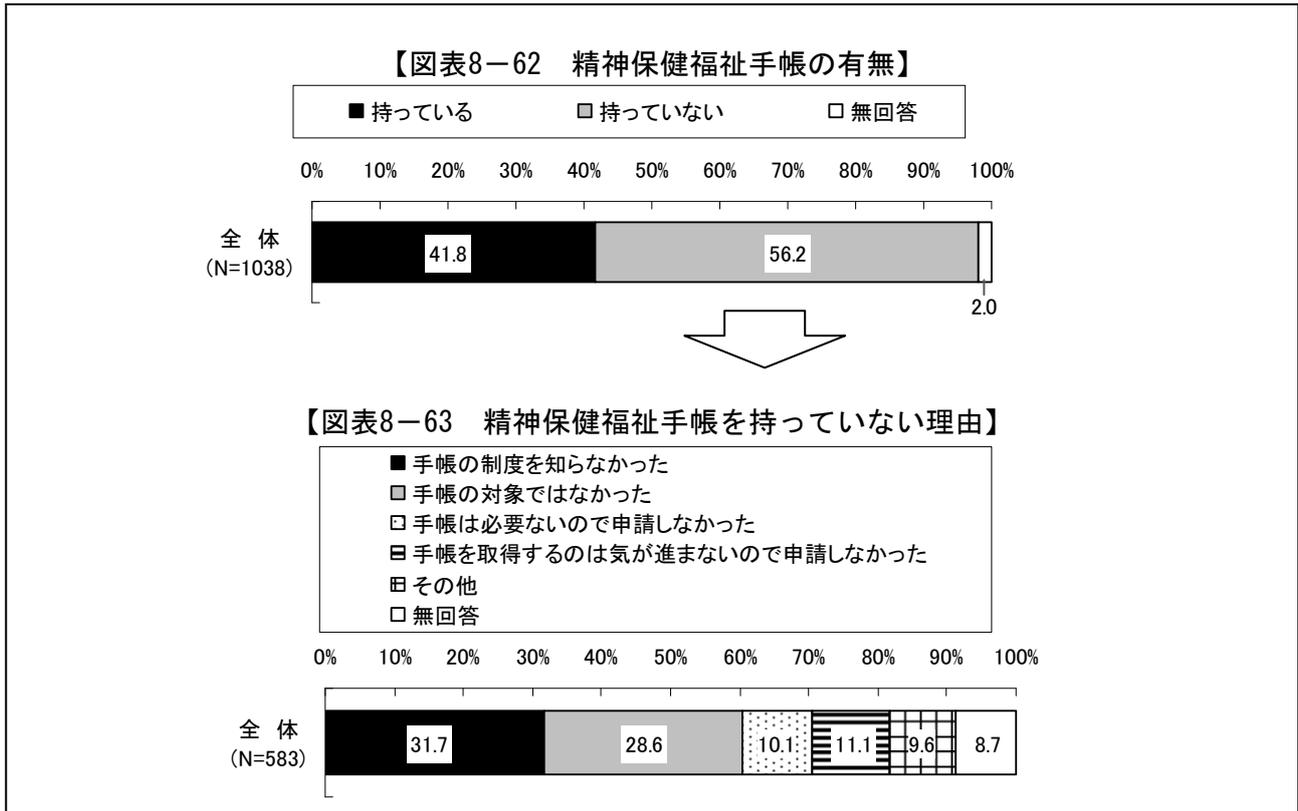
5～9は、通院患者本人による回答結果である（本人票）。

(1) 調査票（本人票）の記入者



調査票の記入者については、「本人」（78.7%）が8割弱と大半を占めており、「家族」（5.3%）は1割未満となっている。

(2) 精神保健福祉手帳の有無・持っていない理由



精神保健福祉手帳の所持状況については、「持っていない」(56.2%)が過半数であり、「持っている」(41.8%)を上回っている。また、統合失調症で手帳を所有している人が多くなっている。

精神保健福祉手帳を持っていない人にその理由をたずねると、「手帳の制度を知らなかった」(31.7%)が最も多く、次いで「手帳の対象ではなかった」(28.6%)になっている。「手帳を取得するのは気が進まないで申請しなかった」(11.1%)は若い年代で割合が高く、20歳代では2割を超えている。

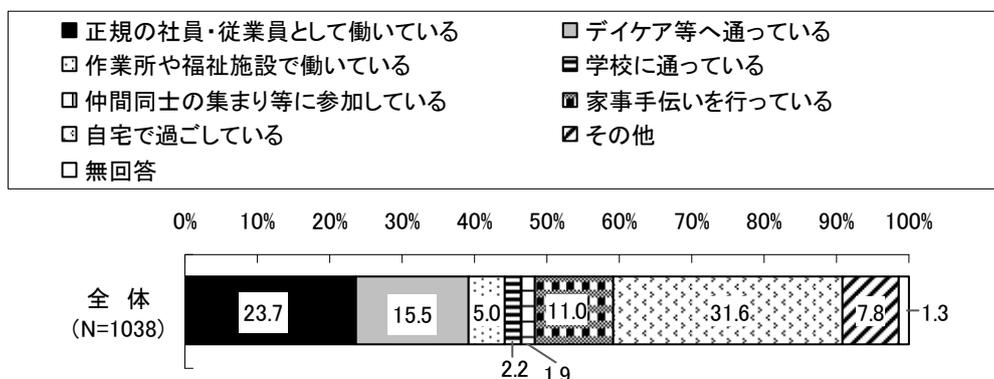
【図表8-64 年齢別、主な診断名（詳細）別 精神保健福祉手帳を持っていない理由】(%)

	調査数(人)	精神保健福祉手帳の有無			調査数(人)	精神保健福祉手帳を持っていない理由						
		持っている	持っていない	無回答		手帳の制度を知らなかった	手帳の対象ではなかった	手帳は必要ないので申請しなかった	手帳を取得するのは気が進まないで申請しなかった	その他	無回答	
全体	1038	41.8	56.2	2.0	583	31.7	28.6	10.1	11.1	9.6	8.7	
年齢	20歳代以下	116	31.9	63.8	4.3	74	24.3	28.4	9.5	21.6	6.8	9.5
	30歳代	226	45.6	53.1	1.3	120	32.5	28.3	12.5	11.7	6.7	8.3
	40歳代	254	46.5	51.6	2.0	131	28.2	28.2	9.2	13.0	14.5	6.9
	50歳代	199	42.2	56.3	1.5	112	33.0	29.5	6.3	8.9	11.6	10.7
	60～64歳	87	47.1	49.4	3.4	43	39.5	23.3	9.3	9.3	11.6	7.0
	65～74歳	87	44.8	54.0	1.1	47	38.3	29.8	12.8	4.3	4.3	10.6
	75歳以上	56	14.3	85.7	-	48	33.3	33.3	16.7	4.2	6.3	6.3
	無回答	13	30.8	61.5	7.7	8	37.5	25.0	-	-	12.5	25.0
全体	1038	41.8	56.2	2.0	583	31.7	28.6	10.1	11.1	9.6	8.7	
主な診断名(集約)	統合失調症	299	68.9	29.8	1.3	89	32.6	18.0	16.9	18.0	4.5	10.1
	気分(感情)障害	406	34.7	63.3	2.0	257	30.7	33.1	7.4	9.7	11.3	7.8
	依存症	38	47.4	50.0	2.6	19	21.1	21.1	15.8	5.3	15.8	21.1
	認知症	39	5.1	94.9	-	37	32.4	27.0	16.2	5.4	8.1	10.8
	その他	240	26.3	70.8	2.9	170	32.4	30.0	8.8	10.6	10.0	8.2
	無回答	16	25.0	68.8	6.3	11	54.5	9.1	9.1	27.3	-	-

(3) 主な日中の過ごし方

問2 あなたは、日中、主に何をして過ごしていますか。（○は1つだけ）

【図表8-65 主な日中の過ごし方】



主な日中の過ごし方としては、「自宅で過ごしている」(31.6%)が最も多く、次いで「正規の社員・従業員として働いている」(23.7%)、「デイケア等へ通っている」(15.5%)、「家事手伝いを行っている」(11.0%)となっており、その他は1割未満となっている。

年齢別にみると、50歳代以下では「正規の社員・従業員として働いている」の割合が高く、2～3割を占めている。一方、60歳代以上では「デイケア等へ通っている」の割合が2割を超えて高く、75歳以上では4割強(44.6%)となっている。さらに、60～74歳では「自宅で過ごしている」の割合も4割を超えて高い。

主な診断名(集約)別にみると、気分(感情)障害の人では「正規の社員・従業員として働いている」(29.6%)の割合が3割と高く、「自宅で過ごしている」(37.7%)、「家事手伝いを行っている」(12.3%)と仕事以外では自宅中心の過ごし方の割合も高い傾向にある。また、「デイケア等へ通っている」の割合は、認知症の人で6割強(61.5%)と特に高く、統合失調症や依存症の人でも3割前後と高い。

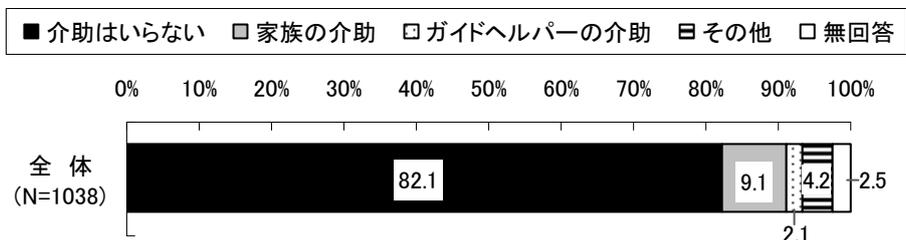
【図表8-66 年齢別、主な診断名(集約)別 主な日中の過ごし方】(%)

	調査数(人)	主な日中の過ごし方									
		正規の社員・従業員として働いている	デイケア等へ通っている	作業所や福祉施設で働いている	学校に通っている	仲間同士の集まり等に参加している	家事手伝いを行っている	自宅で過ごしている	その他	無回答	
全体	1038	23.7	15.5	5.0	2.2	1.9	11.0	31.6	7.8	1.3	
年齢	20歳代以下	116	22.4	13.8	5.2	16.4	0.9	15.5	19.8	6.0	-
	30歳代	226	29.6	9.7	6.2	1.3	1.8	15.5	28.8	6.6	0.4
	40歳代	254	33.1	8.7	4.7	0.4	1.2	8.7	31.5	10.2	1.6
	50歳代	199	26.1	13.6	6.0	-	3.5	12.6	29.6	7.0	1.5
	60～64歳	87	11.5	24.1	2.3	-	1.1	5.7	43.7	8.0	3.4
	65～74歳	87	4.6	28.7	3.4	-	1.1	8.0	46.0	5.7	2.3
	75歳以上	56	-	44.6	-	-	5.4	3.6	33.9	12.5	-
	無回答	13	23.1	23.1	23.1	-	-	-	30.8	-	-
全体	1038	23.7	15.5	5.0	2.2	1.9	11.0	31.6	7.8	1.3	
主な診断名(集約)	統合失調症	299	14.4	26.8	8.4	1.7	2.3	13.0	27.1	5.4	1.0
	気分(感情)障害	406	29.6	5.2	2.5	2.0	2.2	12.3	37.7	8.1	0.5
	依存症	38	5.3	31.6	13.2	2.6	-	2.6	36.8	2.6	5.3
	認知症	39	2.6	61.5	-	-	-	-	28.2	7.7	-
	その他	240	31.7	9.6	4.6	3.8	1.7	9.6	25.4	11.3	2.5
無回答	16	25.0	6.3	6.3	-	-	6.3	50.0	6.3	-	

(4) 外出時に必要な介助

問3 あなたが外出するときに必要な介助はどれですか。（○は1つだけ）

【図表8-67 外出時に必要な介助】



外出時に必要な介助としては、「介助はいらない」（82.1%）が8割強と大半を占めており、「家族の介助」（9.1%）、「ガイドヘルパーの介助」（2.1%）はそれぞれ1割未満となっている。

年齢別にみると、75歳以上では「家族の介助」（57.1%）等の割合が高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では「家族の介助」（69.2%）の割合が顕著に高いものの、他の診断名は「介助はいらない」が8割を超えている。

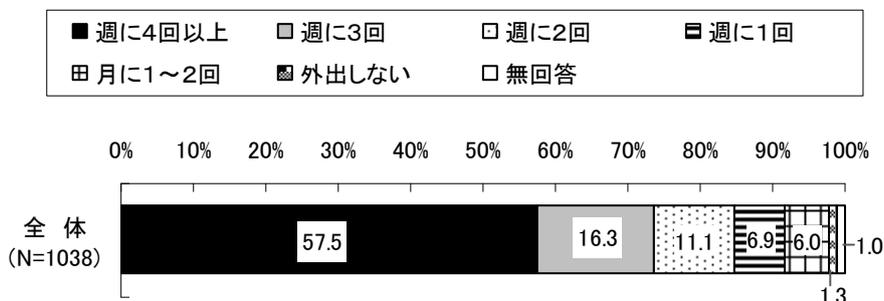
【図表8-68 年齢別、主な診断名（集約）別 外出時に必要な介助】 (%)

	調査数（人）	外出時に必要な介助					
		介助はいらない	家族の介助	ガイドヘルパーの介助	その他	無回答	
全体	1038	82.1	9.1	2.1	4.2	2.5	
年齢	20歳代以下	116	89.7	6.9	-	2.6	0.9
	30歳代	226	83.2	8.8	1.8	5.3	0.9
	40歳代	254	87.0	5.5	0.8	3.5	3.1
	50歳代	199	86.4	4.5	2.0	3.5	3.5
	60～64歳	87	81.6	5.7	1.1	5.7	5.7
	65～74歳	87	80.5	4.6	6.9	4.6	3.4
	75歳以上	56	26.8	57.1	8.9	7.1	-
	無回答	13	84.6	15.4	-	-	-
全体	1038	82.1	9.1	2.1	4.2	2.5	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	83.9	6.7	3.0	4.3	2.0
	気分（感情）障害	406	88.4	4.7	1.0	4.2	1.7
	依存症	38	84.2	2.6	-	-	13.2
	認知症	39	12.8	69.2	7.7	10.3	-
	その他	240	80.8	10.0	2.5	3.3	3.3
	無回答	16	68.8	18.8	-	12.5	-

(5) 外出の頻度

問4 あなたは、どのくらいの頻度で通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどをしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。（○は1つだけ）

【図表8-69 外出の頻度】



外出の頻度としては、「週に4回以上」（57.5%）が6割弱と最も多く、次いで「週に3回」（16.3%）、「週に2回」（11.1%）となっている。

年齢別にみると、若い年代ほど外出の頻度が高く、20歳代以下では「週に4回以上」（66.4%）の割合が7割弱と大半を占めている。

主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では他に比べて外出の頻度が低い人が多く、「月に1~2回」（25.6%）の割合が3割弱となっている。

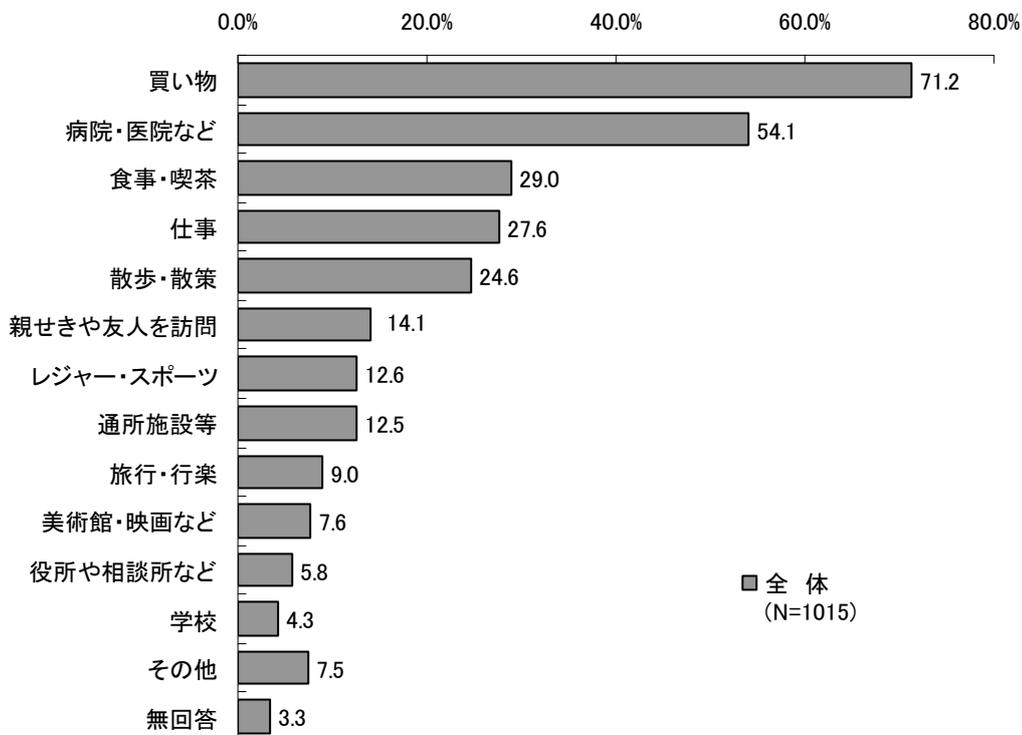
【図表8-70 年齢別、主な診断名（集約）別 外出の頻度】 (%)

	調査数（人）	外出の頻度							
		週に4回以上	週に3回	週に2回	週に1回	月に1~2回	外出しない	無回答	
全体	1038	57.5	16.3	11.1	6.9	6.0	1.3	1.0	
年齢	20歳代以下	116	66.4	12.9	9.5	6.0	3.4	1.7	-
	30歳代	226	59.3	15.9	10.6	8.0	3.1	1.8	1.3
	40歳代	254	59.8	16.5	10.6	7.5	3.5	1.6	0.4
	50歳代	199	60.3	12.6	12.1	8.0	6.5	-	0.5
	60~64歳	87	49.4	20.7	13.8	5.7	8.0	-	2.3
	65~74歳	87	47.1	24.1	12.6	3.4	8.0	2.3	2.3
	75歳以上	56	39.3	16.1	8.9	7.1	25.0	1.8	1.8
	無回答	13	61.5	23.1	7.7	-	7.7	-	-
全体	1038	57.5	16.3	11.1	6.9	6.0	1.3	1.0	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	55.5	20.4	12.4	5.4	3.3	2.3	0.7
	気分（感情）障害	406	56.4	15.8	13.5	7.1	5.9	0.7	0.5
	依存症	38	55.3	10.5	10.5	13.2	2.6	-	7.9
	認知症	39	48.7	7.7	5.1	10.3	25.6	2.6	-
	その他	240	64.2	13.3	6.7	7.5	6.3	0.8	1.3
	無回答	16	50.0	31.3	6.3	-	12.5	-	-

(6) 主な外出先

〔問4で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします〕  
 問4-1 どのようなところに外出することが多いですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表8-71 主な外出先】



主な外出先としては、「買い物」(71.2%)が7割強と最も多く、次いで「病院・医院など」(54.1%)となっている。

年齢別にみると、20歳代以下では他の年代に比べて「食事・喫茶」(43.0%)や「学校」(19.3%)等の割合が高い。また、30・40歳代では「仕事」の割合が高く、3割を超えている。

主な診断名(集約)別にみると、統合失調症の人では「買い物」(72.1%)や「通所施設等」(21.0%)の割合が高い。また、気分(感情)障害の人では「買い物」(75.1%)や「仕事」(32.4%)、認知症の人では「通所施設等」(36.8%)の割合が他に比べ高くなっている。

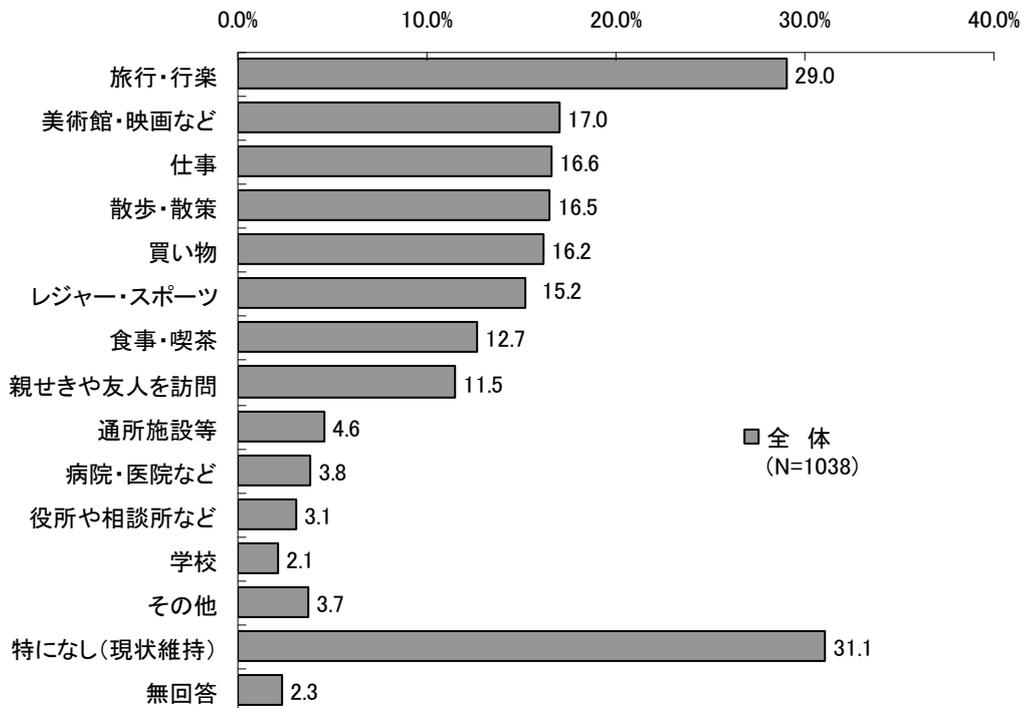
【図表8-72 年齢別、主な診断名(集約)別 主な外出先】(%)

	調査数(人)	主な外出先														
		買い物	ど病院・医院など	食事・喫茶	仕事	散歩・散策	を親せきや友人を訪問	ポレジャー・スポーツ	通所施設等	旅行・行楽	な美術館・映画	な役所や相談所	学校	その他	無回答	
全体	1015	71.2	54.1	29.0	27.6	24.6	14.1	12.6	12.5	9.0	7.6	5.8	4.3	7.5	3.3	
年齢	20歳代以下	114	67.5	55.3	43.0	28.9	27.2	12.3	12.3	13.2	9.6	8.8	4.4	19.3	6.1	3.5
	30歳代	219	77.2	56.2	32.0	33.8	25.6	20.1	15.1	11.4	8.7	7.8	8.2	3.2	8.2	2.7
	40歳代	249	69.9	53.4	30.1	36.1	22.5	12.9	16.1	9.6	7.2	8.4	5.6	4.4	8.8	2.0
	50歳代	198	73.2	53.0	27.3	29.8	25.8	14.6	13.6	11.1	11.6	8.1	7.6	1.0	6.6	2.5
	60～64歳	85	70.6	44.7	15.3	16.5	15.3	8.2	7.1	8.2	8.2	2.4	4.7	2.4	7.1	9.4
	65～74歳	83	80.7	61.4	20.5	7.2	27.7	13.3	3.6	18.1	9.6	7.2	2.4	-	7.2	6.0
	75歳以上	54	40.7	57.4	22.2	-	25.9	9.3	5.6	31.5	5.6	5.6	1.9	-	7.4	-
	無回答	13	69.2	38.5	30.8	30.8	46.2	7.7	15.4	15.4	15.4	15.4	-	-	-	7.7
主な診断名(集約)	全体	1015	71.2	54.1	29.0	27.6	24.6	14.1	12.6	12.5	9.0	7.6	5.8	4.3	7.5	3.3
	統合失調症	290	72.1	54.5	28.3	18.3	23.4	12.8	10.7	21.0	6.6	6.2	6.6	2.8	5.5	5.5
	気分(感情)障害	401	75.1	56.9	29.9	32.4	27.7	16.5	13.5	5.7	11.2	9.5	6.2	4.5	9.2	1.5
	依存症	35	54.3	62.9	8.6	11.4	25.7	5.7	2.9	14.3	5.7	2.9	-	2.9	14.3	5.7
	認知症	38	34.2	52.6	18.4	2.6	23.7	7.9	2.6	36.8	5.3	-	-	-	10.5	-
	その他	235	71.5	47.2	32.3	37.4	19.6	14.0	17.0	9.4	8.9	8.5	6.4	7.2	5.5	4.3
	無回答	16	81.3	62.5	37.5	25.0	43.8	12.5	6.3	12.5	12.5	-	-	-	6.3	-

(7) 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ

問5 あなたが、今後、外出の回数を増やしたいところや、新たに外出したいところはどのようなところですか。（○はあてはまるものすべて）

【図表8-73 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ】



今後増やしたい外出先としては、「旅行・行楽」(29.0%)や「美術館・映画など」(17.0%)等を希望している人が多い。「特になし(現状維持)」は3割強となっている。

年齢別にみると、30歳代以下では他の年代に比べて「仕事」や「買い物」、「親せきや友人を訪問」の割合が高くなっている。

主な診断名(集約)別にみると、気分(感情)障害やその他では「旅行・行楽」の割合が3割強と他に比べて高い。また、統合失調症や認知症では「買い物」の割合が2割程度を占めている。

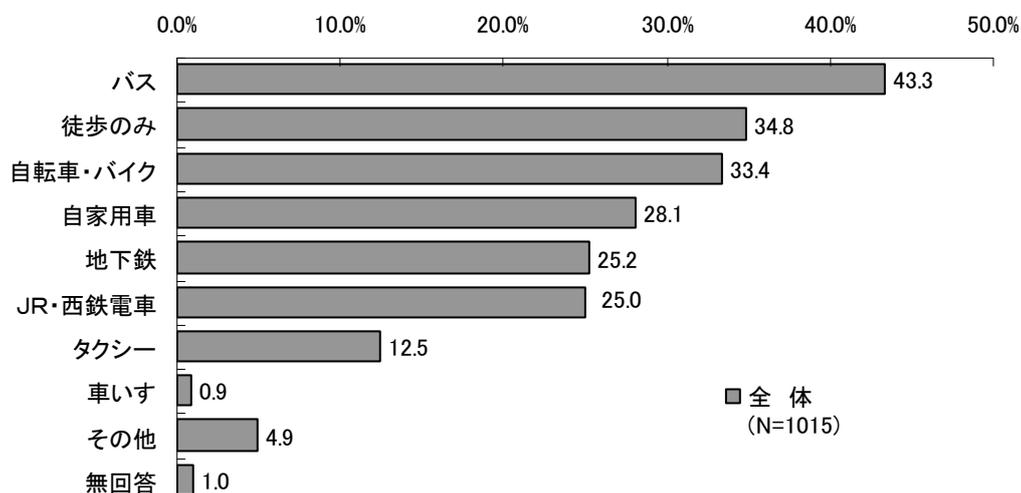
【図表8-74 年齢別、主な診断名(集約)別 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ】(%)

	調査数(人)	外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ															
		旅行・行楽	美術館・映画など	仕事	散歩・散策	買い物	レジャー・スポーツ	食事・喫茶	親せきや友人を訪問	通所施設等	病院・医院など	役所や相談所など	学校	その他	特になし(現状維持)	無回答	
全体	1038	29.0	17.0	16.6	16.5	16.2	15.2	12.7	11.5	4.6	3.8	3.1	2.1	3.7	31.1	2.3	
年齢	20歳代以下	116	35.3	21.6	29.3	13.8	21.6	23.3	13.8	17.2	4.3	3.4	4.3	6.9	0.9	19.0	2.6
	30歳代	226	34.5	20.4	27.9	19.9	24.8	15.5	19.0	17.3	7.1	4.4	4.0	2.7	3.1	27.0	1.3
	40歳代	254	26.8	13.4	17.3	11.4	12.2	14.6	9.1	7.5	3.1	1.6	2.4	1.6	5.5	34.6	1.6
	50歳代	199	31.7	22.1	11.6	17.1	13.1	18.1	14.6	7.5	3.5	2.5	4.0	1.0	3.0	28.1	2.0
	60~64歳	87	18.4	12.6	6.9	19.5	8.0	4.6	6.9	8.0	4.6	3.4	2.3	2.3	5.7	40.2	2.3
	65~74歳	87	26.4	11.5	1.1	20.7	12.6	17.2	10.3	12.6	5.7	9.2	1.1	-	3.4	31.0	4.6
	75歳以上	56	17.9	7.1	-	17.9	17.9	5.4	8.9	12.5	3.6	7.1	-	-	3.6	48.2	5.4
	無回答	13	15.4	15.4	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	-	-	53.8	7.7
主な診断名(集約)	全体	1038	29.0	17.0	16.6	16.5	16.2	15.2	12.7	11.5	4.6	3.8	3.7	3.1	2.1	31.1	2.3
	統合失調症	299	23.1	18.4	13.0	14.7	21.1	14.0	13.4	12.7	6.7	6.7	4.7	5.0	2.3	32.1	2.7
	気分(感情)障害	406	31.8	18.0	19.5	17.7	11.8	17.5	13.3	10.8	3.2	2.5	4.2	2.2	1.2	30.8	1.2
	依存症	38	13.2	5.3	13.2	10.5	10.5	15.8	2.6	7.9	7.9	7.9	5.3	7.9	7.9	36.8	5.3
	認知症	39	25.6	5.1	-	15.4	20.5	2.6	15.4	15.4	7.7	5.1	7.7	-	-	38.5	7.7
	その他	240	34.6	17.1	19.2	16.3	17.5	13.3	12.1	11.3	3.8	1.3	0.8	2.1	2.9	29.6	2.5
	無回答	16	31.3	18.8	18.8	37.5	18.8	37.5	12.5	6.3	-	6.3	-	-	-	12.5	-

(8) 外出時の移動手段

[問4で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]  
 問4-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表8-75 外出時の移動手段】



外出時の移動手段としては、「バス」(43.3%)が4割強と最も多く、次いで「徒歩のみ」(34.8%)、「自転車・バイク」(33.4%)となっている。

年齢別にみると、「自転車・バイク」の割合は若い年代ほど高く、20歳代以下では6割弱(56.1%)となっている。また、65歳以上の高齢者では「タクシー」の割合が高く、2割を占めている。

主な診断名(集約)別にみると、認知症の人では「自家用車」(39.5%)や「タクシー」(23.7%)の割合が高い一方、「バス」(13.2%)や「JR・西鉄電車」(7.9%)等、公共交通機関の割合が低くなっている。また依存症の人では「自転車・バイク」(42.9%)の割合が高くなっている。

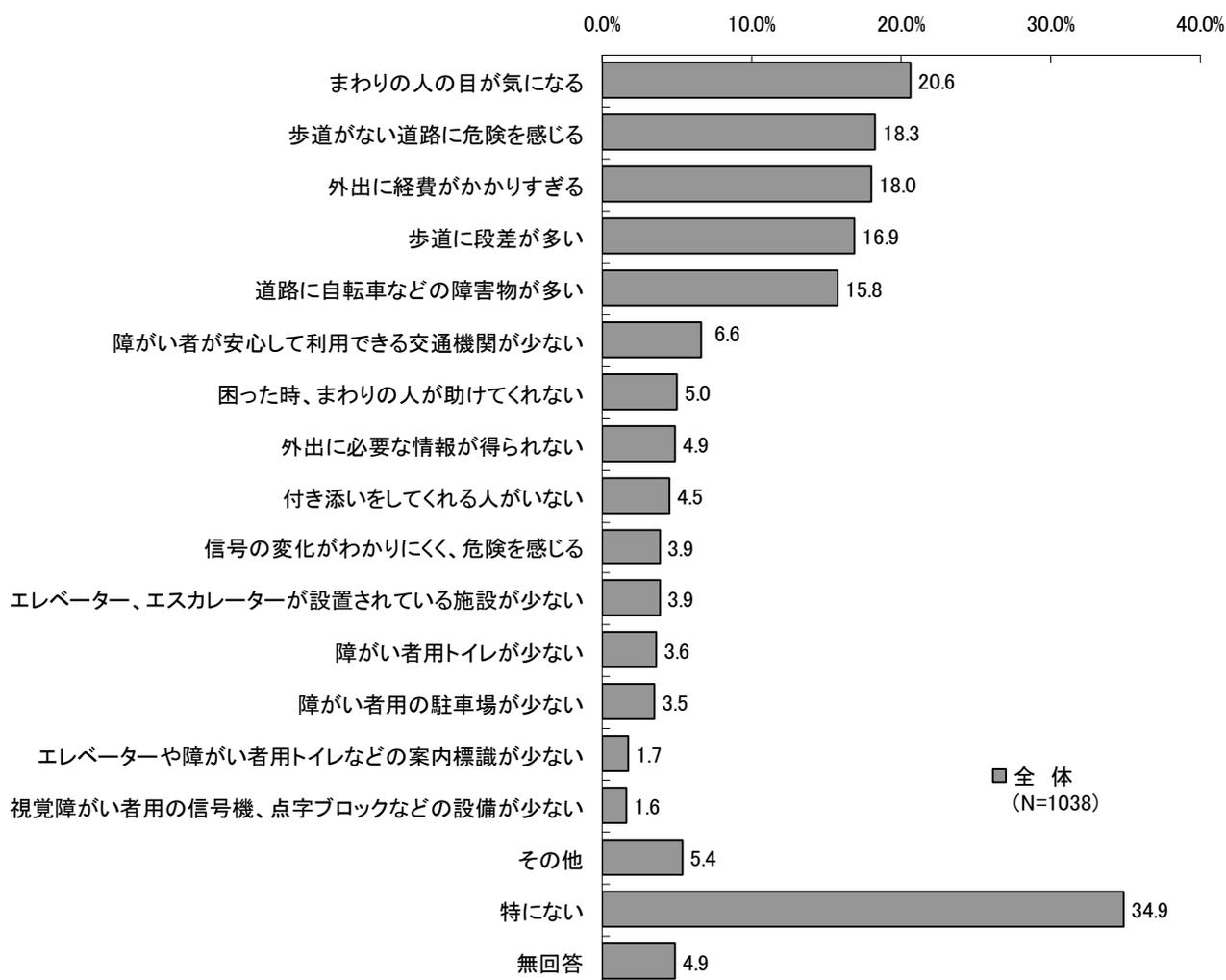
【図表8-76 年齢別、主な診断名(集約)別 外出時の移動手段】(%)

	調査数(人)	外出時の移動手段										
		バス	徒歩のみ	自転車・バイク	自家用車	地下鉄	JR・西鉄電車	タクシー	車いす	その他	無回答	
全体	1015	43.3	34.8	33.4	28.1	25.2	25.0	12.5	0.9	4.9	1.0	
年齢	20歳代以下	114	52.6	33.3	56.1	21.9	30.7	30.7	9.6	-	1.8	-
	30歳代	219	43.4	34.7	42.9	27.9	30.1	31.5	10.5	0.9	2.3	1.4
	40歳代	249	47.0	36.5	38.6	28.9	31.7	21.7	11.2	0.8	3.6	-
	50歳代	198	37.9	30.8	28.3	33.3	22.2	26.8	10.1	0.5	5.1	1.5
	60～64歳	85	41.2	36.5	18.8	21.2	17.6	18.8	14.1	-	1.2	3.5
	65～74歳	83	45.8	48.2	10.8	24.1	12.0	18.1	20.5	1.2	9.6	1.2
	75歳以上	54	25.9	20.4	1.9	40.7	7.4	9.3	20.4	5.6	27.8	-
無回答	13	46.2	38.5	23.1	7.7	23.1	53.8	38.5	-	-	-	
全体	1015	43.3	34.8	33.4	28.1	25.2	25.0	12.5	0.9	4.9	1.0	
主な診断名(集約)	統合失調症	290	44.1	40.0	33.4	19.3	23.1	26.2	14.5	0.7	5.2	0.7
	気分(感情)障害	401	46.1	32.9	33.7	33.2	27.2	26.2	10.2	0.5	3.2	0.7
	依存症	35	31.4	31.4	42.9	11.4	17.1	25.7	11.4	-	2.9	5.7
	認知症	38	13.2	21.1	-	39.5	-	7.9	23.7	7.9	36.8	-
	その他	235	44.3	33.6	36.6	30.6	30.2	24.3	12.3	0.9	3.0	1.3
	無回答	16	43.8	43.8	37.5	31.3	18.8	25.0	12.5	-	-	-

(9) 外出時に不便や困難を感じること

問6 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。（○は5つまで）

【図表8-77 外出時に不便や困難を感じること】



外出時に不便や困難を感じることとしては、「まわりの人の目が気になる」（20.6%）が2割と最も多く、次いで「歩道がない道路に危険を感じる」（18.3%）、「外出に経費がかかりすぎる」（18.0%）、「歩道に段差が多い」（16.9%）、「道路に自転車などの障害物が多い」（15.8%）となっている。

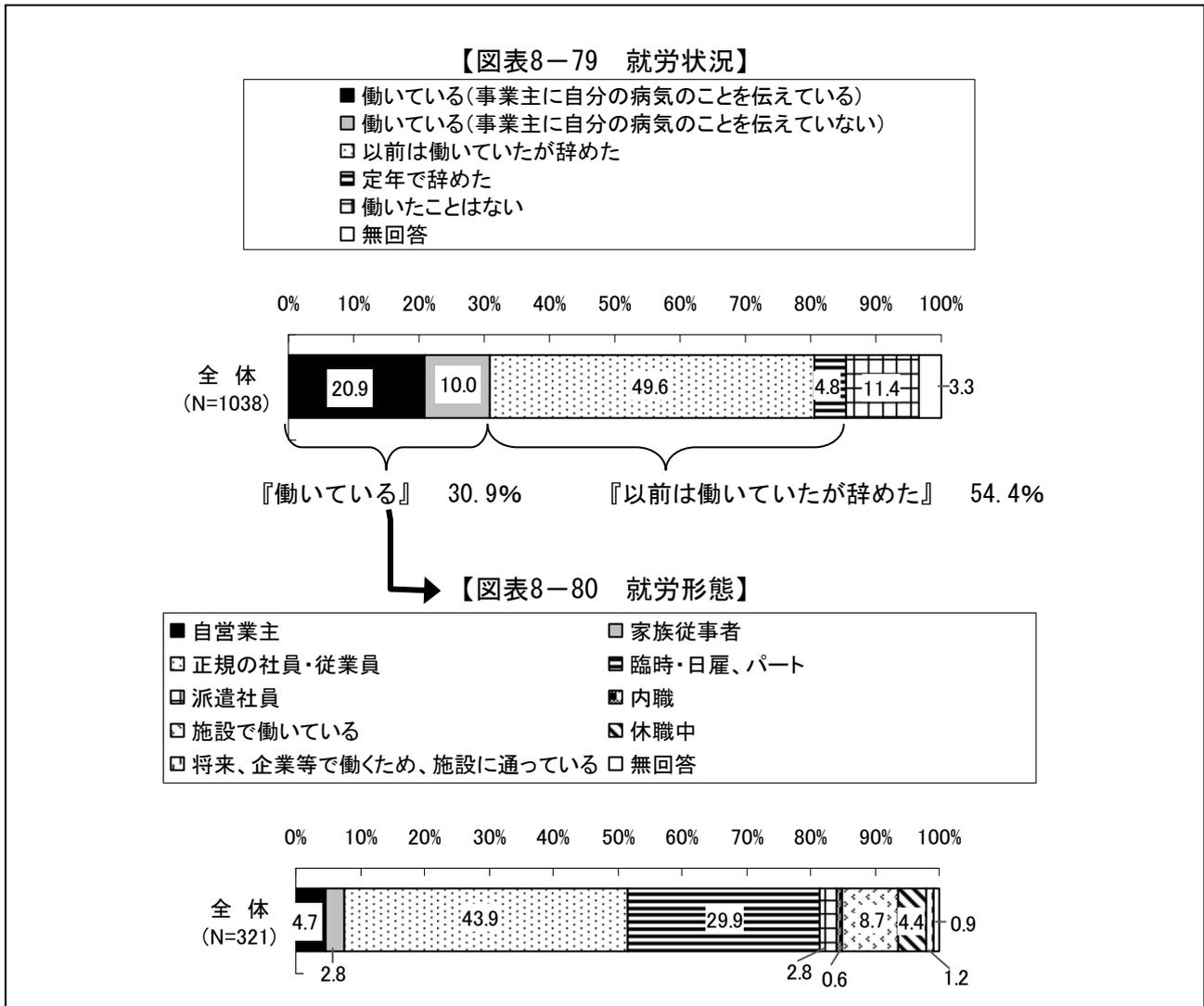
年齢別にみると、30歳代以下では40歳代以上に比べて「まわりの人の目が気になる」や「外出に経費がかかりすぎる」の割合が高くなっている。また、65歳以上の高齢者では「歩道がない道路に危険を感じる」や「歩道に段差が多い」の割合が高い。

主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では「歩道に段差が多い」（53.8%）や「歩道がない道路に危険を感じる」（41.0%）、「道路に自転車などの障害物が多い」（30.8%）の割合が高い。

【図表8-78 年齢別、主な診断名（集約）別 外出時に不便や困難を感じること】（%）

	調査数（人）	外出時に不便や困難を感じること																						
		まわりの人の目が気になる	歩道がない道路に危険を感じる	外出に経費がかかりすぎる	歩道に段差が多い	道路に自転車などの障害物が多い	通機関が少ない	障がい者が安心して利用できる交	りない	困った時、まわりの人が助けてく	れな	外出に必要な情報が得られない	付き添いをしてくれる人がいない	を感じる	信号の変化がわかりにくく、危険	設置されている施設が少ない	エレベーター、エスカレーターが	障がい者用トイレが少ない	障がい者用の駐車場が少ない	エレベーターや障がい者用トイレ	などの案内標識が少ない	視覚障がい者用の信号機、点字ブ	ロックなどの設備が少ない	その他
全 体	1038	20.6	18.3	18.0	16.9	15.8	6.6	5.0	4.9	4.5	3.9	3.9	3.6	3.5	1.7	1.6	5.4	34.9	4.9					
年 齢	20歳代以下	116	42.2	8.6	25.0	6.9	9.5	4.3	1.7	4.3	2.6	1.7	2.6	2.6	1.7	1.7	-	3.4	35.3	4.3				
	30歳代	226	32.7	11.5	24.3	8.4	8.0	7.5	8.0	5.8	5.3	4.9	4.0	3.1	3.1	1.3	1.3	4.9	35.0	3.5				
	40歳代	254	21.7	16.5	16.1	14.2	14.2	3.1	4.7	3.5	3.1	2.0	2.0	3.9	2.8	0.8	-	7.5	40.2	2.8				
	50歳代	199	13.1	22.1	15.1	18.1	23.1	8.0	3.5	5.5	1.5	4.0	5.0	1.0	5.0	3.5	3.0	2.5	35.2	7.0				
	60～64歳	87	4.6	23.0	14.9	19.5	14.9	9.2	4.6	6.9	5.7	4.6	9.2	1.1	2.3	-	3.4	5.7	35.6	6.9				
	65～74歳	87	3.4	28.7	13.8	34.5	20.7	12.6	9.2	6.9	12.6	5.7	3.4	11.5	3.4	3.4	3.4	6.9	26.4	5.7				
	75歳以上	56	3.6	39.3	8.9	48.2	35.7	3.6	1.8	1.8	8.9	8.9	3.6	7.1	5.4	1.8	3.6	8.9	19.6	7.1				
無回答	13	7.7	7.7	15.4	15.4	15.4	7.7	-	-	-	-	7.7	-	15.4	-	-	7.7	38.5	15.4					
全 体	1038	20.6	18.3	18.0	16.9	15.8	6.6	5.0	4.9	4.5	3.9	3.9	3.6	3.5	1.7	1.6	5.4	34.9	4.9					
主 診 断 名 （集約）	統合失調症	299	21.1	17.7	17.7	11.4	11.0	9.0	7.0	7.0	4.0	6.7	4.3	3.3	3.3	1.0	1.7	5.0	32.1	6.7				
	気分（感情） 障害	406	19.5	19.0	17.5	18.2	19.5	4.4	3.7	3.7	5.2	4.7	2.7	3.0	3.9	2.2	1.7	6.7	36.7	3.4				
	依存症	38	18.4	21.1	21.1	23.7	21.1	5.3	5.3	2.6	2.6	5.3	10.5	-	-	-	5.3	-	39.5	5.3				
	認知症	39	-	41.0	12.8	53.8	30.8	2.6	7.7	-	7.7	-	5.1	10.3	5.1	2.6	-	10.3	15.4	7.7				
	その他	240	26.3	14.2	18.8	14.6	12.5	7.5	3.8	5.8	3.3	2.9	1.3	4.2	2.9	1.7	0.8	4.2	37.1	4.6				
	無回答	16	12.5	12.5	31.3	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-	6.3	6.3	6.3	6.3	-	43.8	6.3				

(10) 就労状況、就労形態



就労状況としては、『以前は働いていたが辞めた』(54.4%)（「以前は働いていたが辞めた」＋「定年で辞めた」）が最も多く、次いで『働いている』（「事業主に自分の病気のことを伝えている」＋「事業主に自分の病気のことを伝えていない」）(30.9%)、「働いたことはない」(11.4%)の順となっている。働いている者のうち、事業主に「自分の病気のことを伝えている」(20.9%)が2割強、「伝えていない」(10.0%)が1割となっている。

働いている人の就労形態では「正規の社員・従業員」(43.9%)が最も多く、次いで「臨時・日雇、パート」(29.9%)となっている。

就労状況について性別にみると、男性では女性に比べて事業主に「自分の病気のことを伝えて働いている」(29.1%)が3割弱を占めている。

年齢別にみると、20歳代以下では事業主に「自分の病気のことを伝えずに働いている」(17.2%)割合が2割弱とやや高くなっているが、30歳代以上になると事業主に「自分の病気のことを伝えて働いている」割合が高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、気分（感情）障害では『働いている』(37.5%)の割合が平均を上回り高く、4人に1人が事業主に自分の病気のことを伝えて働いている。また、統合失調症や依存症の人では『以前は働いていたが辞めた』の割合が6割強と高い。

就労形態について性別でみると、男性では「正規の社員・従業員」(55.6%)が多く、女性では「臨時・日雇、パート」(46.0%)が多く、共に半数前後の割合を占めている。

年齢別にみると、50歳代以下では年齢が高くなるにつれて「正規の社員・従業員」が概ね増加傾向であり、「臨時・日雇、パート」では減少傾向である。

主な診断名（集約）別にみると、気分（感情）障害の人では「正規の社員・従業員」(56.6%)が多く、統合失調症の人は「臨時・日雇、パート」(49.2%)が多い。

【図表8-81 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 就労状況・就労形態】（%）

	調査数（人）	就労状況						
		て気業働 いの主 いること （～）と 自の を分 を伝 え病 事	て気業働 いの主 いない こと （～）と 自の を分 を伝 え病 事	た以 が前 は辞 め働 いて い	定 年 で 辞 め た	い働 いた こと はな い	無 回 答	
全 体	1038	20.9	10.0	49.6	4.8	11.4	3.3	
性 別	男性	491	29.1	7.5	48.3	5.3	7.1	2.6
	女性	541	13.5	12.2	50.6	4.4	15.3	3.9
	無回答	6	16.7	16.7	66.7	-	-	-
全 体	1038	20.9	10.0	49.6	4.8	11.4	3.3	
年 齢	20歳代以下	116	15.5	17.2	33.6	-	31.9	1.7
	30歳代	226	24.3	12.4	51.8	-	8.4	3.1
	40歳代	254	29.1	13.0	50.0	0.4	5.5	2.0
	50歳代	199	27.1	7.0	54.3	-	8.0	3.5
	60～64歳	87	9.2	8.0	59.8	9.2	9.2	4.6
	65～74歳	87	4.6	1.1	55.2	24.1	11.5	3.4
	75歳以上	56	-	-	32.1	35.7	23.2	8.9
	無回答	13	30.8	7.7	46.2	-	7.7	7.7
全 体	1038	20.9	10.0	49.6	4.8	11.4	3.3	
主 な 診 断 名 （ 集 約 ）	統合失調症	299	14.0	5.7	61.2	1.7	13.4	4.0
	気分（感情）障害	406	25.9	11.6	46.8	5.4	7.6	2.7
	依存症	38	18.4	-	63.2	2.6	13.2	2.6
	認知症	39	-	2.6	28.2	38.5	23.1	7.7
	その他	240	25.0	15.4	40.8	2.9	12.9	2.9
	無回答	16	18.8	12.5	56.3	-	12.5	-

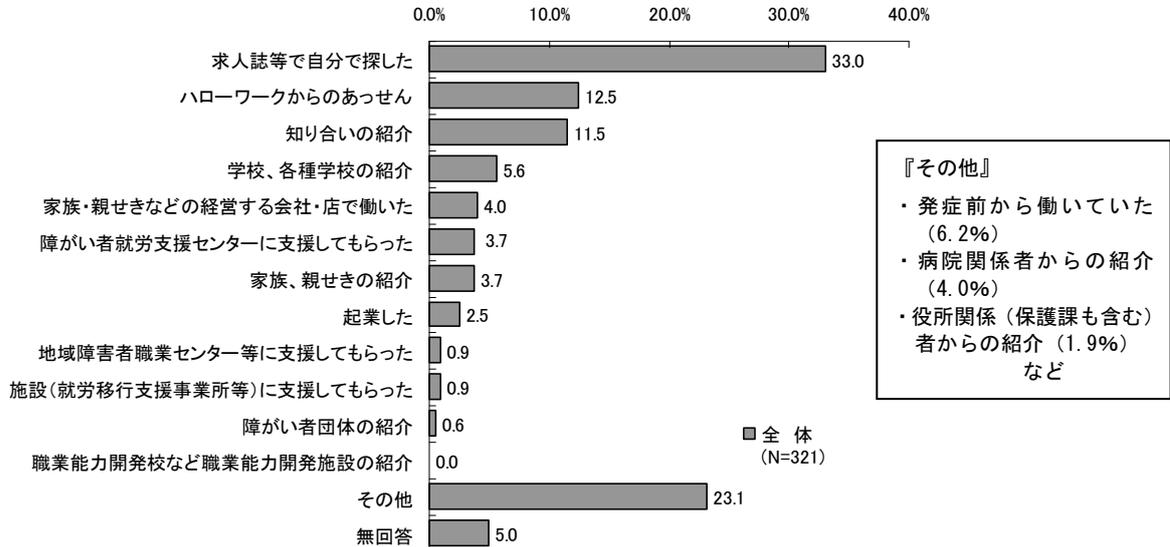
	調査数（人）	就労形態										
		自 営 業 主	家 族 従 事 者	業 正 規 の 社 員 ・ 従	パ ラ ー ト ・ 日 雇 、	派 遣 社 員	内 職	施 設 で 働 い て い	休 職 中	に 働 つ た た め 、 施 設 に 入 居 し て い る	将 来 、 企 業 等 で 働 く こ と を 希 望 し て い る	無 回 答
全 体	321	4.7	2.8	43.9	29.9	2.8	0.6	8.7	4.4	1.2	0.9	
性 別	男性	180	5.6	2.8	55.6	17.8	0.6	-	11.1	4.4	1.7	0.6
	女性	139	3.6	2.9	28.1	46.0	5.8	1.4	5.8	4.3	0.7	1.4
	無回答	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
全 体	321	4.7	2.8	43.9	29.9	2.8	0.6	8.7	4.4	1.2	0.9	
年 齢	20歳代以下	38	-	2.6	31.6	44.7	2.6	-	7.9	5.3	2.6	2.6
	30歳代	83	3.6	2.4	34.9	33.7	8.4	-	10.8	4.8	-	1.2
	40歳代	107	2.8	2.8	54.2	25.2	0.9	1.9	3.7	4.7	2.8	0.9
	50歳代	68	8.8	1.5	52.9	22.1	-	-	10.3	4.4	-	-
	60～64歳	15	13.3	6.7	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-
	65～74歳	5	20.0	20.0	-	60.0	-	-	-	-	-	-
	75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	5	-	-	60.0	-	-	-	40.0	-	-	-
全 体	321	4.7	2.8	43.9	29.9	2.8	0.6	8.7	4.4	1.2	0.9	
主 な 診 断 名 （ 集 約 ）	統合失調症	59	-	11.9	13.6	49.2	1.7	1.7	20.3	-	-	1.7
	気分（感情）障害	152	4.6	1.3	56.6	21.7	2.6	0.7	3.9	7.2	0.7	0.7
	依存症	7	28.6	-	-	-	-	-	57.1	14.3	-	-
	認知症	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	その他	97	6.2	-	45.4	33.0	4.1	-	6.2	2.1	2.1	1.0
	無回答	5	-	-	60.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-

(11) 仕事を探した方法

[問7で「1. 働いている（事業主に自分の病気のことを伝えている）」または「2. 働いている（事業主に自分の病気のことを伝えていない）」を選ばれた方におたずねします]

問9 どのような方法で仕事を探しましたか。（○はあてはまるものすべて）

【図表8-82 仕事を探した方法】



仕事を探した方法としては、「求人誌等で自分で探した」(33.0%)が3割強と最も多く、これに「ハローワークからのあっせん」(12.5%)、「知り合いの紹介」(11.5%)が1割台で続いている。

性別にみると、女性では男性に比べて「求人誌等で自分で探した」(41.0%)の割合が4割強と高い。年齢別にみると、概ね若い年代ほど「求人誌等で自分で探した」の割合が高く、20歳代以下では半数(50.0%)を占めている。

主な診断名(集約)別にみると、統合失調症では「ハローワークからのあっせん」(20.3%)、「障がい者就労支援センターに支援してもらった」(10.2%)が他の疾患と比べ割合が高くなっている。

【図表8-83 性別、年齢別、主な診断名(集約)別 仕事を探した方法】(%)

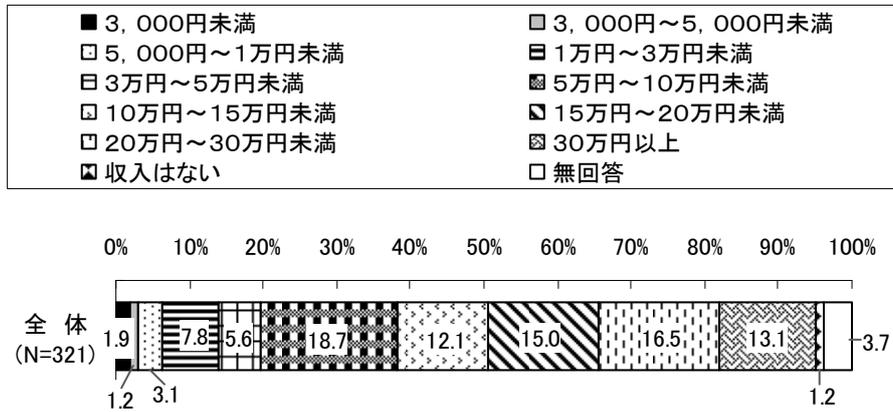
	調査数(人)	仕事を探した方法													無回答	
		求人誌等で自分で探した	ハローワークからのあっせん	知り合いの紹介	学校、各種学校の紹介	会社・親せきなどの経営する	家族・親せきなどの経営する	障がい者就労支援センターに	家族、親せきの紹介	起業した	地域障害者職業センター等に	施設(就労移行支援事業所等)に	障がい者団体の紹介	職業能力開発校など職業能力		その他
全体	321	33.0	12.5	11.5	5.6	4.0	3.7	3.7	2.5	0.9	0.9	0.6	-	23.1	5.0	
性別	男性	180	27.2	11.1	10.6	6.7	3.9	5.0	3.9	2.8	1.1	1.1	0.6	-	26.7	6.1
	女性	139	41.0	13.7	12.9	4.3	4.3	2.2	3.6	2.2	0.7	0.7	0.7	-	18.0	3.6
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
全体	321	33.0	12.5	11.5	5.6	4.0	3.7	3.7	2.5	0.9	0.9	0.6	-	23.1	5.0	
年齢	20歳代以下	38	50.0	13.2	13.2	7.9	2.6	-	5.3	-	-	-	-	-	13.2	2.6
	30歳代	83	42.2	18.1	8.4	6.0	3.6	2.4	-	2.4	1.2	1.2	-	-	16.9	4.8
	40歳代	107	33.6	11.2	8.4	6.5	2.8	5.6	4.7	0.9	0.9	0.9	-	-	26.2	6.5
	50歳代	68	14.7	7.4	17.6	2.9	4.4	2.9	5.9	5.9	-	1.5	2.9	-	33.8	4.4
	60~64歳	15	26.7	6.7	26.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	-	-	-	-	6.7	6.7
	65~74歳	5	20.0	20.0	-	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-
	75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	5	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	40.0	-
全体	321	33.0	12.5	11.5	5.6	4.0	3.7	3.7	2.5	0.9	0.9	0.6	-	23.1	5.0	
主な診断名(集約)	統合失調症	59	30.5	20.3	10.2	1.7	8.5	10.2	1.7	-	-	-	1.7	-	20.3	5.1
	気分(感情)障害	152	34.9	11.8	10.5	8.6	3.3	2.0	3.9	2.6	0.7	0.7	-	-	22.4	5.9
	依存症	7	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	57.1	14.3
	認知症	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他	97	35.1	10.3	13.4	4.1	2.1	3.1	3.1	4.1	2.1	1.0	-	-	22.7	3.1
	無回答	5	20.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	40.0	-

(12) 就労による月収

[問7で「1.働いている（事業主に自分の病気のことを伝えている）」または「2.働いている（事業主に自分の病気のことを伝えていない）」を選ばれた方におたずねします]

問10 あなたの、ふだんの月収（手取り額）はどのぐらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものや障害年金、生活保護は除きます。（〇は1つだけ）

【図表8-84 就労による月収】



働いている人の就労による月収は、「5万円～10万円未満」（18.7%）が最も多く、次いで「20万円～30万円未満」（16.5%）、「15万円～20万円未満」（15.0%）、「10万円～15万円未満」（12.1%）となっている。

性別にみると、男性では「20万円～30万円未満」（22.2%）と「30万円以上」（20.0%）がいずれも2割台で高くなっている一方、女性では「5万円～10万円未満」（27.3%）が3割弱と最も高くなっており、男性の方が女性よりも月収が高い傾向が見られる。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症では「5万円～10万円未満」（28.8%）が多くなっている。また気分（感情）障害では「20万円～30万円未満」（25.7%）が最も多く、次いで「30万円以上」（19.7%）となっている。

【図表8-85 性別 就労による月収】 (%)

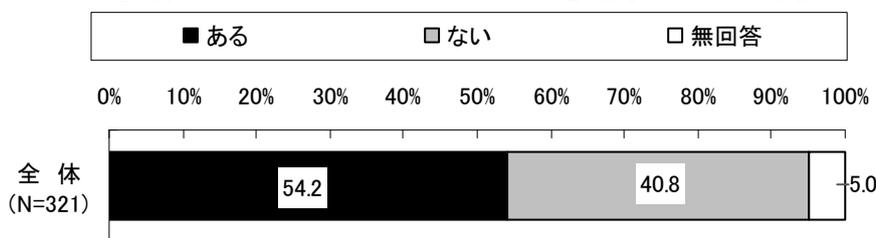
	調査数（人）	就労による月収												
		3,000円未満	5,000円～1万円未満	3万円～5万円未満	10万円～15万円未満	20万円～30万円未満	収入はない	3,000円～5,000円未満	1万円～3万円未満	5万円～10万円未満	15万円～20万円未満	30万円以上	無回答	
全体	321	1.9	1.2	3.1	7.8	5.6	18.7	12.1	15.0	16.5	13.1	1.2	3.7	
性別	男性	180	2.2	1.7	4.4	6.1	3.9	12.2	8.9	13.3	22.2	20.0	1.7	3.3
	女性	139	1.4	0.7	1.4	10.1	7.9	27.3	16.5	17.3	8.6	3.6	0.7	4.3
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-
全体	321	1.9	1.2	3.1	7.8	5.6	18.7	12.1	15.0	16.5	13.1	1.2	3.7	
主な診断名（集約）	統合失調症	59	5.1	3.4	8.5	11.9	11.9	28.8	13.6	8.5	-	-	-	8.5
	気分（感情）障害	152	0.7	0.7	1.3	4.6	5.3	13.2	11.8	13.8	25.7	19.7	1.3	2.0
	依存症	7	-	-	28.6	14.3	-	-	14.3	14.3	-	-	-	28.6
	認知症	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	その他	97	2.1	1.0	1.0	9.3	3.1	21.6	12.4	19.6	13.4	12.4	2.1	2.1
	無回答	5	-	-	-	20.0	-	20.0	-	40.0	20.0	-	-	-

(13) 仕事上の困りごとや心配なことの有無

[問7で「1.働いている（事業主に自分の病気のことを伝えている）」または「2.働いている（事業主に自分の病気のことを伝えていない）」を選ばれた方におたずねします]

問12 あなたは、仕事を続けていく上で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。（○は1つだけ）

【図表8-86 仕事上の困りごとや心配なことの有無】



仕事上の困りごと等として、「ある」が過半数（54.2%）となっている。

年齢別にみると、60～64歳では「ない」（73.3%）の割合が顕著に高く、7割を超えている。

就労形態別でみると、困りごとなどが「ない」と回答した人では「家族従事者」（66.7%）や「施設で働いている」（60.7%）の割合が高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、困りごとなどが「ある」と回答した人では「気分（感情）障害」（59.2%）や「統合失調症」（52.5%）の割合が過半数以上と高くなっている。

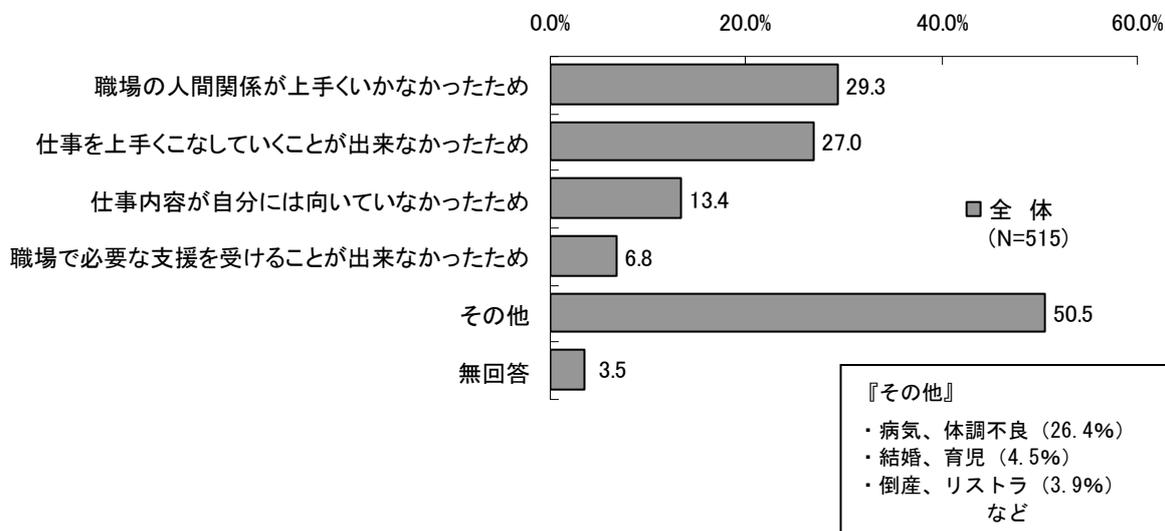
【図表8-87 年齢別、就労形態別 仕事上の困りごとや心配なことの有無】 (%)

	調査数（人）	仕事上の困りごとや心配なことの有無			
		ある	ない	無回答	
全体	321	54.2	40.8	5.0	
年齢	20歳代以下	38	57.9	36.8	5.3
	30歳代	83	59.0	33.7	7.2
	40歳代	107	55.1	42.1	2.8
	50歳代	68	51.5	41.2	7.4
	60～64歳	15	26.7	73.3	-
	65～74歳	5	60.0	40.0	-
	75歳以上	-	-	-	-
	無回答	5	40.0	60.0	-
全体	321	54.2	40.8	5.0	
就労形態	自営業主	15	53.3	26.7	20.0
	家族従事者	9	22.2	66.7	11.1
	正規の社員・従業員	141	54.6	41.1	4.3
	臨時・日雇、パート	96	53.1	45.8	1.0
	派遣社員	9	77.8	11.1	11.1
	内職	2	100.0	-	-
	施設で働いている	28	28.6	60.7	10.7
	休職中	14	92.9	-	7.1
	将来、企業等で働くため、施設に通っている	4	75.0	25.0	-
	無回答	3	100.0	-	-
全体	321	54.2	40.8	5.0	
主な診断名（集約）	統合失調症	59	52.5	44.1	3.4
	気分（感情）障害	152	59.2	36.2	4.6
	依存症	7	42.9	28.6	28.6
	認知症	1	-	100.0	-
	その他	97	46.4	48.5	5.2
	無回答	5	100.0	-	-

(14) 仕事を辞めた原因

〔問7で「3. 以前は働いていたが辞めた」を選ばれた方におたずねします〕  
 問13 仕事を辞めた原因は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

【図表8-88 仕事を辞めた原因】



以前は働いていた人の仕事を辞めた原因としては、「職場の人間関係が上手くいかなかったため」(29.3%)が最も多く、次いで「仕事を上手くこなしていくことが出来なかったため」(27.0%)となっている。

年齢別にみると、20歳代以下では「職場の人間関係が上手くいかなかったため」(43.6%)、30歳代では「仕事を上手くこなしていくことが出来なかったため」(37.6%)の割合が他の年代に比べ高い。

アンケート項目にはないが、『その他』(50.5%)としての自由記載の中では「病気、体調不良」(26.4%)の割合が高く、主な診断名（集約）別についても同様に調べてみたところ、統合失調症では『その他』(49.7%)のうち「病気、体調不良」(27.9%)、気分（感情）障害では『その他』(53.2%)のうち「病気、体調不良」(29.5%)となっている。この結果を踏まえると、統合失調症と気分（感情）障害の中では、「職場の人間関係が上手くいかなかったため」の次に「病気、体調不良」の割合が高い。

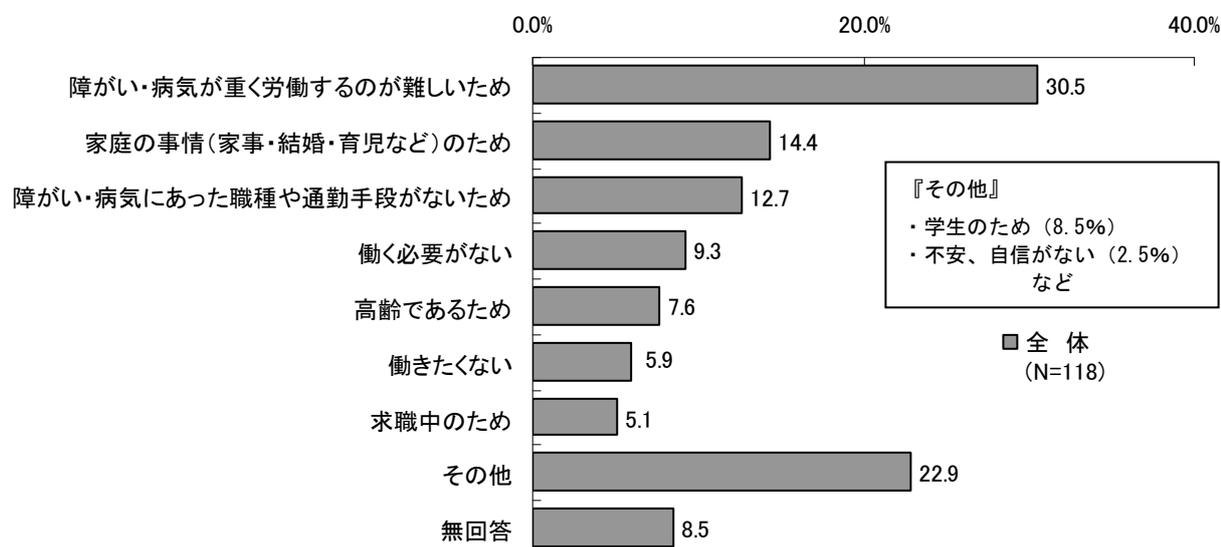
【図表8-89 年齢別 仕事を辞めた原因】(%)

	調査数 (人)	仕事を辞めた原因						
		職場の人間関係が上手くいかなかったため	仕事を上手くこなしていくことが出来なかったため	仕事内容が自分には向いていなかったため	職場で必要な支援を受けることが出来なかったため	その他	無回答	
全体	515	29.3	27.0	13.4	6.8	50.5	3.5	
年齢	20歳代以下	39	43.6	25.6	17.9	10.3	48.7	-
	30歳代	117	35.9	37.6	16.2	6.0	43.6	1.7
	40歳代	127	34.6	26.8	11.8	8.7	49.6	3.9
	50歳代	108	28.7	28.7	13.0	8.3	50.9	2.8
	60～64歳	52	9.6	25.0	19.2	3.8	51.9	1.9
	65～74歳	48	20.8	10.4	8.3	4.2	56.3	10.4
	75歳以上	18	11.1	11.1	-	-	66.7	11.1
無回答	6	-	-	-	-	100.0	-	
全体	515	29.3	27.0	13.4	6.8	50.5	3.5	
主な診断名 (集約)	統合失調症	183	29.0	24.6	14.8	6.0	49.7	4.9
	気分(感情)障害	190	31.6	28.9	11.6	7.4	53.2	3.2
	依存症	24	25.0	33.3	20.8	4.2	37.5	-
	認知症	11	9.1	27.3	-	-	63.6	9.1
	その他	98	30.6	27.6	15.3	7.1	46.9	1.0
	無回答	9	11.1	11.1	-	22.2	66.7	11.1

(15) 働いたことがない理由

〔問7で「5. 働いたことはない」を選ばれた方におたずねします〕  
 問14 働いたことがない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

【図表8-90 働いたことがない理由】



就労経験がない人のその理由としては、「障がい・病気が重く労働するのが難しいため」(30.5%)が最も多く、次いで「家庭の事情(家事・結婚・育児など)のため」(14.4%)、「障がい・病気にあった職種や通勤手段がないため」(12.7%)となっている。

性別にみると、男性では「障がい・病気が重く労働するのが難しいため」(37.1%)、女性では「家庭の事情(家事・結婚・育児など)のため」(19.3%)の割合がそれぞれ他に比べ高い。

年齢別にみると、40歳代では「障がい・病気が重く労働するのが難しいため」(64.3%)の割合が特に高く、6割強となっている。

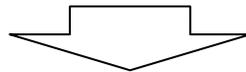
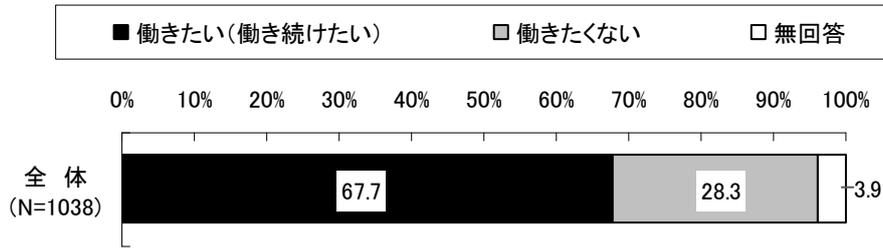
【図表8-91 性別、年齢別、主な診断名(集約)別 働いたことがない理由】(%)

	調査数(人)	働いたことがない理由									
		しく障 い が た 働 い た め す ・ 病 の 気 が 難 重	ど事家 の結の た婚事 め・情 育(児家 な	手あ障 段つが がたい な職・ い種病 たや気 め通に 勤	働 く 必 要 が な い	高 齢 で あ る た め	働 き た く な い	求 職 中 の た め	そ の 他	無 回 答	
全体	118	30.5	14.4	12.7	9.3	7.6	5.9	5.1	22.9	8.5	
性別	男性	35	37.1	2.9	17.1	5.7	2.9	5.7	2.9	31.4	11.4
	女性	83	27.7	19.3	10.8	10.8	9.6	6.0	6.0	19.3	7.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	118	30.5	14.4	12.7	9.3	7.6	5.9	5.1	22.9	8.5	
年齢	20歳代以下	37	27.0	-	16.2	13.5	-	8.1	8.1	40.5	-
	30歳代	19	47.4	21.1	15.8	-	-	10.5	5.3	10.5	10.5
	40歳代	14	64.3	14.3	14.3	-	-	-	-	14.3	14.3
	50歳代	16	31.3	25.0	18.8	-	-	12.5	6.3	18.8	12.5
	60~64歳	8	12.5	-	12.5	37.5	-	-	-	12.5	25.0
	65~74歳	10	20.0	20.0	-	-	50.0	-	-	20.0	-
	75歳以上	13	-	38.5	-	23.1	30.8	-	-	15.4	15.4
無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
全体	118	30.5	14.4	12.7	9.3	7.6	5.9	5.1	22.9	8.5	
主な (集約) 診断名	統合失調症	40	30.0	10.0	12.5	5.0	-	15.0	7.5	20.0	15.0
	気分(感情)障害	31	29.0	22.6	12.9	12.9	12.9	3.2	3.2	25.8	-
	依存症	5	20.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	20.0
	認知症	9	-	55.6	-	22.2	22.2	-	-	22.2	11.1
	その他	31	41.9	3.2	16.1	6.5	9.7	-	3.2	22.6	6.5
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-

(16) 今後の就労意向・希望する就労形態

問15 あなたは、今後、働きたい（働き続けたい）ですか。（○は1つだけ）

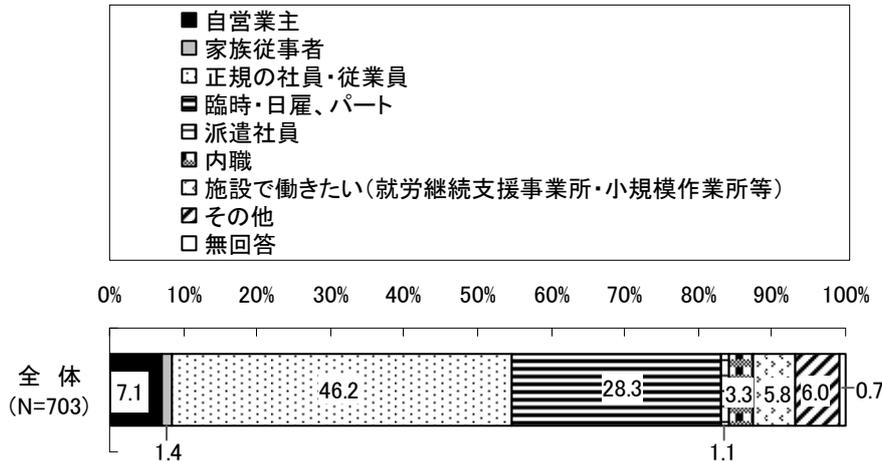
【図表8-92 今後の就労意向】



〔問15で「1. 働きたい（働き続けたい）」を選ばれた方におたずねします〕

問15-1 どのような就労形態で働きたいですか。（○は1つだけ）

【図表8-93 希望する就労形態】



今後の就労意向として「働きたい（働き続けたい）」（67.7%）が7割弱となっている。

働きたい（働き続けたい）人の希望する就労形態としては、「正規の社員・従業員」（46.2%）が最も多く、次いで「臨時・日雇、パート」（28.3%）となっており、そのほかはいずれも1割未満である。

性別にみると、男性では女性に比べて「働きたい（働き続けたい）」（73.7%）の割合が高く、希望する就労形態は、男性で「正規の社員・従業員」（57.2%）、女性で「臨時・日雇、パート」（43.8%）の割合がそれぞれ最も高くなっている。

年齢別にみると、40歳代までは「働きたい（働き続けたい）」の割合が8割を超えて高くなっている。就労形態は、若い年代ほど「正規の社員・従業員」が多く、74歳までは年代が高くなるにつれ「臨時・日雇、パート」が多くなっている。

診断名別にみると、統合失調症では「臨時・日雇い、パート」（32.9%）が最も高く、依存症と共に「施設で働きたい」が1割台となっている。

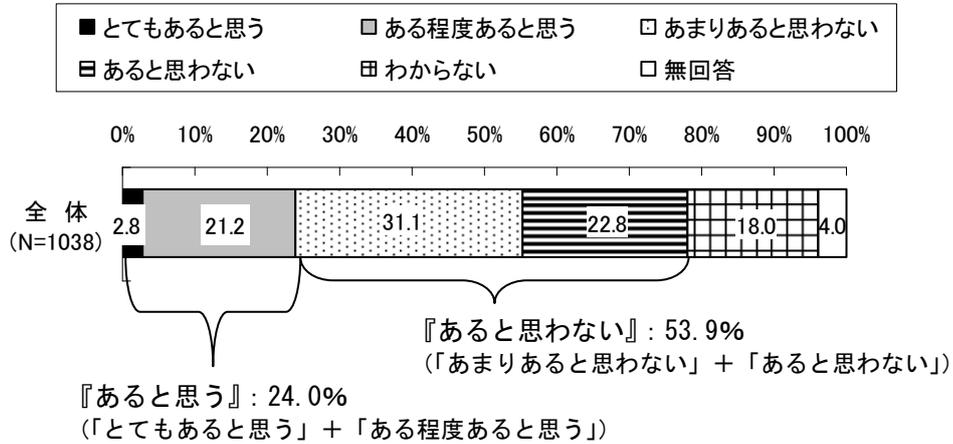
【図表8-94 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 今後の就労意向、希望する就労形態】（％）

	調査数（人）	今後の就労意向			調査数（人）	希望する就労形態									
		働きたい（働き続けたい）	働きたくない	無回答		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	臨時・日雇、パート	派遣社員	内職	事業所・小規模作業所等	施設で働きたい（就労継続支援）	その他	無回答
全体	1038	67.7	28.3	3.9	703	7.1	1.4	46.2	28.3	1.1	3.3	5.8	6.0	0.7	
性別	男性	491	73.7	22.2	4.1	362	11.3	1.1	57.2	14.1	-	2.8	7.2	5.2	1.1
	女性	541	62.5	33.6	3.9	338	2.7	1.8	34.3	43.8	2.4	3.8	4.4	6.5	0.3
	無回答	6	50.0	50.0	-	3	-	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-
全体	1038	67.7	28.3	3.9	703	7.1	1.4	46.2	28.3	1.1	3.3	5.8	6.0	0.7	
年齢	20歳代以下	116	87.1	12.1	0.9	101	5.0	-	58.4	19.8	-	4.0	5.0	6.9	1.0
	30歳代	226	83.2	12.8	4.0	188	4.3	1.6	51.1	27.1	1.6	2.1	5.3	5.9	1.1
	40歳代	254	82.3	15.4	2.4	209	9.1	1.0	50.7	27.3	1.4	2.9	3.8	3.8	-
	50歳代	199	65.8	30.2	4.0	131	9.2	1.5	39.7	31.3	0.8	3.8	6.1	7.6	-
	60～64歳	87	44.8	48.3	6.9	39	10.3	5.1	17.9	33.3	2.6	2.6	15.4	10.3	2.6
	65～74歳	87	27.6	66.7	5.7	24	4.2	4.2	-	62.5	-	12.5	12.5	4.2	-
	75歳以上	56	3.6	85.7	10.7	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
無回答	13	69.2	30.8	-	9	-	-	55.6	11.1	-	-	11.1	11.1	11.1	
全体	1038	67.7	28.3	3.9	703	7.1	1.4	46.2	28.3	1.1	3.3	5.8	6.0	0.7	
主な診断名 （集約）	統合失調症	299	57.9	36.8	5.4	173	4.0	4.0	32.4	32.9	1.2	4.0	11.6	9.2	0.6
	気分（感情）障害	406	75.6	21.9	2.5	307	6.8	0.7	54.4	25.1	1.0	3.9	3.6	4.6	-
	依存症	38	63.2	28.9	7.9	24	8.3	-	58.3	12.5	-	-	12.5	4.2	4.2
	認知症	39	2.6	89.7	7.7	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	その他	240	77.9	18.8	3.3	187	10.7	0.5	44.4	30.5	1.6	1.6	3.7	5.3	1.6
無回答	16	68.8	25.0	6.3	11	-	-	45.5	36.4	-	9.1	-	9.1	-	

(17) 精神障がい者の就労に対する社会の理解度

問16 精神障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思いますか。（○は1つだけ）

【図表8-95 精神障がい者の就労に対する社会の理解度】



精神障がい者の就労に対する社会の理解度としては、『あると思わない』人（「あまりあると思わない」 + 「あると思わない」）が過半数（53.9%）である。

年齢別にみると、40歳代以下では、理解が『あると思わない』人が過半数以上を占めており、中でも20・30歳代では『あると思わない』の割合が6割強と高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、気分（感情）障がいの人では理解が『あると思わない』人が6割（60.8%）であり、中でも「あると思わない」（26.8%）の割合が3割弱と高くなっている。

就労経験の有無に関わらず、理解が『あると思う』より『あると思わない』の割合が高い。

【図表8-96 年齢別、主な診断名（集約）別、就労経験の有無別

精神障がい者の就労に対する社会の理解度】 (%)

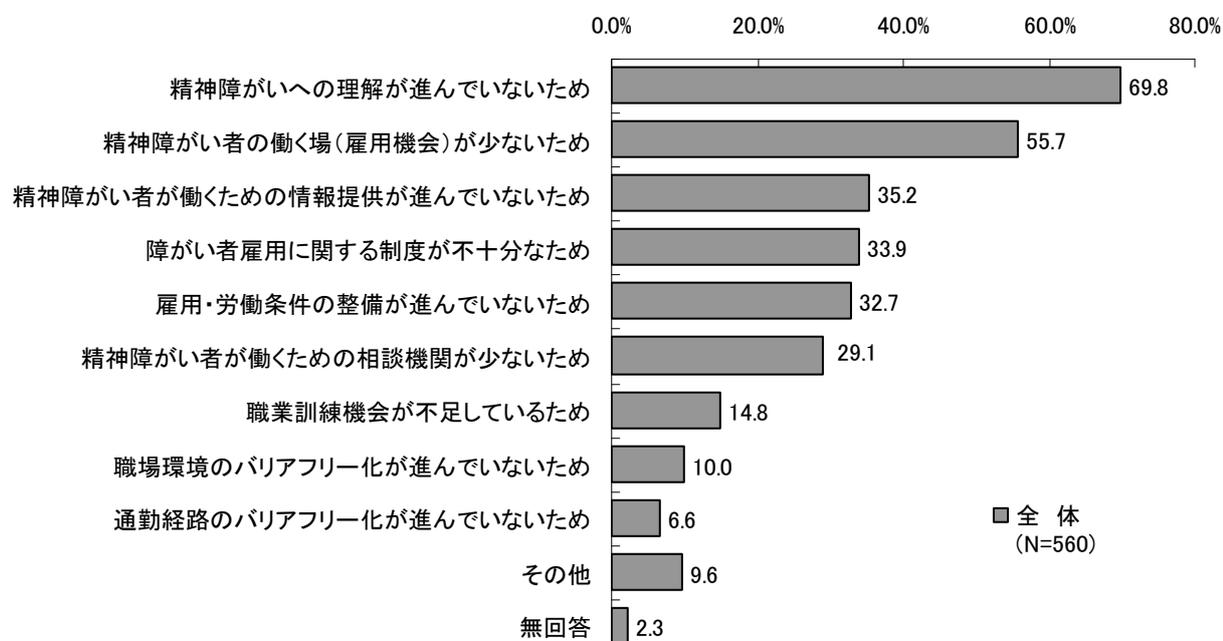
	調査数（人）	障がい者の就労に対する社会の理解度						
		とてもあると思う	ある程度あると思う	あまりあると思わない	あると思わない	わからない	無回答	
全体	1038	2.8	21.2	31.1	22.8	18.0	4.0	
年齢	20歳代以下	116	0.9	19.0	46.6	15.5	15.5	2.6
	30歳代	226	2.7	18.6	35.4	27.4	12.8	3.1
	40歳代	254	2.8	23.6	28.7	28.3	14.6	2.0
	50歳代	199	4.5	25.1	27.1	21.6	18.1	3.5
	60～64歳	87	-	21.8	32.2	16.1	21.8	8.0
	65～74歳	87	4.6	18.4	23.0	19.5	27.6	6.9
	75歳以上	56	1.8	12.5	16.1	16.1	41.1	12.5
無回答	13	7.7	30.8	38.5	15.4	7.7	-	
全体	1038	2.8	21.2	31.1	22.8	18.0	4.0	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	3.3	23.1	27.4	20.1	20.7	5.4
	気分（感情）障害	406	2.2	20.7	34.0	26.8	14.0	2.2
	依存症	38	2.6	28.9	23.7	18.4	15.8	10.5
	認知症	39	-	10.3	23.1	12.8	38.5	15.4
	その他	240	3.8	19.6	32.5	22.5	19.2	2.5
	無回答	16	-	31.3	43.8	12.5	6.3	6.3
全体	1038	2.8	21.2	31.1	22.8	18.0	4.0	
就労経験の有無	就労経験あり	886	2.8	22.3	31.0	23.8	16.9	3.0
	就労経験なし	118	2.5	16.1	31.4	16.9	28.0	5.1
	無回答	34	2.9	8.8	32.4	17.6	11.8	26.5

(18) 精神障がい者の就労に対して理解があると思わない理由

[問16で「3. あまりあると思わない」または「4. あると思わない」を選ばれた方におたずねします]

問16-1 精神障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表8-97 精神障がい者の就労に対して理解があると思わない理由】



精神障がい者の就労に対して理解があると思わない人のその理由としては、「精神障がいへの理解が進んでいないため」(69.8%)が最も多く、次いで「精神障がい者の働く場(雇用機会)が少ないため」(55.7%)、「精神障がい者が働くための情報提供が進んでいないため」(35.2%)となっている。

年齢別にみると、40歳代以下では他の年代に比べて「精神障がいへの理解が進んでいないため」の割合が高く、7割を超えている。

主な診断名(集約)別にみると、依存症の人では「障がい者雇用に関する制度が不十分なため」(56.3%)の割合が他と比べて過半数と高くなっており、他の項目においても割合が高い傾向にある。また、認知症の人では他に比べて「職場環境のバリアフリー化が進んでいないため」(28.6%)や「通勤経路のバリアフリー化が進んでいないため」(21.4%)といったバリアフリー関係の項目で割合が高く、2割を超えている。

就労経験の有無に関わらず、「精神障がいへの理解が進んでいないため」の割合が高い。

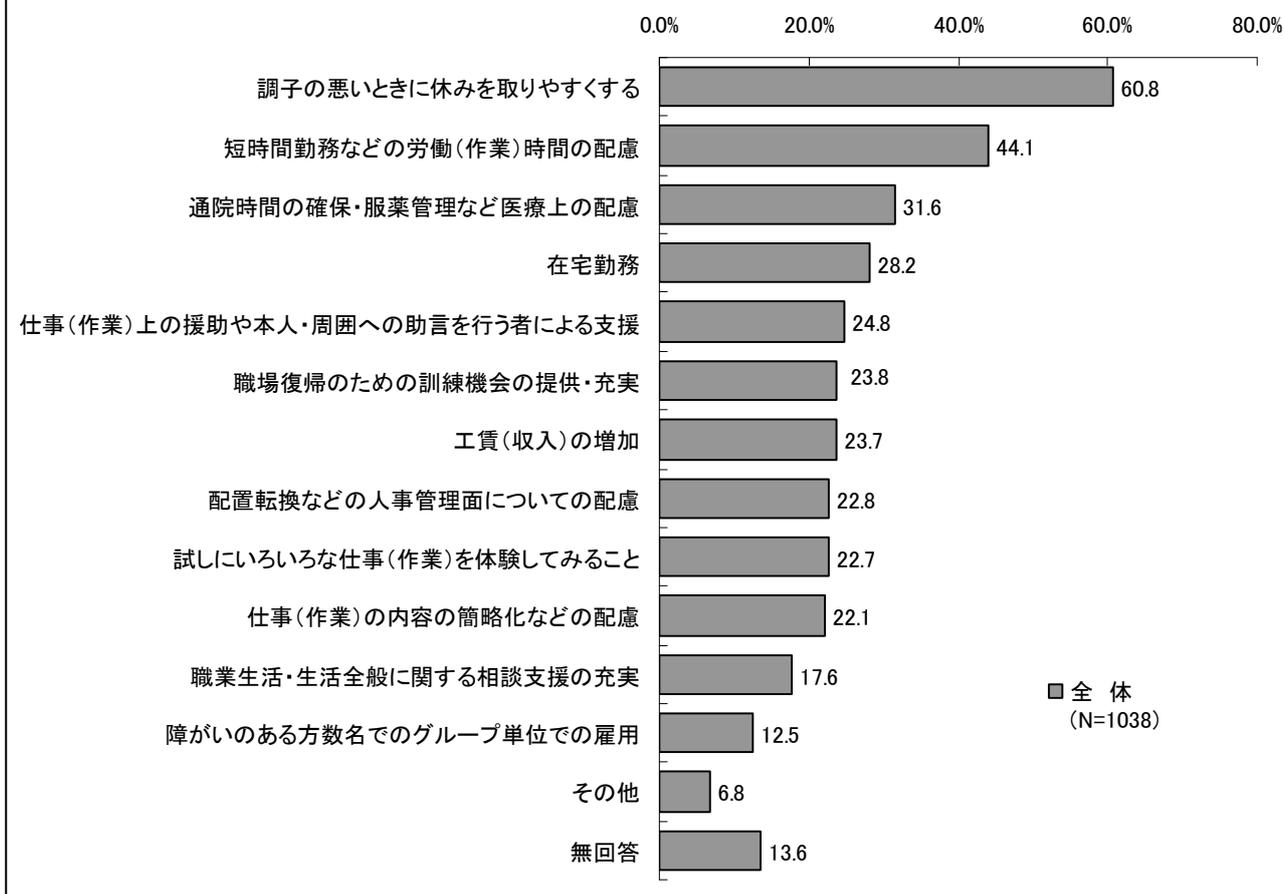
【図表8-98 年齢別、主な診断名（集約）別、就労経験の有無別  
精神障がい者の就労に対して理解があると思わない理由】（%）

	調査数（人）	障がい者の就労に対して理解があると思わない理由													
		進精神障がいがないための理解が	た（め）雇用機会（会）の少ない場	精（神）ない情報提供者が進んで	い（ま）の情（報）が提（供）が	精（神）障（害）が十分でないため	制（度）が不（十分）なため	障（害）が不（十分）なため	が（雇）用（者）の労働条件の整備	た（め）の相（談）機（関）が少（な）く	て（職）業（訓）練（機）会（が）不（足）し	た（り）場（境）が（進）ん（で）い（な）い	た（り）場（境）が（進）ん（で）い（な）い	通（勤）経（路）のバ（リ）ア（フ）イ	そ（の）他
全 体	560	69.8	55.7	35.2	33.9	32.7	29.1	14.8	10.0	6.6	9.6	2.3			
年 齢	20歳代以下	72	73.6	48.6	33.3	30.6	26.4	25.0	12.5	4.2	2.8	8.3	-		
	30歳代	142	75.4	60.6	35.9	34.5	40.1	28.2	16.2	12.7	7.7	9.9	0.7		
	40歳代	145	76.6	57.2	38.6	31.7	28.3	29.7	15.2	9.0	5.5	9.7	2.1		
	50歳代	97	67.0	55.7	39.2	45.4	38.1	34.0	14.4	10.3	6.2	11.3	3.1		
	60～64歳	42	50.0	57.1	31.0	31.0	35.7	26.2	16.7	9.5	7.1	7.1	4.8		
	65～74歳	37	48.6	48.6	29.7	29.7	16.2	32.4	10.8	16.2	10.8	10.8	10.8		
	75歳以上	18	66.7	44.4	16.7	22.2	33.3	27.8	16.7	11.1	16.7	5.6	-		
無回答	7	57.1	57.1	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3	-			
全 体	560	69.8	55.7	35.2	33.9	32.7	29.1	14.8	10.0	6.6	9.6	2.3			
主（集約）な診断名	統合失調症	142	71.1	57.0	29.6	31.7	28.9	33.1	14.1	7.7	4.2	11.3	2.1		
	気分（感情）障害	247	66.4	55.9	40.9	36.8	37.2	27.9	14.2	11.7	6.1	9.7	3.2		
	依存症	16	68.8	62.5	43.8	56.3	25.0	50.0	25.0	6.3	6.3	-	-		
	認知症	14	50.0	42.9	14.3	21.4	35.7	28.6	14.3	28.6	21.4	7.1	-		
	その他	132	76.5	53.0	31.8	28.8	29.5	24.2	15.2	6.1	7.6	8.3	1.5		
無回答	9	77.8	77.8	33.3	44.4	22.2	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	-			
全 体	560	69.8	55.7	35.2	33.9	32.7	29.1	14.8	10.0	6.6	9.6	2.3			
就 労 経 験 の 有 無	就労経験あり	486	69.5	56.0	35.4	34.8	32.9	29.2	15.0	10.1	6.4	9.9	2.1		
	就労経験なし	57	78.9	59.6	35.1	33.3	29.8	29.8	15.8	12.3	10.5	7.0	1.8		
	無回答	17	47.1	35.3	29.4	11.8	35.3	23.5	5.9	-	-	11.8	11.8		

(19) 精神障がい者の就労支援として必要なこと

問17 どのような働き方や制度があれば精神疾患のある方が働きやすいと思いますか。  
 (○はあてはまるものすべて)

【図表8-99 精神障がい者の就労支援として必要なこと】



精神障がい者の就労支援として必要なこととしては、「調子の悪いときに休みを取りやすくする」(60.8%)が最も多く、次いで「短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮」(44.1%)、「通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮」(31.6%)、「在宅勤務」(28.2%)となっている。

年齢別にみると、多くの項目で概ね若い年代ほど割合が高くなっている。

主な診断名(集約)別にみると、気分(感情)障害では「工賃(収入)の増加」以外の項目が他に比べて高くなっている。また、統合失調症では「工賃(収入)の増加」(31.1%)が高くなっている。

就労経験の有無別にみると、就労経験なしは「在宅勤務」(38.1%)の割合が就労経験ありよりも高くなっている。

【図表8-100 年齢別、主な診断名（集約）別、就労経験の有無別

精神障がい者の就労支援として必要なこと】（%）

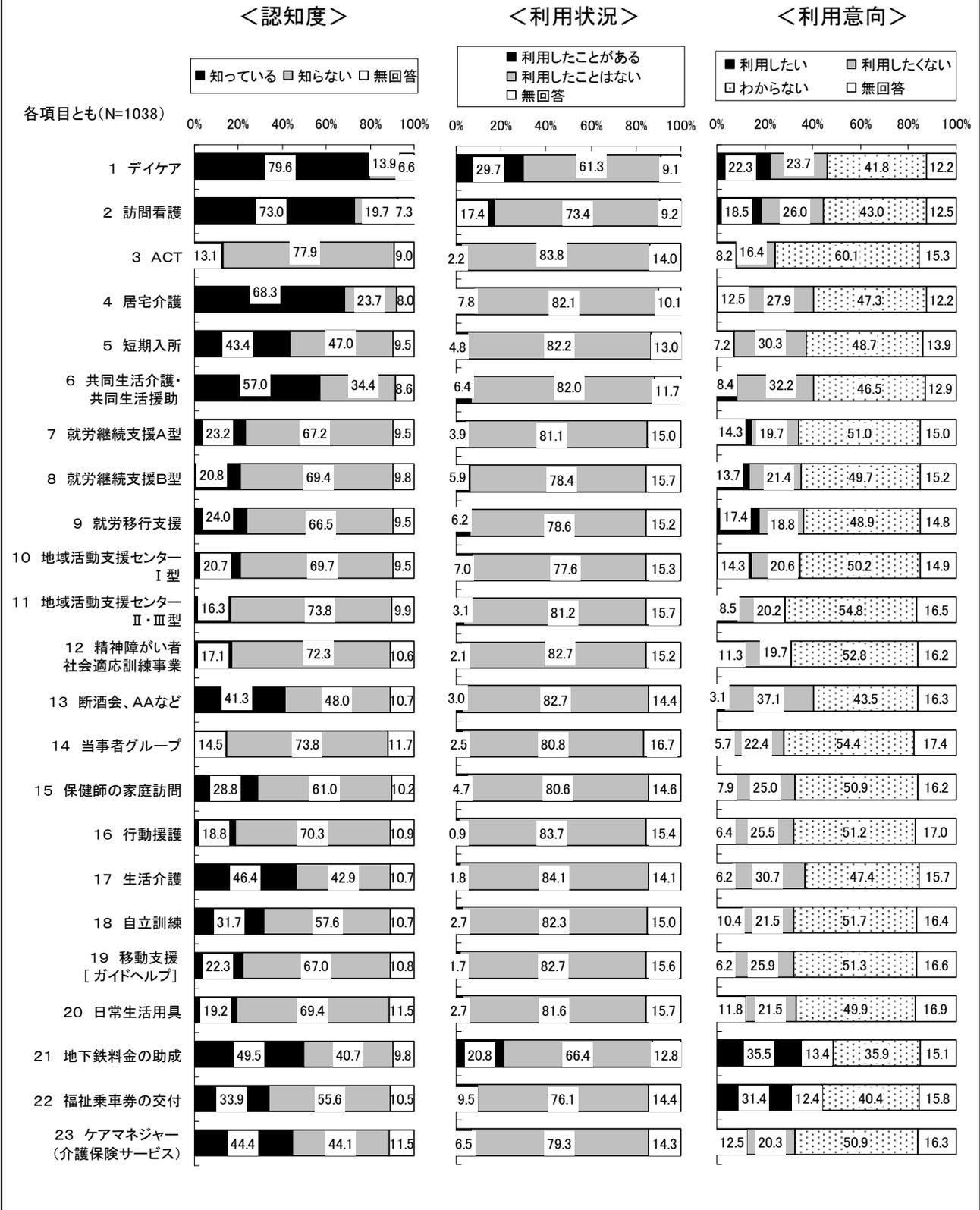
	調査数（人）	障がい者の就労支援として必要なこと														
		調子の悪いときに休みを取りやすくする	配慮	短時間勤務などの労働（作業）時間の確保	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮	在宅勤務	の助言（作業）上の援助や本人・周囲への支援	実職場復帰のための訓練機会の提供・充	工賃（収入）の増加	配置転換などの人事管理面についての配慮	試みるいろいろな仕事（作業）を体験	慮	仕事（作業）の内容の簡略化などの配慮	職業生活・生活全般に関する相談支援	障がいのある方数名でのグループ単位での雇用	その他
全体	1038	60.8	44.1	31.6	28.2	24.8	23.8	23.7	22.8	22.7	22.1	17.6	12.5	6.8	13.6	
年齢	20歳代以下	116	73.3	44.8	37.1	36.2	31.9	22.4	25.0	25.0	29.3	26.7	13.8	7.8	6.9	4.3
	30歳代	226	67.3	46.9	37.2	31.9	29.2	32.7	28.8	30.1	26.5	25.7	21.2	15.9	5.8	8.8
	40歳代	254	69.3	54.3	37.4	32.3	28.3	28.3	24.0	24.8	26.0	21.7	20.5	10.2	5.9	7.5
	50歳代	199	58.8	42.7	32.2	27.6	22.6	21.6	22.6	23.1	22.1	23.6	16.1	17.1	5.5	15.6
	60～64歳	87	52.9	35.6	21.8	19.5	13.8	17.2	28.7	12.6	18.4	21.8	12.6	14.9	9.2	17.2
	65～74歳	87	35.6	33.3	12.6	16.1	16.1	10.3	18.4	12.6	9.2	11.5	16.1	8.0	9.2	33.3
	75歳以上	56	26.8	19.6	17.9	16.1	14.3	12.5	7.1	12.5	7.1	12.5	16.1	8.9	14.3	35.7
無回答	13	69.2	46.2	15.4	15.4	23.1	7.7	7.7	15.4	30.8	15.4	7.7	-	-	15.4	
全体	1038	60.8	44.1	31.6	28.2	24.8	23.8	23.7	22.8	22.7	22.1	17.6	12.5	6.8	13.6	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	52.8	36.8	26.1	19.4	20.4	20.4	31.1	13.4	20.1	19.1	17.7	12.4	10.0	17.1
	気分（感情）障害	406	68.7	48.5	40.4	36.2	30.5	28.1	23.6	31.3	26.4	27.3	20.7	13.8	4.9	10.6
	依存症	38	47.4	39.5	26.3	13.2	15.8	23.7	15.8	13.2	23.7	15.8	10.5	7.9	5.3	18.4
	認知症	39	25.6	23.1	12.8	25.6	15.4	15.4	7.7	15.4	12.8	7.7	12.8	10.3	12.8	33.3
	その他	240	65.0	49.6	27.1	27.5	23.3	22.9	18.3	22.1	21.7	19.6	15.0	12.1	5.0	10.4
無回答	16	62.5	50.0	37.5	43.8	25.0	12.5	25.0	37.5	18.8	31.3	6.3	6.3	12.5	12.5	
全体	1038	60.8	44.1	31.6	28.2	24.8	23.8	23.7	22.8	22.7	22.1	17.6	12.5	6.8	13.6	
就労経験の有無	就労経験あり	886	62.5	45.0	32.7	27.7	25.1	24.6	23.7	24.0	22.3	23.1	18.1	12.6	7.1	11.6
	就労経験なし	118	57.6	42.4	27.1	38.1	24.6	20.3	26.3	17.8	28.8	17.8	18.6	13.6	5.9	17.8
	無回答	34	26.5	26.5	17.6	8.8	17.6	14.7	14.7	8.8	11.8	8.8	2.9	5.9	2.9	50.0

6. 福祉サービスの利用について

(1) 福祉サービスの認知度・利用状況・利用意向

問18 以下の医療・福祉サービスなどがあることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、今後利用したいと思いますか。1～23の項目ごとに、認知度・利用状況・利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表8-101 福祉サービスの認知度・利用状況・利用意向】



福祉サービスの認知度（「知っている」の割合）をみると、「1. デイケア」（79.6%）や「2. 訪問看護」（73.0%）の認知度が高い。次いで「4. 居宅介護」（68.3%）、「6. 共同生活介護・共同生活援助」（57.0%）となっている。

利用状況（「利用したことがある」の割合）をみると、「1. デイケア」（29.7%）が3割と最も高く、次いで「21. 地下鉄料金の助成」（20.8%）、「2. 訪問看護」（17.4%）となっており、その他はいずれも1割未満である。認知度に関わらず、福祉サービスを利用したことのある人は少ない。

利用意向（「利用したい」の割合）をみると、「21. 地下鉄料金の助成」（35.5%）が最も高く、次いで「22. 福祉乗車券の交付」（31.4%）の福祉サービスを望む意見が高い。

認知度を年齢別にみると、「7. 就労継続支援A型」や「8. 就労継続支援B型」、「9. 就労移行支援」といった就労支援事業所の認知度は、50歳代以下で60歳代以上に比べて高く、それぞれ2割を超えている。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症の人では「21. 地下鉄料金の助成」（60.9%）、認知症の人では「5. 短期入所」（64.1%）や「23. ケアマネジャー（介護保険サービス）」（84.6%）、依存症の人では「13. 断酒会、AAなど」（71.1%）の認知度がそれぞれ他に比べて高い。

【図表8-102 年齢別、主な診断名（集約）別 福祉サービスの認知度（知っている）】（%）

	調査数（人）	福祉サービスの認知度（知っている）												
		1 デイケア	2 訪問看護	3 ACT	4 居宅介護	5 短期入所	6 共同生活 生活援助・ 介護	7 就労継続 支援A型	8 就労継続 支援B型	9 就労移行 支援	10 地域活動 支援セ ンターI型	11 地域活動 支援セ ンターII・ III型	12 精神障 がいが い者社 会適 応訓練 事業	
全体	1038	79.6	73.0	13.1	68.3	43.4	57.0	23.2	20.8	24.0	20.7	16.3	17.1	
年齢	20歳代以下	116	78.4	67.2	7.8	63.8	37.1	49.1	25.0	22.4	24.1	19.0	12.9	15.5
	30歳代	226	80.5	66.8	15.0	70.4	39.4	61.5	31.0	27.9	35.0	23.9	18.6	21.7
	40歳代	254	77.2	75.2	10.6	67.3	42.9	55.5	26.0	22.0	26.4	20.1	15.7	15.0
	50歳代	199	84.9	79.9	16.1	76.4	52.3	65.3	21.6	22.1	21.1	22.1	19.1	21.6
	60～64歳	87	79.3	77.0	10.3	59.8	35.6	54.0	12.6	11.5	12.6	16.1	16.1	12.6
	65～74歳	87	73.6	72.4	16.1	63.2	46.0	49.4	12.6	9.2	10.3	17.2	10.3	9.2
	75歳以上	56	80.4	66.1	17.9	62.5	55.4	53.6	16.1	12.5	19.6	21.4	17.9	17.9
無回答	13	76.9	92.3	7.7	84.6	30.8	38.5	15.4	15.4	15.4	23.1	7.7	7.7	
全体	1038	79.6	73.0	13.1	68.3	43.4	57.0	23.2	20.8	24.0	20.7	16.3	17.1	
主な診断名 （集約）	統合失調症	299	83.9	73.9	13.7	64.2	32.1	56.9	25.8	24.7	25.8	26.4	19.4	17.1
	気分（感情）障害	406	76.8	71.4	13.8	71.2	47.0	56.9	21.9	19.0	24.4	18.5	15.0	19.7
	依存症	38	81.6	84.2	10.5	65.8	52.6	55.3	21.1	18.4	26.3	13.2	18.4	7.9
	認知症	39	87.2	66.7	15.4	74.4	64.1	61.5	10.3	7.7	12.8	17.9	10.3	12.8
	その他	240	77.1	74.2	11.7	69.6	46.7	57.5	24.6	21.7	22.9	19.6	15.8	15.4
無回答	16	81.3	68.8	6.3	43.8	43.8	50.0	25.0	18.8	18.8	12.5	6.3	12.5	

	調査数（人）	福祉サービスの認知度（知っている）											
		13 断酒会、 AAな ど	14 当事者 グループ	15 訪問 保健師 の家庭	16 行動 支援	17 生活 介護	18 自立 訓練	19 移動 ヘルプ 「ガイ ド」	20 日常 生活 用具	21 成地 下鉄 料金の 助	22 付福 祉乗 車券 の交	23 （ケ アマ ネジ ャー 保 険サ ー ビ ス）	
全体	1038	41.3	14.5	28.8	18.8	46.4	31.7	22.3	19.2	49.5	33.9	44.4	
年齢	20歳代以下	116	30.2	15.5	19.0	19.0	44.0	37.1	13.8	12.1	38.8	23.3	36.2
	30歳代	226	38.5	20.4	32.7	21.7	47.3	37.6	26.1	17.3	46.5	31.0	39.4
	40歳代	254	46.5	13.8	29.1	16.1	48.8	31.9	17.3	16.9	53.1	30.7	42.1
	50歳代	199	50.8	16.1	29.1	20.1	49.7	30.7	26.1	25.1	57.3	42.7	52.8
	60～64歳	87	37.9	3.4	24.1	12.6	36.8	21.8	20.7	17.2	49.4	27.6	34.5
	65～74歳	87	35.6	11.5	26.4	17.2	39.1	23.0	26.4	24.1	47.1	34.5	48.3
	75歳以上	56	35.7	10.7	41.1	26.8	50.0	30.4	28.6	28.6	46.4	57.1	69.6
無回答	13	30.8	7.7	30.8	15.4	53.8	23.1	23.1	7.7	38.5	46.2	53.8	
全体	1038	41.3	14.5	28.8	18.8	46.4	31.7	22.3	19.2	49.5	33.9	44.4	
主な診断名 （集約）	統合失調症	299	29.4	12.7	21.4	14.0	36.8	24.4	17.7	13.7	60.9	32.4	37.8
	気分（感情）障害	312	47.8	16.0	31.5	22.7	50.7	35.2	25.1	23.2	47.8	33.7	49.0
	依存症	38	71.1	23.7	23.7	7.9	36.8	28.9	15.8	10.5	39.5	23.7	23.7
	認知症	39	35.9	7.7	33.3	20.5	51.3	35.9	25.6	35.9	43.6	43.6	84.6
	その他	334	40.0	13.8	35.0	20.4	52.9	35.0	24.2	18.3	41.3	36.3	42.1
無回答	16	62.5	18.8	6.3	6.3	31.3	25.0	12.5	12.5	43.8	31.3	37.5	

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

利用状況を年齢別にみると、30～64歳では「21. 地下鉄料金の助成」を2割強の人が利用している。  
 利用状況を主な診断名（集約）別にみると、統合失調症や依存症の人は他に比べて全般的に利用率が高くなっている。

【図表8-103 年齢別、主な診断名（集約）別福祉サービスの利用状況（利用したことがある）】（％）

	調査数（人）	福祉サービスの利用状況（利用したことがある）											
		1 デイケア	2 訪問看護	3 ACT	4 居宅介護	5 短期入所	6 共同生活援助・	7 就労継続支援A型	8 就労継続支援B型	9 就労移行支援	10 地域活動支援センターI型	11 地域活動支援センターII・III型	12 精神障がい者社会適応訓練事業
全体	1038	29.7	17.4	2.2	7.8	4.8	6.4	3.9	5.9	6.2	7.0	3.1	2.1
年齢	20歳代以下	116	31.9	8.6	0.9	5.2	2.6	0.9	3.4	4.3	5.2	2.6	1.7
	30歳代	226	31.9	11.9	1.3	3.5	3.1	4.9	6.2	8.8	13.7	9.3	3.5
	40歳代	254	23.2	15.7	1.6	6.3	2.4	4.3	2.8	3.9	6.3	7.9	1.6
	50歳代	199	26.6	21.1	3.5	9.5	5.0	8.0	5.0	10.1	3.5	7.0	2.0
	60～64歳	87	33.3	31.0	2.3	6.9	6.9	10.3	1.1	2.3	2.3	5.7	2.3
	65～74歳	87	31.0	27.6	5.7	14.9	8.0	12.6	2.3	3.4	1.1	4.6	2.3
	75歳以上	56	48.2	14.3	1.8	17.9	17.9	12.5	1.8	1.8	1.8	3.6	3.6
無回答	13	30.8	23.1	-	23.1	7.7	-	7.7	-	-	7.7	-	
全体	1038	29.7	17.4	2.2	7.8	4.8	6.4	3.9	5.9	6.2	7.0	3.1	2.1
主な診断名（集約）	統合失調症	299	51.8	37.1	3.7	10.4	6.4	13.4	6.7	12.4	7.4	13.7	4.7
	気分（感情）障害	406	15.8	5.2	1.0	5.2	3.0	1.5	2.5	2.0	4.9	3.4	0.5
	依存症	38	55.3	60.5	7.9	15.8	10.5	26.3	-	10.5	7.9	5.3	2.6
	認知症	39	69.2	12.8	-	23.1	23.1	5.1	-	-	-	2.6	2.6
	その他	240	15.4	8.8	2.1	5.8	2.5	3.3	3.8	4.6	7.5	5.8	2.1
無回答	16	25.0	-	-	-	-	-	6.3	6.3	6.3	6.3	-	

	調査数（人）	福祉サービスの利用状況（利用したことがある）											
		13 断酒会、AAな	14 当事者グループ	15 訪問保健師の家庭	16 行動援助	17 生活介護	18 自立訓練	19 移動ヘルプ「ガイ	20 日常生活用具	21 成地下鉄料金の助	22 付福祉乗車券の交	23 （ケアマネジャー）保険サービス	
全体	1038	3.0	2.5	4.7	0.9	1.8	2.7	1.7	2.7	20.8	9.5	6.5	
年齢	20歳代以下	116	-	2.6	1.7	-	-	0.9	-	-	15.5	4.3	3.4
	30歳代	226	2.2	3.1	5.8	1.8	1.8	5.3	3.5	1.3	22.6	6.6	0.9
	40歳代	254	2.8	2.0	3.9	0.8	1.6	2.8	0.4	2.0	24.4	7.9	2.8
	50歳代	199	5.0	5.0	6.5	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	22.6	7.5	3.0
	60～64歳	87	5.7	-	5.7	-	2.3	1.1	2.3	2.3	24.1	9.2	1.1
	65～74歳	87	4.6	1.1	2.3	1.1	4.6	4.6	4.6	9.2	13.8	16.1	19.5
	75歳以上	56	-	-	5.4	-	3.6	1.8	1.8	7.1	10.7	35.7	51.8
無回答	13	-	-	7.7	-	7.7	-	-	-	7.7	15.4	7.7	
全体	1038	3.0	2.5	4.7	0.9	1.8	2.7	1.7	2.7	20.8	9.5	6.5	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	1.0	3.7	7.7	1.0	1.7	3.7	2.0	2.7	33.1	14.4	4.7
	気分（感情）障害	406	0.5	1.5	2.0	1.0	1.7	1.7	1.2	2.7	17.2	5.7	3.0
	依存症	38	60.5	13.2	13.2	5.3	7.9	5.3	-	2.6	18.4	10.5	2.6
	認知症	39	-	-	2.6	-	5.1	2.6	-	12.8	5.1	25.6	66.7
	その他	240	1.3	1.7	5.0	-	0.8	2.9	2.9	1.3	15.4	7.9	5.8
無回答	16	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-	

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

利用意向を年齢別にみると、65歳以上の高齢者では64歳以下に比べて「1. デイケア」や「5. 短期入所」等の利用意向が高い。

主な診断名（集約）別にみると、利用率と同じく、依存症や統合失調症の人では他に比べて一般的に利用意向が高くなっている。

【図表8-104 年齢別、主な診断名（集約）別 福祉サービスの利用意向（利用したい）】（%）

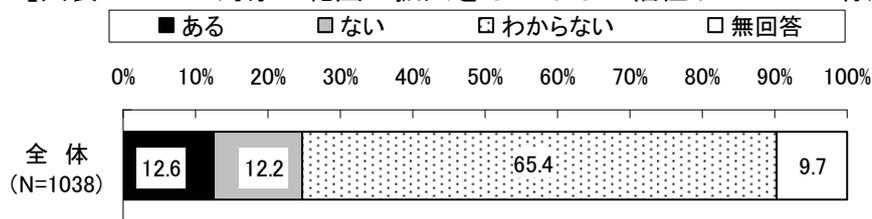
	調査数（人）	福祉サービスの利用意向（利用したい）												
		1 デイケア	2 訪問看護	3 ACT	4 居宅介護	5 短期入所	6 共同生活 生活介護・ 生活援助	7 就労継続 支援A型	8 就労継続 支援B型	9 就労移行 支援	10 地域活動 支援セ ンターI型	11 地域活動 支援セ ンターII・ III型	12 精神障がい者 社会適応 訓練事業	
全体	1038	22.3	18.5	8.2	12.5	7.2	8.4	14.3	13.7	17.4	14.3	8.5	11.3	
年齢	20歳代以下	116	20.7	11.2	8.6	6.0	4.3	2.6	23.3	17.2	28.4	18.1	11.2	15.5
	30歳代	226	19.9	14.2	8.0	8.0	5.3	6.2	18.6	18.1	25.2	18.1	11.9	16.8
	40歳代	254	15.4	14.6	7.5	12.6	4.3	6.3	15.7	13.8	23.2	14.6	8.3	13.0
	50歳代	199	22.1	23.1	11.1	16.6	8.5	9.0	14.1	16.6	11.1	13.6	8.5	10.1
	60～64歳	87	26.4	31.0	5.7	12.6	5.7	9.2	4.6	5.7	4.6	8.0	2.3	2.3
	65～74歳	87	34.5	25.3	9.2	21.8	12.6	21.8	3.4	6.9	3.4	12.6	5.7	3.4
	75歳以上	56	42.9	21.4	3.6	16.1	23.2	14.3	5.4	3.6	5.4	5.4	5.4	5.4
	無回答	13	15.4	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	-	-	7.7	-	-
全体	1038	22.3	18.5	8.2	12.5	7.2	8.4	14.3	13.7	17.4	14.3	8.5	11.3	
主な診断名 （集約）	統合失調症	299	32.8	31.8	10.0	17.4	7.0	12.7	14.7	17.1	17.1	18.4	9.0	11.7
	気分（感情）障害	406	13.3	9.1	6.9	8.4	5.9	3.9	14.8	11.8	18.0	12.1	7.9	11.3
	依存症	38	44.7	42.1	18.4	13.2	5.3	13.2	10.5	15.8	13.2	13.2	7.9	7.9
	認知症	39	61.5	25.6	5.1	25.6	33.3	17.9	2.6	2.6	5.1	5.1	5.1	2.6
	その他	240	15.0	13.3	7.1	11.3	5.8	8.3	15.0	13.3	18.3	14.2	9.6	12.9
	無回答	16	12.5	12.5	6.3	12.5	6.3	6.3	18.8	25.0	37.5	18.8	6.3	6.3

	調査数（人）	福祉サービスの利用意向（利用したい）											
		13 断酒会、 ANA	14 当事者 グループ	15 訪問 保健師の 家庭	16 行動 支援	17 生活 介護	18 自立 訓練	19 ド 移動 ヘル プ 「 ガイ	20 日常 生活 用具	21 成 地下 鉄 料 金 の 助	22 付 福 社 乗 車 券 の 交	23 （ 介 護 サ ー ビ ス ） ケ ア マ ネ ジ ヤ ー	
全体	1038	3.1	5.7	7.9	6.4	6.2	10.4	6.2	11.8	35.5	31.4	12.5	
年齢	20歳代以下	116	1.7	6.0	1.7	1.7	-	13.8	3.4	10.3	40.5	34.5	5.2
	30歳代	226	4.4	7.5	8.4	7.5	6.6	12.8	5.3	11.5	37.6	30.1	8.8
	40歳代	254	2.0	4.3	8.3	5.9	5.1	10.6	4.3	13.0	40.2	32.7	8.7
	50歳代	199	3.5	8.5	11.1	7.5	8.0	8.5	6.0	10.1	36.7	33.2	14.1
	60～64歳	87	3.4	1.1	8.0	4.6	4.6	5.7	3.4	4.6	32.2	21.8	5.7
	65～74歳	87	3.4	4.6	8.0	10.3	11.5	9.2	17.2	17.2	27.6	31.0	24.1
	75歳以上	56	3.6	3.6	5.4	5.4	8.9	8.9	10.7	21.4	14.3	35.7	48.2
	無回答	13	-	-	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	-	15.4	23.1	7.7
全体	1038	3.1	5.7	7.9	6.4	6.2	10.4	6.2	11.8	35.5	31.4	12.5	
主な診断名 （集約）	統合失調症	299	2.3	6.7	8.0	6.7	5.4	9.7	4.7	10.0	42.5	33.4	10.7
	気分（感情）障害	406	1.5	5.9	7.1	6.4	5.9	9.4	5.4	10.8	34.5	30.8	10.8
	依存症	38	28.9	10.5	15.8	5.3	5.3	7.9	-	10.5	31.6	23.7	2.6
	認知症	39	-	-	7.7	5.1	7.7	12.8	15.4	23.1	7.7	23.1	61.5
	その他	240	3.3	4.6	7.9	5.8	7.1	12.9	9.2	13.8	33.8	31.7	11.7
	無回答	16	-	-	6.3	12.5	12.5	12.5	-	12.5	37.5	43.8	6.3

(2) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問19 問18の1～23の福祉サービス・事業の中で、利用対象・範囲の拡大を図るべきだと思うものがありますか。（○は1つだけ）

【図表8-105 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】



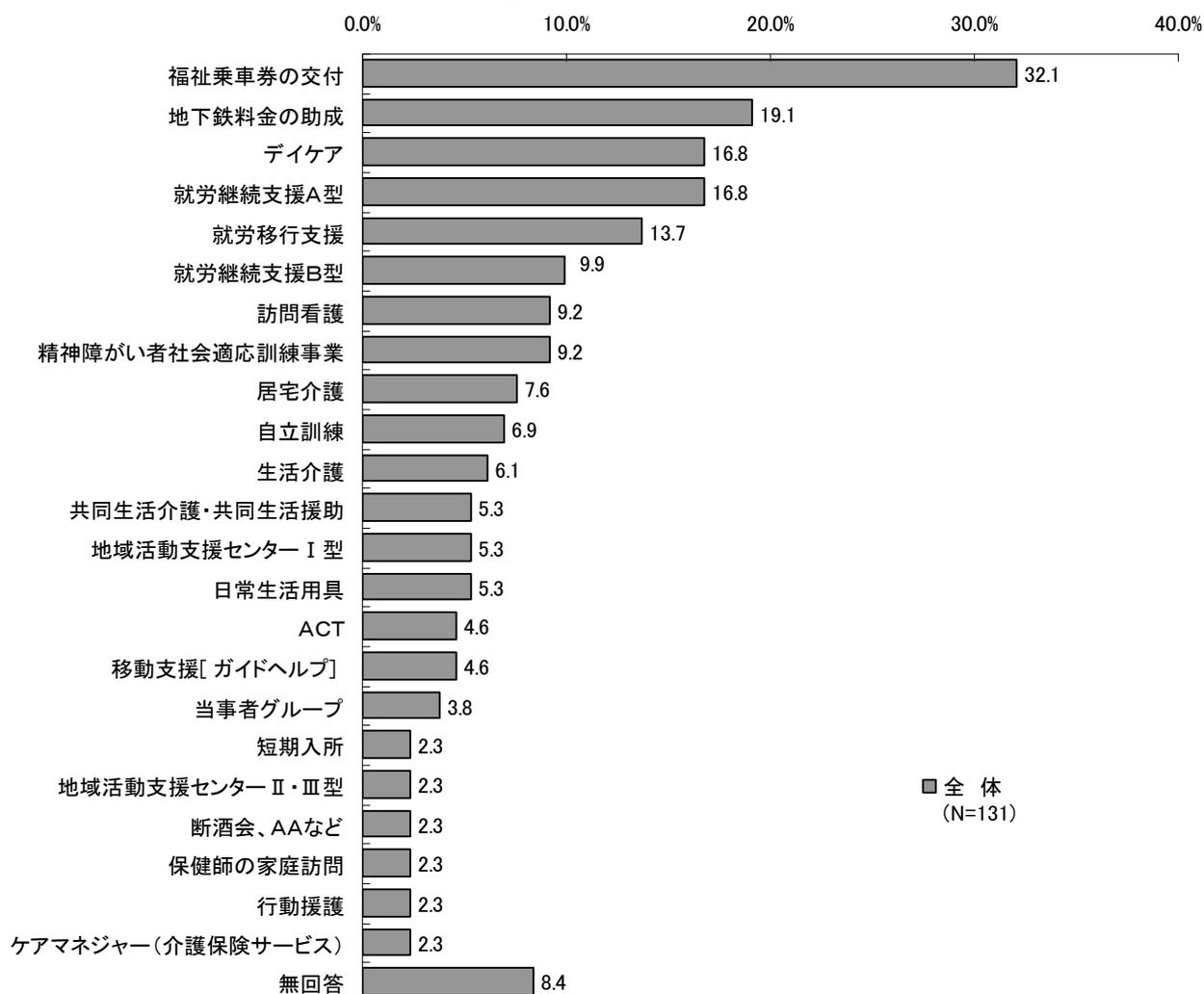
対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無としては、「ある」(12.6%)と「ない」(12.2%)がそれぞれ1割強となっている。また「わからない」(65.4%)が6割を超えている。

(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問19で「1. ある」を選ばれた方におたずねします]

問19-1 それはどの福祉サービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。（事業番号は1～23の数字を記入してください）

【図表8-106 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】

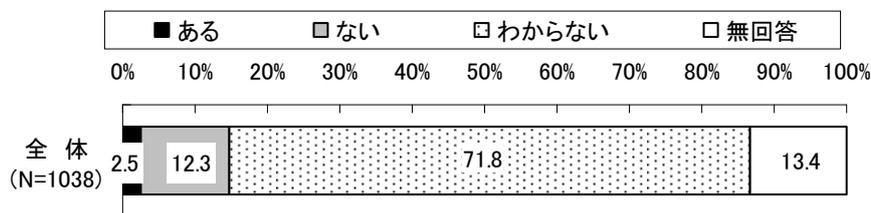


対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスとしては、「福祉乗車券の交付」(32.1%)が最も多く、次いで「地下鉄料金の助成」(19.1%)、「デイケア」と「就労継続支援A型」(それぞれ16.8%)となっている。就労支援事業所は、現在利用していない人で優先度が高いと思っている人が多い。

(4) 優先度が低い福祉サービスの有無

問20 問18の1～23の福祉サービス・事業の中で、他の福祉サービス・事業よりも、それを実施する優先度が低いと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表8-107 優先度が低い福祉サービスの有無】



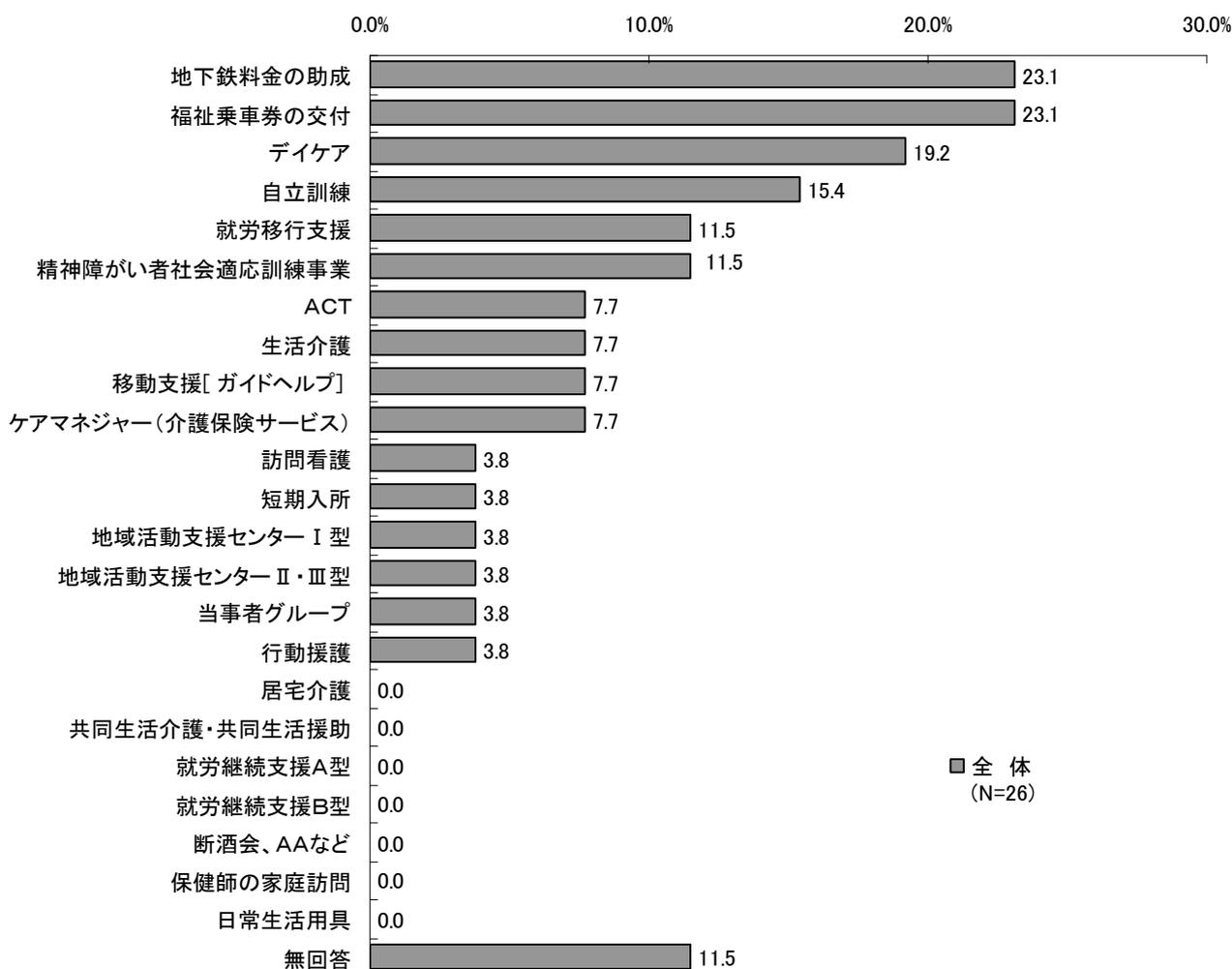
優先度の低い福祉サービスの有無としては、「ある」が2.5%、「ない」が12.3%となっている。また「わからない」(71.8%)が7割強となっている。

(5) 優先度が低い福祉サービス

[問20で「1. ある」を選ばれた方におたずねします]

問20-1 それはどの福祉サービス・事業ですか。3つまで選んでください。(事業番号は1～23の数字を記入してください)

【図表8-108 優先度が低い福祉サービス】



優先度の低い福祉サービスとしては、「地下鉄料金の助成」と「福祉乗車券の交付」をそれぞれ全26回答中6回答で比較的多くなっている。

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

【参考 各サービスの利用状況別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】

（上段＝人、下段＝％）

		問19-1 対象・範囲の拡大をほしいサービス											
		福祉乗車券の交付	地下鉄料金の助成	デイケア	就労継続支援A型	就労移行支援	就労継続支援B型	訪問看護	精神障がい者社会適応訓練事業	居宅介護	自立訓練	生活介護	共同生活介護・共生生活介護
全体		42 100.0	25 100.0	22 100.0	22 100.0	18 100.0	13 100.0	12 100.0	12 100.0	10 100.0	9 100.0	8 100.0	7 100.0
現在の利用状況	利用している	7 16.7	13 52.0	15 68.2	1 4.5	3 16.7	3 23.1	4 33.3	-	3 30.0	3 33.3	2 25.0	2 28.6
	利用していない	26 61.9	3 12.0	3 13.6	12 54.5	9 50.0	5 38.5	4 33.3	6 50.0	3 30.0	2 22.2	2 25.0	2 28.6
	無回答	9 21.4	9 36.0	4 18.2	9 40.9	6 33.3	5 38.5	4 33.3	6 50.0	4 40.0	4 44.4	4 50.0	3 42.9

		問19-1 対象・範囲の拡大をほしいサービス										
		地域活動支援センターI型	日常生活用具	A C T	移動支援「ヘルプ」ガイ	当事者グループ	短期入所	地域活動支援センターII・III型	断酒会、AAなど	保健師の家庭訪問	行動支援	ケアマネジャー（介護保険サービス）
全体		7 100.0	7 100.0	6 100.0	6 100.0	5 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0
現在の利用状況	利用している	2 28.6	1 14.3	-	3 50.0	1 20.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	2 66.7
	利用していない	3 42.9	3 42.9	2 33.3	2 33.3	2 40.0	1 33.3	-	-	1 33.3	-	1 33.3
	無回答	2 28.6	3 42.9	4 66.7	1 16.7	2 40.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	3 100.0	-

【参考 各サービスの利用状況別 優先度が低い福祉サービス】

（上段＝人、下段＝％）

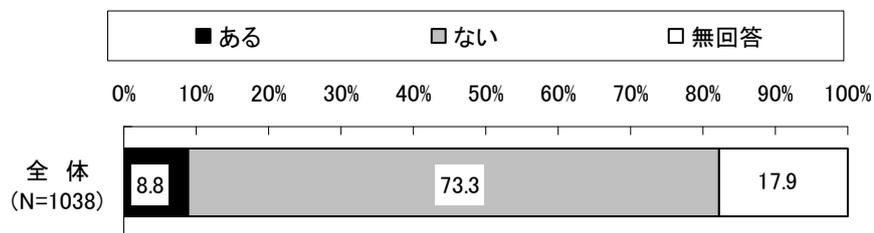
		問31-1 優先度が低いサービス											
		地下鉄料金の助成	福祉乗車券の交付	デイケア	自立訓練	就労移行支援	精神障がい者社会適応訓練事業	A C T	生活介護	移動支援「ヘルプ」ガイ	ケアマネジャー（介護保険サービス）	訪問看護	短期入所
全体		6 100.0	6 100.0	5 100.0	4 100.0	3 100.0	3 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 100.0	1 100.0
現在の利用状況	利用している	3 50.0	2 33.3	5 100.0	-	1 33.3	-	-	-	-	-	1 100.0	-
	利用していない	3 50.0	4 66.7	-	1 25.0	1 33.3	-	-	-	1 50.0	2 100.0	-	1 100.0
	無回答	-	-	-	3 75.0	1 33.3	3 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	-

		問31-1 優先度が低いサービス										
		地域活動支援センターI型	地域活動支援センターII・III型	当事者グループ	行動支援	居宅介護	共同生活介護・共生生活支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	断酒会、AAなど	保健師の家庭訪問	日常生活用具
全体		1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
現在の利用状況	利用している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用していない	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（6）新たに実施してほしい福祉サービスの有無

問2 1 現在行われていない福祉サービス・事業で、新たに実施してほしいと思うものがありますか。（○は1つだけ）

【図表8-109 新たに実施してほしい福祉サービスの有無】



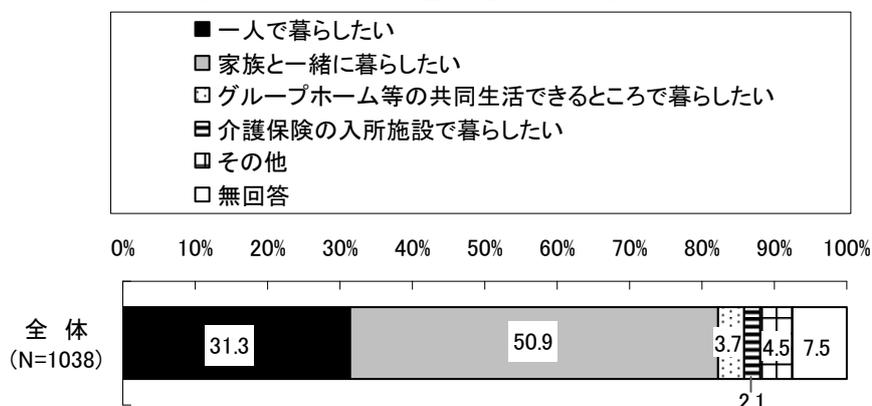
新たに実施してほしい福祉サービスの有無としては、「ある」が8.8%、「ない」が73.3%となっている。

## 7. 今後の暮らし方について

### (1) 希望する今後の暮らし方

問22 あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つだけ）

【図表8-110 希望する今後の暮らし方】



希望する今後の暮らし方としては、「家族と一緒に暮らしたい」（50.9%）が半数を占めて最も多く、次いで「一人で暮らしたい」（31.3%）となっている。

年齢別にみると、全年代において「家族と一緒に暮らしたい」の割合が最も高いが、「一人で暮らしたい」では20歳代以下が5割弱を占め、30歳代～64歳まででも3割前後を占めている。

世帯状況別にみると、現在、夫婦のみや二世帯・三世帯同居している人は今後も「家族と一緒に過ごしたい」と考えている人が多く、それぞれ6～8割を占めている。また、現在一人暮らしの人では、今後も「一人で暮らしたい」（58.3%）人が最も多く、現在の暮らし方を今後も希望する人が多いことが分かる。二世帯同居（親と同居）では「一人で暮らしたい」（23.6%）が約1/4を占めている。

主な診断名（集約）別にみると、依存症の人では「一人で暮らしたい」（60.5%）の割合が高く、6割となっている。

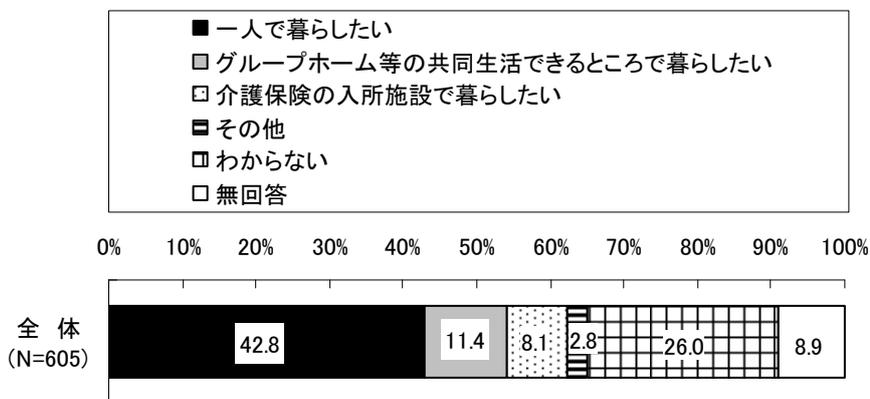
【図表8-111 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別 希望する今後の暮らし方】（%）

	調査数（人）	希望する今後の暮らし方						
		一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	グループホーム等で暮らしたい	介護保険の施設で暮らしたい	その他	無回答	
全体	1038	31.3	50.9	3.7	2.1	4.5	7.5	
年齢	20歳代以下	116	45.7	48.3	0.9	-	3.4	1.7
	30歳代	226	31.4	56.6	1.8	-	5.3	4.9
	40歳代	254	29.5	56.3	3.1	-	4.7	6.3
	50歳代	199	34.7	51.3	3.5	0.5	4.0	6.0
	60～64歳	87	29.9	41.4	4.6	3.4	5.7	14.9
	65～74歳	87	20.7	36.8	11.5	11.5	4.6	14.9
	75歳以上	56	19.6	39.3	5.4	14.3	3.6	17.9
	無回答	13	15.4	69.2	7.7	-	-	7.7
全体	1038	31.3	50.9	3.7	2.1	4.5	7.5	
世帯状況	一人暮らし	381	58.3	18.6	7.6	3.7	4.2	7.6
	夫婦のみ	126	5.6	80.2	0.8	2.4	2.4	8.7
	二世帯同居（親と同居）	242	23.6	66.1	2.1	0.4	2.1	5.8
	二世帯同居（子と同居）	211	10.4	73.0	0.9	1.4	5.2	9.0
	三世帯同居	26	11.5	73.1	-	-	11.5	3.8
	その他（兄弟姉妹同居等）	26	26.9	50.0	-	3.8	3.8	15.4
	無回答	26	26.9	38.5	3.8	-	30.8	-
全体	1038	31.3	50.9	3.7	2.1	4.5	7.5	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	28.1	50.2	7.4	2.0	4.3	8.0
	気分（感情）障害	406	32.3	53.9	1.7	2.0	4.2	5.9
	依存症	38	60.5	18.4	2.6	-	5.3	13.2
	認知症	39	12.8	46.2	5.1	12.8	5.1	17.9
	その他	240	33.3	51.3	2.5	0.8	5.0	7.1
	無回答	16	12.5	68.8	-	6.3	6.3	6.3

(2) 将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方

[現在、ご家族と同居されている方におたずねします]  
 問22-1 将来、さまざまな理由でご家族との同居ができなくなったとき、どのように暮らしたいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表8-112 将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方】



家族と同居できなくなった場合の暮らし方としては、「一人で暮らしたい」(42.8%)が4割を超えて最も多く、次いで「グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい」(11.4%)となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「一人で暮らしたい」(68.5%)の割合が高く、7割弱となっている。また、75歳以上では「介護保険の入所施設で暮らしたい」(30.8%)の割合が他に比べて高く、3割を占めている。

主な診断名(集約)別にみると、依存症の人では「一人で暮らしたい」(77.8%)、認知症の人では「介護保険の入所施設で暮らしたい」(34.5%)の割合がそれぞれ他に比べて高くなっている。

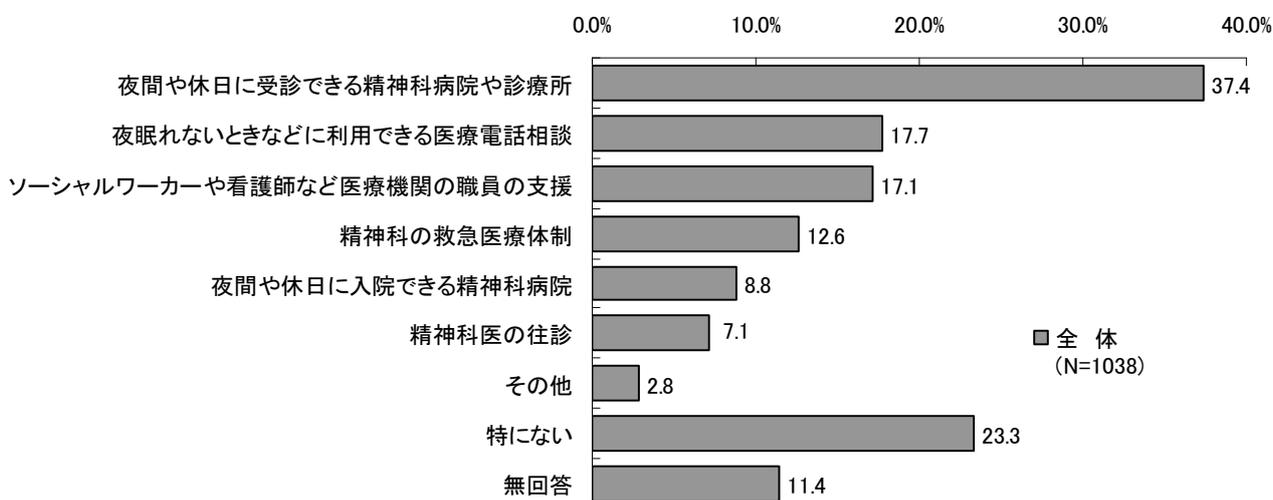
【図表8-113 年齢別、主な診断名(集約)別 将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方】(%)

	調査数(人)	将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方						
		一人で暮らしたい	暮らしができたところの共同生活	グループホーム等の共同生活	介護保険の入所施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体	605	42.8	11.4	8.1	2.8	26.0	8.9	
年齢	20歳代以下	73	68.5	2.7	1.4	1.4	21.9	4.1
	30歳代	142	45.8	14.1	1.4	3.5	28.2	7.0
	40歳代	154	46.1	12.3	7.8	1.9	24.0	7.8
	50歳代	119	33.6	13.4	11.8	2.5	31.1	7.6
	60~64歳	36	33.3	2.8	8.3	2.8	33.3	19.4
	65~74歳	35	40.0	14.3	14.3	5.7	8.6	17.1
	75歳以上	39	12.8	15.4	30.8	2.6	20.5	17.9
	無回答	7	28.6	-	-	14.3	57.1	-
主な診断名(集約)	全体	605	42.8	11.4	8.1	2.8	26.0	8.9
	統合失調症	168	45.2	9.5	3.6	3.6	27.4	10.7
	気分(感情)障害	248	45.6	10.9	8.5	2.4	26.2	6.5
	依存症	9	77.8	-	-	-	11.1	11.1
	認知症	29	-	17.2	34.5	-	24.1	24.1
	その他	145	41.4	14.5	8.3	3.4	24.8	7.6
	無回答	6	50.0	-	-	-	33.3	16.7

(3) 地域で生活するために必要な医療支援

問23 あなたが、今後も地域で生活し続けるためには、どのような医療の支援が必要だと思いますか。（○は2つまで）

【図表8-114 地域で生活するために必要な医療支援】



地域で生活するために必要な医療の支援としては、「夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所」(37.4%)が最も多く、次いで「夜眠れないときなどに利用できる医療電話相談」(17.7%)、「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員の支援」(17.1%)となっている。また、「特にない」(23.3%)は2割強であった。

年齢別にみると、40歳代以下では「夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所」の割合が4割を超えており、他に比べて高い。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症や気分（感情）障害、依存症では「夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所」の割合が3～4割強と高くなっており、認知症の人では「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員の支援」(38.5%)の割合が4割弱と高くなっている。

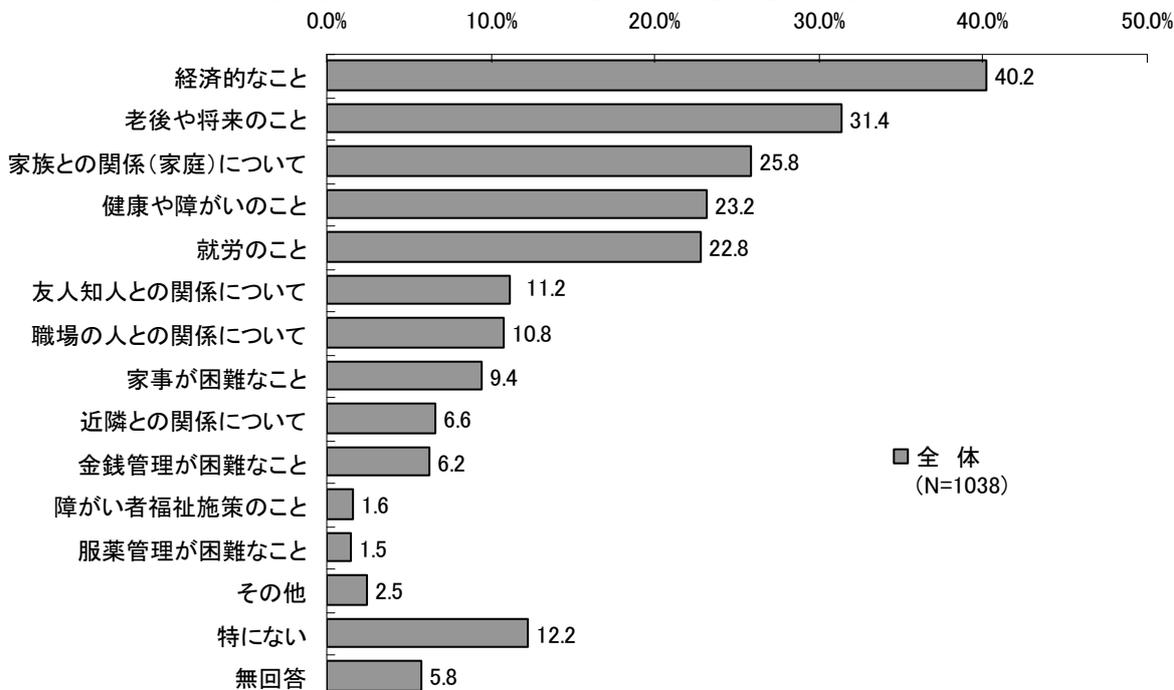
【図表8-115 年齢別、主な診断名（集約）別 地域で生活するために必要な医療支援】(%)

	調査数（人）	地域で生活するために必要な医療支援									
		療き夜話に夜関やソ制精 所る間相利眠のの看ー神 精や間談利用れの職護シ 神休でないいの員師ヤ 科日にきととき支どワ 病に受診で電療機 や診	き夜 る精 や神 休科 日病 院に 受診 で	精 神 科 医 の 往 診	そ の 他	特 に な い	無 回 答				
全体	1038	37.4	17.7	17.1	12.6	8.8	7.1	2.8	23.3	11.4	
年齢	20歳代以下	116	45.7	19.8	15.5	11.2	8.6	6.9	1.7	22.4	10.3
	30歳代	226	46.0	23.0	11.5	15.9	8.8	5.8	3.5	20.8	9.3
	40歳代	254	44.9	17.3	14.6	15.4	7.1	8.7	2.0	23.2	7.9
	50歳代	199	37.7	20.1	22.1	13.6	12.1	5.0	2.0	22.6	7.5
	60～64歳	87	18.4	12.6	21.8	10.3	4.6	9.2	5.7	27.6	17.2
	65～74歳	87	19.5	10.3	20.7	5.7	8.0	6.9	4.6	26.4	19.5
	75歳以上	56	3.6	3.6	26.8	1.8	12.5	10.7	1.8	30.4	25.0
無回答	13	53.8	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	-	7.7	30.8	
全体	1038	37.4	17.7	17.1	12.6	8.8	7.1	2.8	23.3	11.4	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	31.1	16.4	18.1	10.4	10.7	6.0	4.0	26.8	12.0
	気分（感情）障害	406	42.1	18.2	15.8	13.5	9.4	7.6	2.5	21.4	10.1
	依存症	38	31.6	18.4	18.4	13.2	7.9	15.8	-	10.5	21.1
	認知症	39	7.7	10.3	38.5	-	7.7	10.3	2.6	17.9	30.8
	その他	240	42.5	20.0	14.6	15.8	5.8	6.3	2.5	24.6	8.3
	無回答	16	43.8	12.5	18.8	12.5	6.3	-	-	31.3	6.3

(4) 困っていることや心配なこと

問24 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。  
 (○は3つまで)

【図表8-116 困っていることや心配なこと】



生活の中で困っていること等としては、「経済的なこと」(40.2%)が最も多く、次いで「老後や将来のこと」(31.4%)、「家族との関係(家庭)について」(25.8%)となっている。

年齢別にみると、若い年代ほど困っていることや心配なことが多岐に渡っている。また、30歳代以下の若年者では40歳代以上に比べて「友人知人との関係について」や「就労のこと」の割合が高い。

主な診断名(集約)別にみると、気分(感情)障害の人では「家族との関係」、「職場の人との関係」の割合が高くなっている。

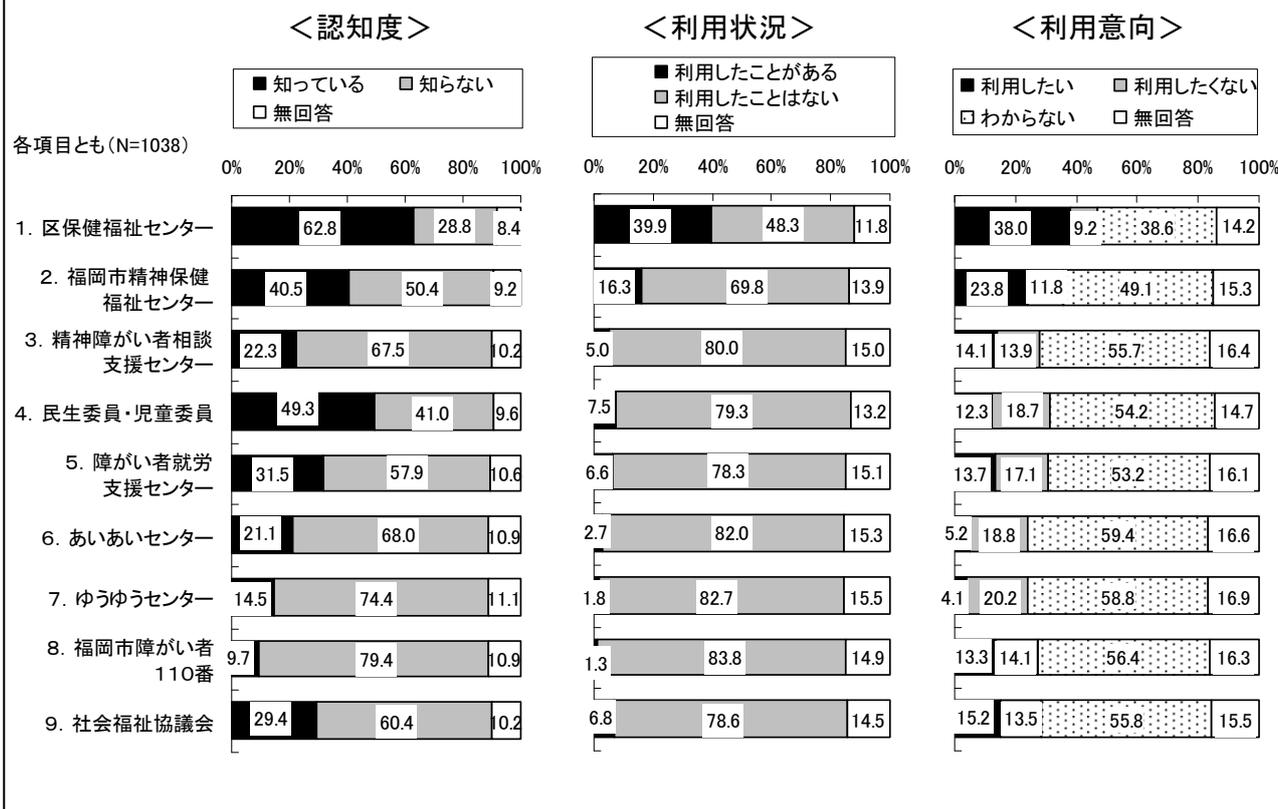
【図表8-117 年齢別、主な診断名(集約)別 困っていることや心配なこと】(%)

	調査数(人)	困っていることや心配なこと															
		経済的なこと	老後や将来のこと	家族との関係(家庭)について	健康や障がいのこと	就労のこと	友人知人との関係について	職場の人との関係について	家事が困難なこと	近隣との関係について	金銭管理が困難なこと	障がい者福祉施策のこと	服薬管理が困難なこと	その他	特にない	無回答	
全体	1038	40.2	31.4	25.8	23.2	22.8	11.2	10.8	9.4	6.6	6.2	1.6	1.5	2.5	12.2	5.8	
年齢	20歳代以下	116	38.8	31.0	25.0	24.1	33.6	30.2	12.1	6.9	4.3	10.3	0.9	3.4	2.6	5.2	2.6
	30歳代	226	48.7	27.0	32.3	23.9	37.6	15.0	13.7	8.0	6.6	5.3	0.9	0.9	1.8	8.0	4.0
	40歳代	254	43.3	28.7	28.7	20.5	27.2	9.8	15.7	12.2	9.4	5.1	2.0	0.8	2.0	9.4	4.7
	50歳代	199	45.2	39.2	25.1	23.1	18.6	8.0	13.1	7.5	7.5	7.0	1.5	0.5	2.5	13.6	2.5
	60~64歳	87	33.3	32.2	18.4	27.6	5.7	2.3	-	11.5	3.4	4.6	2.3	2.3	2.3	17.2	10.3
	65~74歳	87	26.4	34.5	17.2	20.7	1.1	4.6	1.1	11.5	5.7	6.9	4.6	3.4	4.6	19.5	12.6
	75歳以上	56	12.5	30.4	17.9	28.6	-	-	-	8.9	3.6	5.4	-	3.6	3.6	32.1	16.1
無回答	13	23.1	23.1	15.4	23.1	7.7	-	-	7.7	-	-	-	-	7.7	15.4	15.4	
全体	1038	40.2	31.4	25.8	23.2	22.8	11.2	10.8	9.4	6.6	6.2	1.6	1.5	2.5	12.2	5.8	
主な診断名(集約)	統合失調症	299	36.5	32.1	20.4	21.7	16.7	12.0	6.7	7.4	8.4	7.7	2.0	1.0	3.3	15.7	7.4
	気分(感情)障害	406	45.3	32.5	31.0	23.2	27.8	10.6	14.5	11.1	6.2	5.2	1.2	1.0	1.0	9.6	3.4
	依存症	38	34.2	36.8	18.4	26.3	28.9	5.3	-	2.6	5.3	5.3	2.6	-	2.6	10.5	10.5
	認知症	39	7.7	28.2	25.6	30.8	-	-	-	12.8	2.6	15.4	-	7.7	7.7	20.5	20.5
	その他	240	42.1	27.1	26.3	22.1	24.2	14.2	13.3	10.0	5.8	5.0	1.3	2.5	3.3	11.3	4.6
	無回答	16	43.8	50.0	6.3	43.8	31.3	6.3	6.3	6.3	12.5	-	12.5	-	-	12.5	6.3

(5) 相談機関の認知度・利用状況・利用意向

問 2 5 福岡市には、精神科などに通院中の方等からのさまざまな相談事に応じる場として、次のような場所（機関）があります。あなたは、これらの相談場所（機関）があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、今後利用したいと思いますか。1～9の項目ごとに、認知度・利用状況・利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表8-118 相談機関の認知度・利用状況・利用意向】



各種相談機関の認知度（「知っている」の割合）は、「1. 区保健福祉センター」（62.8%）は6割強の人が認知しており、次いで「4. 民生委員・児童委員」（49.3%）、「2. 福岡市精神保健福祉センター」（40.5%）となっている。

利用状況（「利用したことがある」の割合）は、「1. 区保健福祉センター」（39.9%）が4割と最も高く、次いで「2. 福岡市精神保健福祉センター」（16.3%）となっている。

利用意向（「利用したい」の割合）は、認知度・利用率と同じく「1. 区保健福祉センター」（38.0%）が最も高く、次いで「2. 福岡市精神保健福祉センター」（23.8%）となっている。

本紙に掲載されていないが、現在相談機関を「利用したことがない」人の内、今後「利用したい」と思う人が、全体（N=1038）の「8. 福岡市障がい者110番」（12.2%）、「2. 福岡市精神保健福祉センター」（10.9%）、「3. 精神障がい者相談支援センター」（10.5%）となっており、逆に現在相談機関を「利用したことがある」人の内、今後「利用したくない」と思う人は、全相談機関において1%に満たない状況であった。

## 第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

各種相談機関の認知度を年齢別にみると、50歳代以下では60歳代以上に比べて「3. 精神障がい者相談支援センター」や「5. 障がい者就労支援センター」、「6. あいあいセンター」、「7. ゆうゆうセンター」の認知度が高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では「2. 福岡市精神保健福祉センター」や「3. 精神障がい者相談支援センター」、「6. あいあいセンター」等の認知度が低い。

【図表8-119 年齢別、主な診断名（集約）別 相談機関の認知度（知っている）】（％）

	調査数（人）	相談機関の認知度（知っている）									
		1 区保健福祉センター	2 福岡市精神保健福祉センター	3 精神障がい者相談支援センター	4 民生委員・児童委員	5 障がい者就労支援センター	6 あいあいセンター	7 ゆうゆうセンター	8 福岡市障がい者110番	9 社会福祉協議会	
全 体	1038	62.8	40.5	22.3	49.3	31.5	21.1	14.5	9.7	29.4	
年 齢	20歳代以下	116	53.4	40.5	21.6	24.1	34.5	17.2	14.7	3.4	15.5
	30歳代	226	64.6	43.4	28.3	44.7	38.1	23.9	18.1	11.5	26.5
	40歳代	254	66.9	44.1	22.4	54.3	33.1	27.2	15.4	8.7	26.8
	50歳代	199	68.3	44.2	25.1	59.3	34.7	21.6	16.1	12.1	41.7
	60～64歳	87	55.2	32.2	18.4	47.1	16.1	12.6	5.7	10.3	27.6
	65～74歳	87	63.2	36.8	10.3	51.7	17.2	13.8	10.3	10.3	32.2
	75歳以上	56	48.2	21.4	14.3	60.7	26.8	12.5	10.7	8.9	33.9
無回答	13	61.5	23.1	15.4	53.8	30.8	23.1	15.4	15.4	38.5	
全 体	1038	62.8	40.5	22.3	49.3	31.5	21.1	14.5	9.7	29.4	
主 な 診 断 名 （ 集 約 ）	統合失調症	299	65.2	40.1	20.4	43.5	32.8	16.4	10.0	12.7	22.1
	気分(感情)障害	406	64.3	42.1	24.4	51.2	31.5	23.2	16.7	9.1	33.7
	依存症	38	55.3	50.0	21.1	55.3	23.7	15.8	10.5	10.5	34.2
	認知症	39	59.0	15.4	10.3	61.5	23.1	10.3	10.3	5.1	33.3
	その他	240	59.2	39.6	23.3	49.6	31.7	25.8	17.5	7.9	29.2
	無回答	16	62.5	56.3	18.8	62.5	43.8	25.0	18.8	6.3	37.5

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

各種相談機関の利用状況を年齢別にみると、65歳以上の高齢者では「4. 民生委員・児童委員」を利用したことがある人が1割を超えており、64歳以下の利用率に比べてやや高い。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症の人では他に比べて「1. 区保健福祉センター」（50.5%）や「2. 福岡市精神保健福祉センター」（21.7%）の利用率が高くなっている。また、認知症の人では「4. 民生委員・児童委員」（23.1%）の利用率が高い。

【図表8-120 年齢別、主な診断名（集約）別 相談機関の利用状況（利用したことがある）】（%）

	調査数（人）	相談機関の利用状況（利用したことがある）									
		1 区保健福祉センター	2 福岡市精神保健福祉センター	3 精神障がい者相談支援センター	4 民生委員・児童委員	5 障がい者就労支援センター	6 あいあいセンター	7 ゆうゆうセンター	8 福岡市障がい者110番	9 社会福祉協議会	
全体	1038	39.9	16.3	5.0	7.5	6.6	2.7	1.8	1.3	6.8	
年齢	20歳代以下	116	34.5	15.5	2.6	1.7	7.8	3.4	3.4	-	-
	30歳代	226	42.9	19.5	7.1	5.8	11.9	3.1	3.1	1.8	7.1
	40歳代	254	43.7	15.0	4.3	7.9	7.5	2.0	1.2	0.8	5.9
	50歳代	199	45.2	19.6	7.0	7.0	6.0	4.0	2.5	3.0	10.6
	60～64歳	87	33.3	12.6	6.9	6.9	-	1.1	-	1.1	5.7
	65～74歳	87	37.9	14.9	-	11.5	-	3.4	-	-	9.2
	75歳以上	56	19.6	8.9	3.6	17.9	1.8	-	-	-	8.9
無回答	13	23.1	7.7	-	23.1	-	-	-	-	7.7	
全体	1038	39.9	16.3	5.0	7.5	6.6	2.7	1.8	1.3	6.8	
主な診断名 (集約)	統合失調症	299	50.5	21.7	7.4	9.0	10.7	3.3	1.0	1.7	6.7
	気分(感情)障害	406	38.7	15.0	3.4	4.9	3.4	1.5	1.7	0.7	5.9
	依存症	38	36.8	18.4	5.3	15.8	7.9	5.3	5.3	2.6	7.9
	認知症	39	17.9	5.1	-	23.1	-	-	-	-	10.3
	その他	240	32.9	13.3	5.8	6.7	7.5	4.2	2.9	1.7	7.9
	無回答	16	37.5	12.5	-	-	6.3	-	-	-	6.3

## 第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

各種相談機関の利用意向を年齢別にみると、50歳代以下では60歳以上に比べて「2. 福岡市精神保健福祉センター」や「3. 精神障がい者相談支援センター」、「5. 障がい者就労支援センター」、「8. 福岡市障がい者110番」の利用意向が高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症の人では他に比べて「1. 区保健福祉センター」（46.8%）や「3. 精神障がい者相談支援センター」（20.7%）、「8. 福岡市障がい者110番」（17.1%）の利用意向が高い。また、認知症の人では他に比べて「4. 民生委員・児童委員」（20.5%）の利用意向がやや高くなっている。

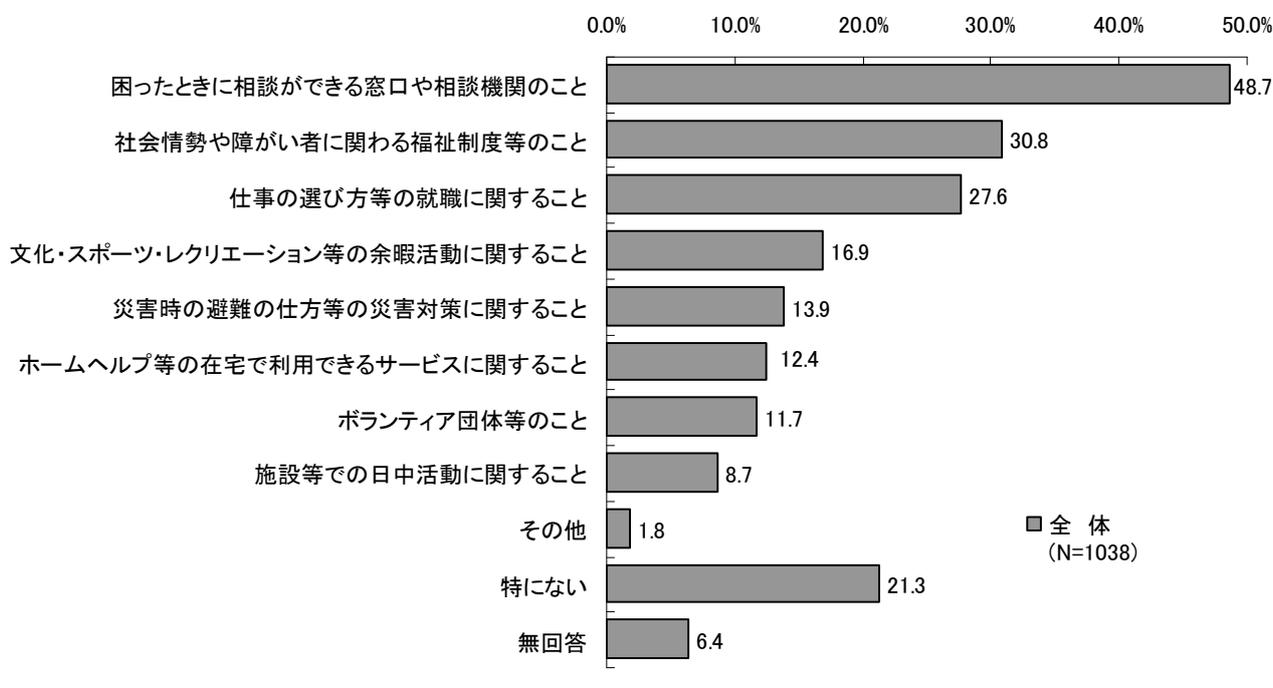
【図表8-121 年齢別、主な診断名（集約）別 相談機関の利用意向（利用したい）】（%）

	調査数（人）	相談機関の利用意向（利用したい）									
		1 区保健福祉センター	2 福岡市精神保健福祉センター	3 精神障がい者相談支援センター	4 民生委員・児童委員	5 障がい者就労支援センター	6 あいあいセンター	7 ゆうゆうセンター	8 福岡市障がい者110番	9 社会福祉協議会	
全体	1038	38.0	23.8	14.1	12.3	13.7	5.2	4.1	13.3	15.2	
年齢	20歳代以下	116	39.7	27.6	11.2	7.8	20.7	5.2	6.9	12.9	9.5
	30歳代	226	39.8	28.8	18.1	14.2	20.4	6.2	6.2	17.3	19.9
	40歳代	254	41.7	25.2	15.7	10.6	16.1	5.9	3.1	16.1	15.0
	50歳代	199	40.2	23.6	16.6	14.6	10.6	5.0	3.5	16.1	17.6
	60～64歳	87	33.3	14.9	9.2	10.3	5.7	3.4	2.3	4.6	12.6
	65～74歳	87	33.3	18.4	9.2	14.9	2.3	5.7	3.4	6.9	12.6
	75歳以上	56	21.4	14.3	5.4	10.7	5.4	1.8	1.8	-	10.7
	無回答	13	15.4	15.4	-	23.1	-	-	-	7.7	7.7
全体	1038	38.0	23.8	14.1	12.3	13.7	5.2	4.1	13.3	15.2	
主な診断名 （集約）	統合失調症	299	46.8	28.1	20.7	15.7	16.7	5.4	3.3	17.1	14.7
	気分（感情）障害	406	36.7	23.9	12.1	9.9	12.6	4.9	3.9	13.1	15.8
	依存症	38	31.6	23.7	10.5	7.9	7.9	5.3	2.6	7.9	18.4
	認知症	39	20.5	12.8	2.6	20.5	2.6	-	-	2.6	15.4
	その他	240	33.3	20.8	12.5	12.1	14.6	6.3	6.3	11.7	15.0
	無回答	16	31.3	12.5	-	6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	6.3

(6) 知りたい情報

問26 あなたは、生活に関することで、どのような情報が知りたいですか。  
 (○はあてはまるものすべて)

【図表8-122 知りたい情報】



生活に関することでの知りたい情報としては、「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」(48.7%)が最も多く、次いで「社会情勢や障がい者に関わる福祉制度等のこと」(30.8%)、「仕事の選び方等の就職に関すること」(27.6%)となっている。また、「特にない」(21.3%)が2割強であった。

年齢別にみると、若い世代の方が「社会情勢や障がい者に関わる福祉制度等のこと」や「仕事の選び方等の就職に関すること」等の割合が高い。また、65歳以上の高齢者では「ホームヘルプ等の在宅で利用できるサービスに関すること」の割合が2割前後と高くなっている。

主な診断名(集約)別にみると、認知症の人では「ホームヘルプ等の在宅で利用できるサービスに関すること」(30.8%)や「災害時の避難の仕方等の災害対策に関すること」(25.6%)の割合が他に比べて高い。

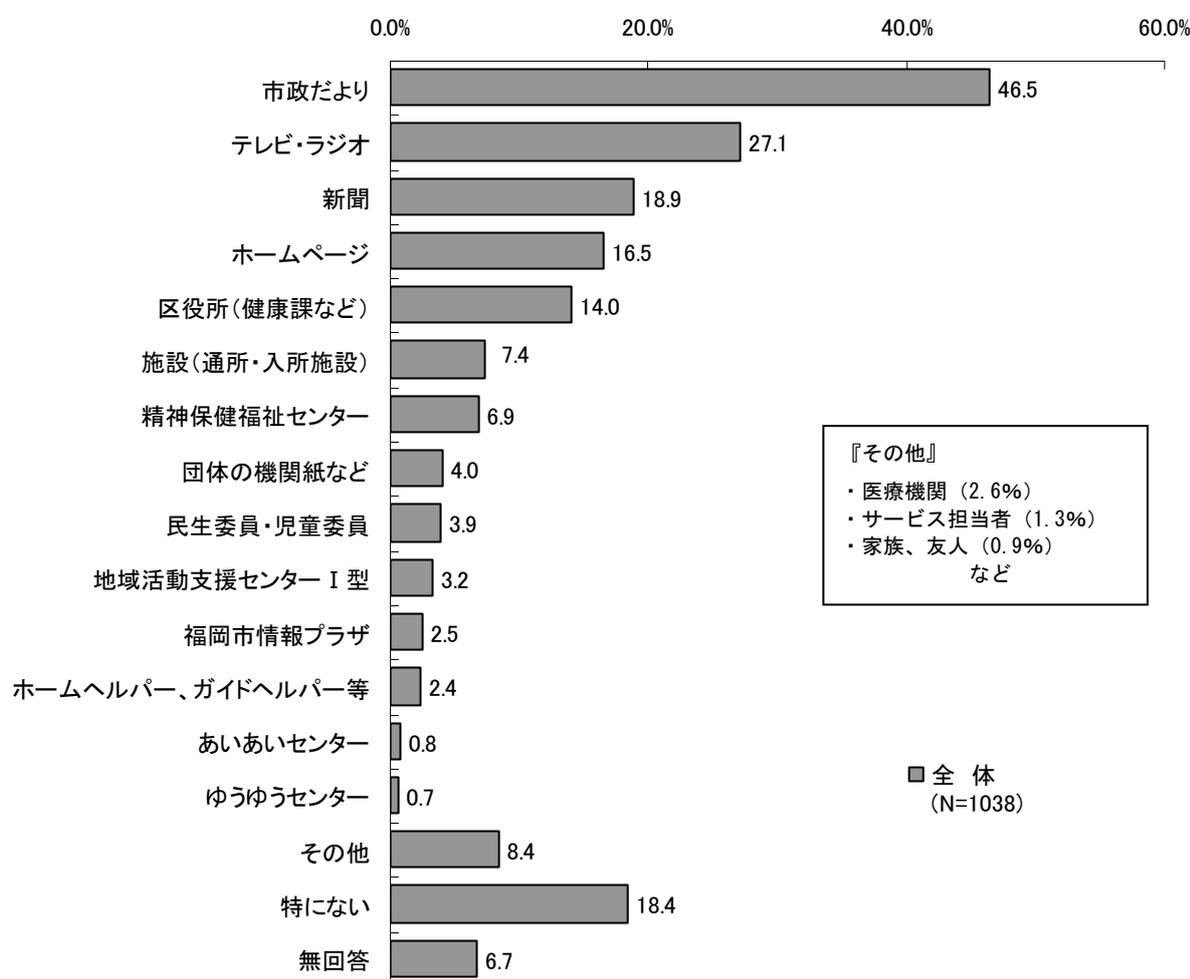
【図表8-123 年齢別、主な診断名（集約）別 知りたい情報】（%）

	調査数（人）	知りたい情報														
		こきと困つた窓口や相談機関の	と関わる福祉制度等がに	社会情勢や障がい者に	に事選び方等の就職	活動に関する余暇	リエーション等の余暇	文化・スポーツ・レク	との災害対策に関する仕	災害時の避難の仕	に利用できるサービス	ホームヘルプ等の在宅	ボランティア団体等の	施設等での日中活動に	その他	特にな
全体	1038	48.7	30.8	27.6	16.9	13.9	12.4	11.7	8.7	1.8	21.3	6.4				
年齢	20歳代以下	116	48.3	25.9	43.1	21.6	7.8	3.4	7.8	6.0	0.9	21.6	5.2			
	30歳代	226	48.7	35.4	36.3	13.7	11.9	11.1	16.4	9.7	1.8	23.9	5.8			
	40歳代	254	52.8	35.0	37.0	17.3	11.8	10.6	7.9	6.7	2.0	15.7	4.7			
	50歳代	199	53.3	37.2	23.1	19.6	17.1	15.1	12.6	8.5	1.0	20.6	5.0			
	60～64歳	87	41.4	19.5	6.9	19.5	19.5	13.8	10.3	9.2	3.4	25.3	8.0			
	65～74歳	87	39.1	18.4	5.7	17.2	13.8	19.5	18.4	9.2	3.4	31.0	9.2			
	75歳以上	56	39.3	21.4	3.6	7.1	23.2	23.2	7.1	17.9	1.8	16.1	16.1			
	無回答	13	61.5	15.4	7.7	-	15.4	7.7	7.7	7.7	-	23.1	7.7			
全体	1038	48.7	30.8	27.6	16.9	13.9	12.4	11.7	8.7	1.8	21.3	6.4				
主な診断名 （集約）	統合失調症	299	43.1	32.8	26.4	20.4	16.1	14.4	10.0	13.0	2.7	23.4	7.7			
	気分（感情）障害	406	53.0	34.2	29.6	15.8	11.1	11.3	12.8	6.9	1.0	19.7	5.2			
	依存症	38	39.5	28.9	23.7	15.8	13.2	2.6	10.5	10.5	-	18.4	13.2			
	認知症	39	46.2	20.5	2.6	5.1	25.6	30.8	7.7	17.9	2.6	12.8	15.4			
	その他	240	49.6	24.6	29.6	16.3	14.2	10.4	12.9	5.0	2.5	23.3	4.2			
	無回答	16	62.5	31.3	37.5	18.8	12.5	12.5	6.3	-	-	18.8	6.3			

(7) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問27 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛りとなっているのは、次のどれですか。（〇はあてはまるものすべて）

【図表8-124 福岡市の福祉施策情報の入手先】



福岡市の福祉施策情報の入手先としては、「市政だより」（46.5%）が最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」（27.1%）、「新聞」（18.9%）、「ホームページ」（16.5%）となっているが、「特にない」（18.4%）であり2割弱であった。

年齢別にみると、「市政だより」や「新聞」の割合は概ね年齢が高いほど高くなっている。また、30歳代以下の若年者では「ホームページ」の割合が高く、3割弱を占めている。

主な診断名（集約）別にみると、依存症や認知症の人では「民生委員・児童委員」や「施設（通所・入所施設）」の割合が他に比べて高い。

【図表8-125 年齢別、主な診断名（集約）別 福岡市の福祉施策情報の入手先】（％）

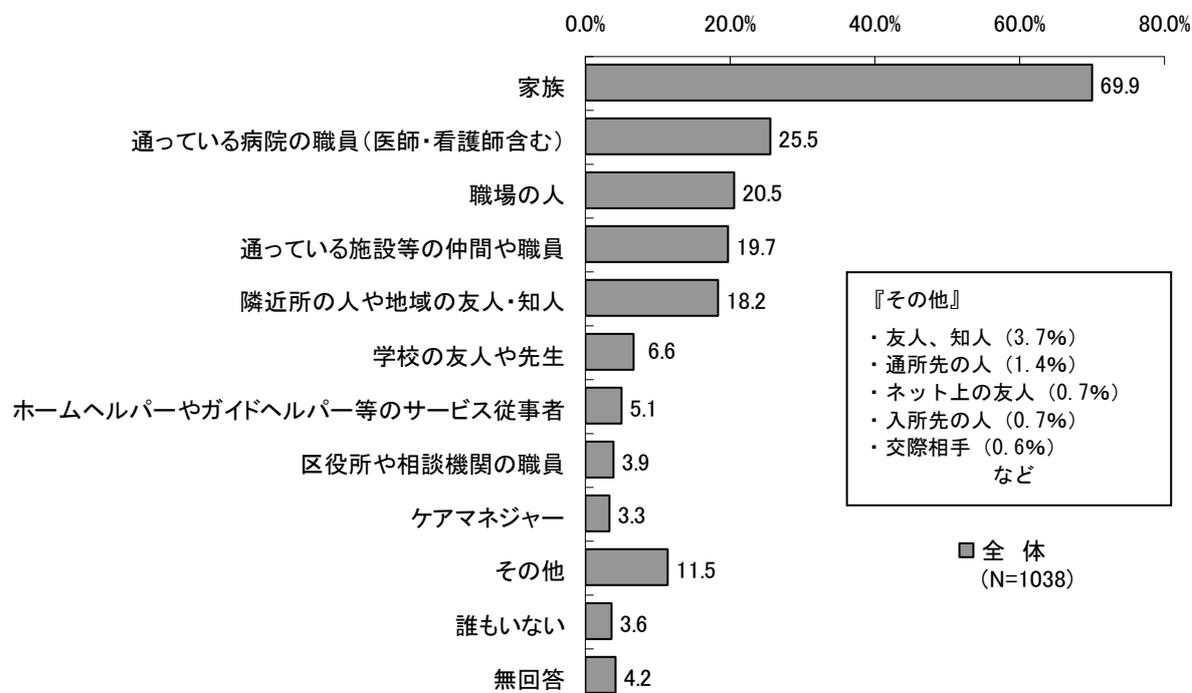
	調査数（人）	福岡市の福祉施策情報の入手先									
		市政だより	テレビ・ラジオ	新聞	ホームページ	区役所（健康課など）	施設（通所・入所施設）	精神保健福祉センター	団体の機関紙など	民生委員・児童委員	
全体	1038	46.5	27.1	18.9	16.5	14.0	7.4	6.9	4.0	3.9	
年齢	20歳代以下	116	26.7	25.0	10.3	27.6	8.6	6.0	4.3	3.4	-
	30歳代	226	39.8	22.6	14.2	25.7	13.3	8.8	5.3	4.4	0.9
	40歳代	254	48.0	22.8	16.1	15.7	11.8	5.1	7.5	1.6	2.4
	50歳代	199	55.3	33.7	21.6	12.6	22.1	6.5	11.1	4.5	5.5
	60～64歳	87	49.4	27.6	24.1	6.9	14.9	8.0	5.7	6.9	2.3
	65～74歳	87	62.1	28.7	25.3	9.2	11.5	11.5	5.7	5.7	10.3
	75歳以上	56	51.8	37.5	37.5	3.6	14.3	10.7	3.6	5.4	16.1
無回答	13	30.8	46.2	30.8	-	-	7.7	15.4	7.7	7.7	
全体	1038	46.5	27.1	18.9	16.5	14.0	7.4	6.9	4.0	3.9	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	41.8	33.1	26.4	6.7	15.1	10.7	6.7	5.7	3.0
	気分（感情）障害	406	52.0	24.4	14.8	21.2	14.3	2.7	6.2	3.2	3.0
	依存症	38	36.8	23.7	18.4	5.3	10.5	28.9	15.8	-	10.5
	認知症	39	51.3	25.6	33.3	5.1	10.3	17.9	-	7.7	20.5
	その他	240	44.2	25.8	13.8	24.2	12.1	6.3	8.3	3.3	2.5
無回答	16	43.8	12.5	25.0	18.8	31.3	6.3	6.3	6.3	6.3	

	調査数（人）	福岡市の福祉施策情報の入手先								
		I型地域活動支援センター	福岡市情報プラザ	ドームヘルパー等	あいあいセンター	ゆうゆうセンター	その他	特にない	無回答	
全体	1038	3.2	2.5	2.4	0.8	0.7	8.4	18.4	6.7	
年齢	20歳代以下	116	0.9	1.7	0.9	-	1.7	7.8	27.6	4.3
	30歳代	226	4.4	3.1	1.3	0.4	0.4	10.2	20.4	6.2
	40歳代	254	3.5	-	2.8	1.2	0.4	8.3	19.7	6.3
	50歳代	199	2.5	4.0	1.0	0.5	1.0	7.5	16.6	5.5
	60～64歳	87	2.3	3.4	3.4	2.3	1.1	10.3	14.9	9.2
	65～74歳	87	3.4	4.6	5.7	-	-	6.9	10.3	8.0
	75歳以上	56	5.4	3.6	5.4	1.8	-	7.1	12.5	14.3
無回答	13	-	-	7.7	-	-	-	7.7	7.7	
全体	1038	3.2	2.5	2.4	0.8	0.7	8.4	18.4	6.7	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	5.4	2.3	2.3	0.7	0.3	9.7	18.1	7.0
	気分（感情）障害	406	1.5	2.5	2.2	0.7	1.0	9.9	19.5	6.2
	依存症	38	2.6	5.3	2.6	2.6	2.6	7.9	10.5	13.2
	認知症	39	5.1	5.1	7.7	2.6	-	15.4	17.9	15.4
	その他	240	2.9	1.7	1.7	0.4	0.4	3.8	18.8	5.4
無回答	16	6.3	6.3	6.3	-	-	-	12.5	-	

(8) 一緒に過ごしたり会話をする人

問28 あなたは、普段どのような人と一緒にすごしたり、会話することが多いですか。  
（○はあてはまるものすべて）

【図表8-126 一緒に過ごしたり会話をする人】



普段一緒に過ごしたり会話する人としては、「家族」(69.9%)が7割弱を占めて最も多く、次いで「通っている病院の職員(医師・看護師含む)」(25.5%)、「職場の人」(20.5%)、「通っている施設等の仲間や職員」(19.7%)となっている。

年齢別にみると、20歳代以下では「学校の友人や先生」(24.1%)の割合が他に比べて高く、65歳以上の高齢者では「通っている施設等の仲間や職員」や「ケアマネジャー」の割合が高い。

主な診断名(集約)別にみると、依存症の人では他に比べて「家族」(36.8%)の割合が低く、代わりに「通っている病院の職員(医師・看護師含む)」(47.4%)の割合が高い。

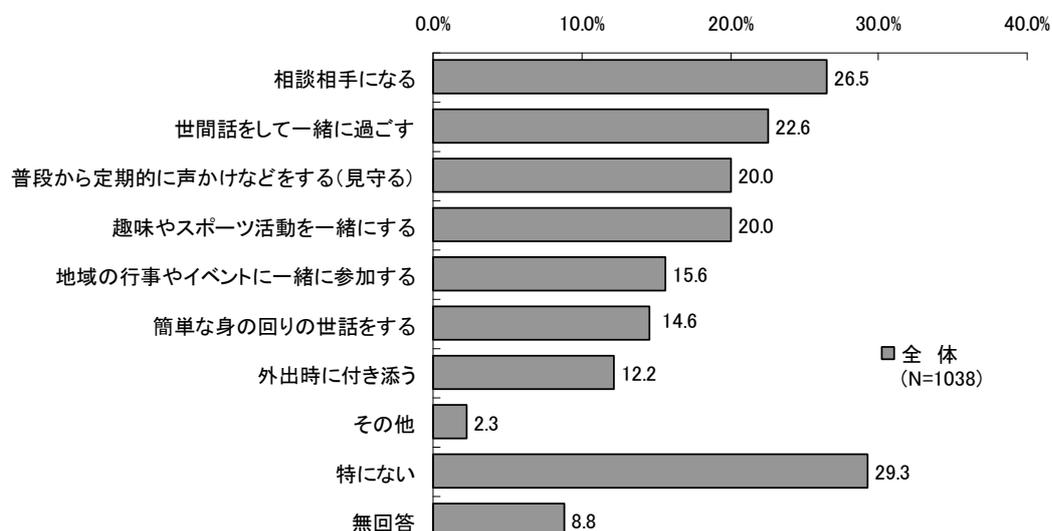
【図表8-127 年齢別、主な診断名（集約）別 一緒に過ごしたり会話をする人】（%）

	調査数（人）	一緒に過ごしたり会話をする人												
		家族	通っている病院の職員（医師・看護師含む）	職場の人	通っている施設等の仲間や職員	人近所の人や地域の友人・知人	学校の友人や先生	ホームヘルパー等のサービス従事者	区役所や相談機関の職員	ケアマネジャー	その他	誰もいない	無回答	
全体	1038	69.9	25.5	20.5	19.7	18.2	6.6	5.1	3.9	3.3	11.5	3.6	4.2	
年齢	20歳代以下	116	80.2	27.6	22.4	15.5	12.9	24.1	1.7	1.7	11.2	1.7	2.6	
	30歳代	226	75.2	29.6	23.9	19.5	17.7	6.6	3.1	3.1	9.3	4.0	4.0	
	40歳代	254	70.5	21.3	27.6	14.2	15.4	3.1	4.7	3.5	11.0	3.5	4.3	
	50歳代	199	67.8	22.6	24.1	18.6	20.6	5.0	6.5	6.5	12.6	4.5	1.5	
	60～64歳	87	56.3	25.3	10.3	18.4	21.8	2.3	3.4	6.9	16.1	6.9	5.7	
	65～74歳	87	52.9	26.4	3.4	29.9	24.1	2.3	11.5	2.3	14.9	12.6	2.3	8.0
	75歳以上	56	78.6	32.1	-	39.3	21.4	5.4	10.7	1.8	21.4	8.9	-	8.9
	無回答	13	76.9	30.8	23.1	46.2	15.4	7.7	-	-	15.4	-	7.7	
全体	1038	69.9	25.5	20.5	19.7	18.2	6.6	5.1	3.9	3.3	11.5	3.6	4.2	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	69.2	31.1	12.7	30.8	16.1	6.0	6.4	3.0	15.1	1.7	3.7	
	気分（感情）障害	406	71.4	20.0	24.6	9.1	19.5	6.2	3.4	4.7	9.6	6.4	3.7	
	依存症	38	36.8	47.4	2.6	39.5	18.4	2.6	10.5	2.6	7.9	5.3	10.5	
	認知症	39	79.5	35.9	-	56.4	12.8	-	15.4	-	35.9	5.1	-	7.7
	その他	240	72.1	23.3	29.6	15.4	19.2	9.6	4.2	4.6	11.3	0.8	4.2	
	無回答	16	68.8	18.8	18.8	12.5	25.0	12.5	-	-	18.8	12.5	6.3	

（9）地域から受けてほしい支援・交流の内容

問29 あなたは、地域の方が何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援・交流があったらいいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表8-128 地域から受けてほしい支援・交流の内容】



地域から受けてほしい支援・交流の内容としては、「相談相手になる」(26.5%)が最も多く、次いで「世間話をして一緒に過ごす」(22.6%)、「普段から定期的に声かけなどをする(見守る)」と「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(それぞれ20.0%)となっている。また、「特にない」(29.3%)が3割となっている。

年齢別にみると、20歳代以下では「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(28.4%)の割合が30歳代以上に比べて高く、3割弱を占めている。また、50歳代以下では「相談相手になる」「世間話をして一緒に過ごす」の割合が共に2割以上となっている。

主な診断名(集約)別にみると、認知症の人では「外出時に付き添う」(28.2%)や「地域の行事やイベントと一緒に参加する」(20.5%)の割合が他に比べて高く、それぞれ2割を超えている。

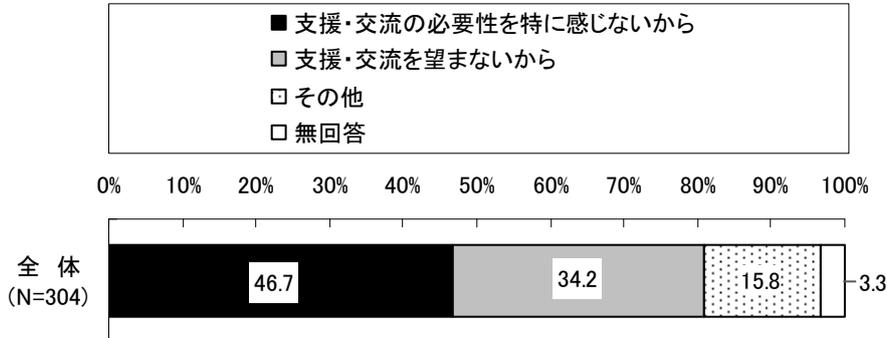
【図表8-129 年齢別、主な診断名(集約)別 地域から受けてほしい支援・交流の内容】(%)

	調査数(人)	地域から受けてほしい支援・交流の内容										
		相談相手になる	世間話をして一緒に過ごす	守る(見守る)	普段から定期的に声かけなどをする(見守る)	を趣味やスポーツ活動と一緒にする	ト地域の行事やイベントに参加する	話を簡単な身の回りの世	外出時に付き添う	その他	特にない	無回答
全体	1038	26.5	22.6	20.0	20.0	15.6	14.6	12.2	2.3	29.3	8.8	
年齢	20歳代以下	116	28.4	24.1	16.4	28.4	19.0	9.5	9.5	2.6	35.3	5.2
	30歳代	226	28.8	23.9	19.9	24.8	17.7	16.4	15.5	2.7	26.1	8.8
	40歳代	254	29.1	23.2	18.9	18.5	13.8	17.3	11.4	2.4	26.8	7.1
	50歳代	199	28.6	27.1	23.1	22.6	17.1	14.1	9.5	1.5	28.1	6.5
	60~64歳	87	13.8	12.6	14.9	14.9	13.8	11.5	5.7	2.3	40.2	10.3
	65~74歳	87	27.6	19.5	23.0	12.6	8.0	12.6	14.9	1.1	34.5	13.8
	75歳以上	56	10.7	21.4	25.0	1.8	19.6	16.1	21.4	5.4	21.4	17.9
	無回答	13	30.8	-	23.1	15.4	7.7	15.4	23.1	-	23.1	23.1
全体	1038	26.5	22.6	20.0	20.0	15.6	14.6	12.2	2.3	29.3	8.8	
主な診断名(集約)	統合失調症	299	28.8	21.1	18.4	20.1	15.7	16.7	14.4	2.7	28.4	11.0
	気分(感情)障害	406	26.6	22.2	19.0	21.2	16.5	12.8	10.6	1.7	32.8	6.2
	依存症	38	23.7	18.4	28.9	10.5	15.8	18.4	5.3	-	18.4	18.4
	認知症	39	12.8	23.1	28.2	2.6	20.5	20.5	28.2	5.1	23.1	10.3
	その他	240	25.8	26.3	20.4	22.5	13.8	14.2	10.4	2.9	26.3	9.2
	無回答	16	31.3	18.8	31.3	18.8	6.3	6.3	18.8	-	43.8	-

(10) 地域からの支援・交流を望まない理由

[問29で「9. 特にない」を選ばれた方におたずねします]  
問29-1 それはなぜですか。(○は1つだけ)

【図表8-130 地域からの支援・交流を望まない理由】

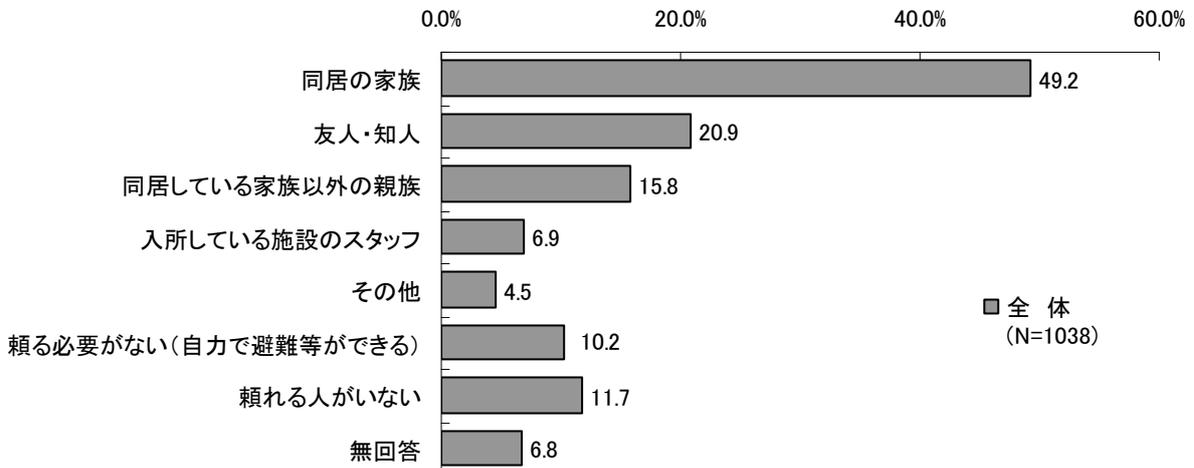


地域からの支援・交流を望まない理由としては、「支援・交流の必要性を特に感じないから」(46.7%)が半数弱、「支援・交流を望まないから」(34.2%)が3割強となっている。

(11) 災害時に頼れる人

問30 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表8-131 災害時に頼れる人】



災害時に頼れる人としては、「同居の家族」(49.2%)が半数と最も多く、次いで「友人・知人」(20.9%)、「同居している家族以外の親族」(15.8%)となっている。

年齢別にみると、75歳以上を除くと若い年代ほど「同居の家族」の割合が高く、20歳代以下では6割強(62.1%)となっている。ただし、75歳以上では過半数(55.4%)を占めている。また、65歳以上の高齢者では「入所している施設のスタッフ」の割合が高く、2割弱を占めている。

世帯状況別にみると、一人暮らしでは他に比べて「頼れる人がいない」(23.6%)の割合が高く、2割強を占めている。

主な診断名(集約)別にみると、認知症では「同居の家族」(64.1%)や「同居している家族以外の親族」(30.8%)の割合が他の診断名に比べて高い。また、「同居の家族」の割合は統合失調症でも過半数となっている。

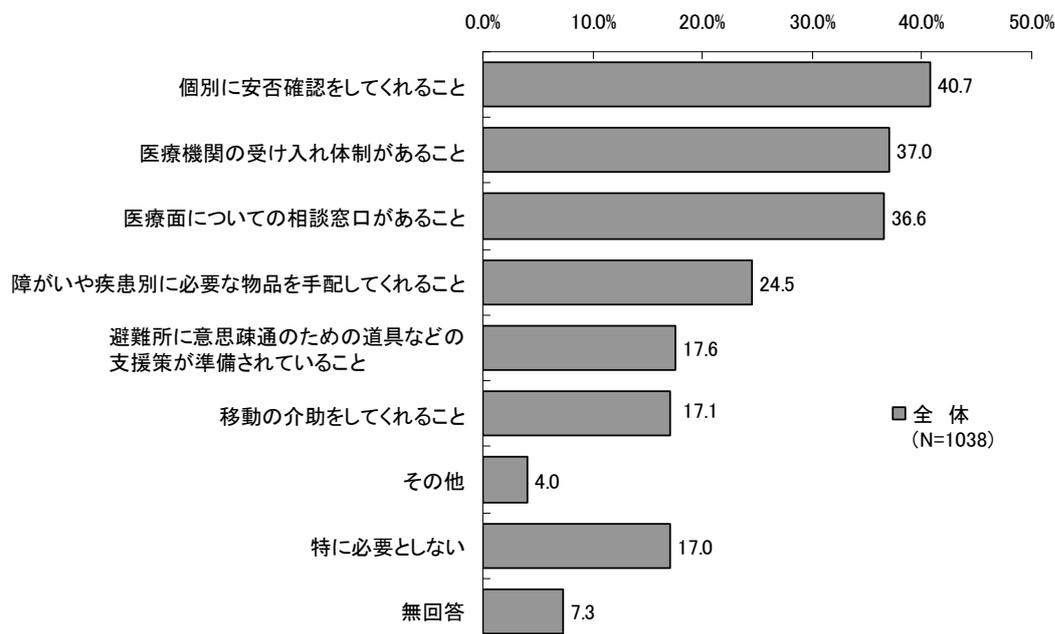
【図表8-132 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別 災害時に頼れる人】（%）

	調査数（人）	災害時に頼れる人								
		同居の家族	友人・知人	族同居外して親のいる家	設入の所スッたツフ施	その他	が（自力で避難できない）	頼る必要がない	い頼れる人がいな	無回答
全体	1038	49.2	20.9	15.8	6.9	4.5	10.2	11.7	6.8	
年齢	20歳代以下	116	62.1	23.3	19.0	2.6	1.7	7.8	6.0	6.9
	30歳代	226	50.4	23.5	21.2	6.2	2.7	11.1	11.1	5.8
	40歳代	254	48.8	20.5	13.4	3.9	3.5	11.0	15.0	6.7
	50歳代	199	48.7	22.6	14.1	6.5	6.5	13.6	10.6	5.0
	60～64歳	87	42.5	17.2	5.7	8.0	6.9	11.5	17.2	8.0
	65～74歳	87	33.3	19.5	14.9	18.4	5.7	5.7	12.6	11.5
	75歳以上	56	55.4	10.7	23.2	16.1	8.9	1.8	1.8	10.7
	無回答	13	53.8	15.4	7.7	-	7.7	7.7	23.1	-
全体	1038	49.2	20.9	15.8	6.9	4.5	10.2	11.7	6.8	
世帯状況	一人暮らし	381	-	24.7	11.5	14.4	8.7	18.6	23.6	10.2
	夫婦のみ	126	78.6	21.4	19.0	0.8	2.4	3.2	4.0	7.1
	二世帯同居（親と同居）	242	78.1	16.1	18.2	2.5	1.2	6.6	5.0	4.1
	二世帯同居（子と同居）	211	79.1	20.9	19.9	1.9	2.4	5.7	4.7	4.7
	三世帯同居	26	92.3	26.9	3.8	-	-	3.8	-	3.8
	その他（兄弟姉妹同居等）	26	73.1	15.4	19.2	3.8	3.8	-	3.8	3.8
	無回答	26	50.0	7.7	15.4	19.2	7.7	7.7	11.5	3.8
全体	1038	49.2	20.9	15.8	6.9	4.5	10.2	11.7	6.8	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	51.5	15.4	14.0	13.4	8.4	7.4	11.0	6.0
	気分（感情）障害	406	48.0	26.1	17.2	2.0	2.7	12.3	13.3	6.7
	依存症	38	15.8	21.1	2.6	10.5	2.6	23.7	18.4	10.5
	認知症	39	64.1	2.6	30.8	17.9	2.6	-	2.6	7.7
	その他	240	50.4	22.1	16.3	5.4	3.3	10.0	10.0	7.5
	無回答	16	62.5	18.8	-	-	6.3	6.3	12.5	6.3

(12) 災害時に必要な支援

問3 1 あなたは、災害時には行政や地域などからどのような支援を必要としますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表8-133 災害時に必要な支援】



第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

災害時に必要な支援としては、「個別に安否確認をしてくれること」（40.7%）が最も多く、次いで「医療機関の受け入れ体制があること」（37.0%）、「医療面についての相談窓口があること」（36.6%）、「障がいや疾患別に必要な物品を手配してくれること」（24.5%）となっている。

年齢別にみると、75歳以上では74歳以下に比べて「移動の介助をしてくれること」（55.4%）や「個別に安否確認をしてくれること」（53.6%）等の割合が高い。

主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では「移動の介助をしてくれること」（59.0%）の割合が6割と顕著に高くなっている。依存症の人は他の診断名と比べると全体的に支援を必要としている割合が低い。

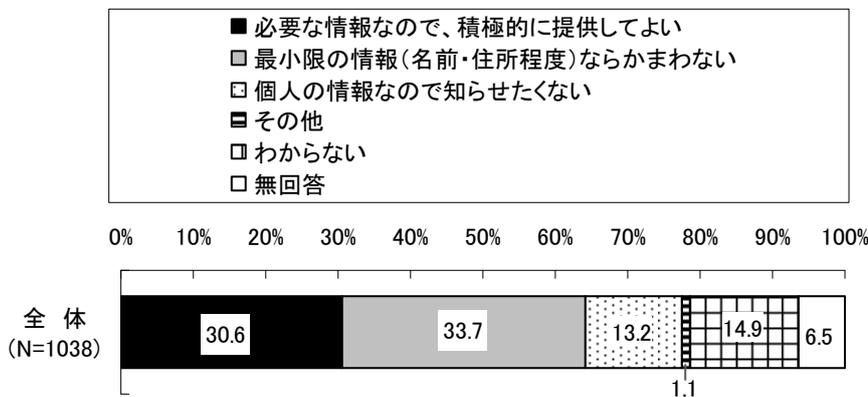
【図表8-134 年齢別、主な診断名（集約）別 災害時に必要な支援】（%）

	調査数（人）	災害時に必要な支援									
		く個別に安否確認をしてくれること	制医療機関の受け入れ体制があること	窓医療面についてとの相談窓口があること	るな障がいや疾患別に必要物品を手配してくれること	が準の備道に意思疎通の支策	め難所に意疎通の支策	避の道に意疎通の支策	る移動の介助をしてくれること	その他	特に必要としない
全体	1038	40.7	37.0	36.6	24.5	17.6	17.1	4.0	17.0	7.3	
年齢	20歳代以下	116	39.7	36.2	37.9	27.6	19.0	12.1	3.4	21.6	5.2
	30歳代	226	40.3	32.3	42.0	31.9	18.1	13.3	4.0	16.4	7.1
	40歳代	254	37.8	39.8	40.6	23.6	13.0	10.6	5.5	18.1	5.1
	50歳代	199	40.2	39.7	30.7	20.1	18.6	15.6	3.5	19.6	7.5
	60～64歳	87	47.1	32.2	27.6	17.2	19.5	20.7	2.3	19.5	8.0
	65～74歳	87	39.1	34.5	36.8	21.8	25.3	26.4	5.7	11.5	9.2
	75歳以上	56	53.6	44.6	32.1	19.6	14.3	55.4	1.8	3.6	14.3
	無回答	13	30.8	46.2	23.1	38.5	23.1	23.1	-	-	23.1
全体	1038	40.7	37.0	36.6	24.5	17.6	17.1	4.0	17.0	7.3	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	44.5	31.8	37.1	29.4	19.7	18.4	5.0	12.7	8.4
	気分（感情）障害	406	40.4	37.7	39.7	22.7	17.7	14.8	3.4	20.0	5.7
	依存症	38	26.3	28.9	21.1	7.9	13.2	7.9	7.9	23.7	18.4
	認知症	39	51.3	43.6	30.8	15.4	20.5	59.0	2.6	2.6	10.3
	その他	240	36.3	40.8	32.9	25.4	14.6	13.8	2.5	18.8	7.1
	無回答	16	50.0	62.5	56.3	25.0	25.0	18.8	18.8	12.5	-

(13) 災害時支援のための事前の個人情報提供意向

問32 あなたは、災害時に行政や地域などからの支援を受けるため、あらかじめ、個人情報（お名前、住所、世帯の状況、障がいの状況、緊急連絡先等）を福岡市などに提供することについて、どう思いますか。（○は1つだけ）

【図表8-135 災害時支援のための事前の個人情報提供意向】



災害時支援のための事前の個人情報提供意向としては、「最小限の情報（名前・住所程度）ならかまわない」（33.7%）と「必要な情報なので、積極的に提供してよい」（30.6%）がいずれも3割を超えている。また、「個人の情報なので知らせたくない」（13.2%）との回答は1割強である。

年齢別にみると、65歳以上の高齢者では「必要な情報なので、積極的に提供してよい」の割合が4割前後を占めてやや高くなっている。一方、40歳代では「個人の情報なので知らせたくない」（20.1%）の割合がやや高く、2割となっている。

主な診断名（集約）別にみると、認知症の人の過半数（51.3%）が「必要な情報なので、積極的に提供してよい」と回答している。

【図表8-136 年齢別、主な診断名（集約）別 災害時支援のための事前の個人情報提供意向】(%)

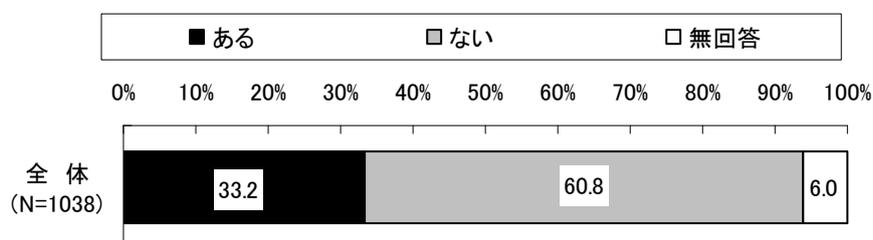
	調査数（人）	災害時支援のための事前の個人情報提供意向						
		積極的に提供してほしい	最小限の情報(名前・住所程度)ならかまわない	個人の情報なので知らせたくない	その他	わからない	無回答	
全体	1038	30.6	33.7	13.2	1.1	14.9	6.5	
年齢	20歳代以下	116	27.6	39.7	12.9	-	14.7	5.2
	30歳代	226	25.7	37.2	14.6	0.9	16.4	5.3
	40歳代	254	28.0	33.5	20.1	2.0	11.0	5.5
	50歳代	199	32.2	35.2	12.1	-	15.1	5.5
	60～64歳	87	35.6	25.3	10.3	2.3	18.4	8.0
	65～74歳	87	42.5	26.4	4.6	1.1	16.1	9.2
	75歳以上	56	39.3	30.4	1.8	1.8	14.3	12.5
	無回答	13	23.1	23.1	-	-	38.5	15.4
全体	1038	30.6	33.7	13.2	1.1	14.9	6.5	
主な診断名（集約）	統合失調症	299	27.8	33.8	13.4	1.0	17.1	7.0
	気分(感情)障害	406	30.5	34.0	15.5	1.7	13.1	5.2
	依存症	38	42.1	26.3	2.6	-	13.2	15.8
	認知症	39	51.3	25.6	-	-	15.4	7.7
	その他	240	27.9	35.8	12.9	0.4	16.3	6.7
	無回答	16	50.0	31.3	12.5	-	6.3	-

## 8. 障がい者に対する差別について

### (1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問33 これまでに、精神疾患があるため、差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。（○は1つだけ）

【図表8-137 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



差別を受けたり、いやな思いをした経験の有無としては、「ない」(60.8%)が6割を占めているが、「ある」(33.2%)と3割強の人が答えている。

年齢別にみると、差別を受けたり、いやな思いをした経験がある人の割合は、40歳代以下で他の年代に比べて高く、4割弱を占めている。

主な診断名(集約)別にみると、「ある」の割合は統合失調症(38.1%)、気分(感情)障害(33.7%)、依存症(26.3%)となっている。

【図表8-138 年齢別、主な診断名(集約)別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】(%)

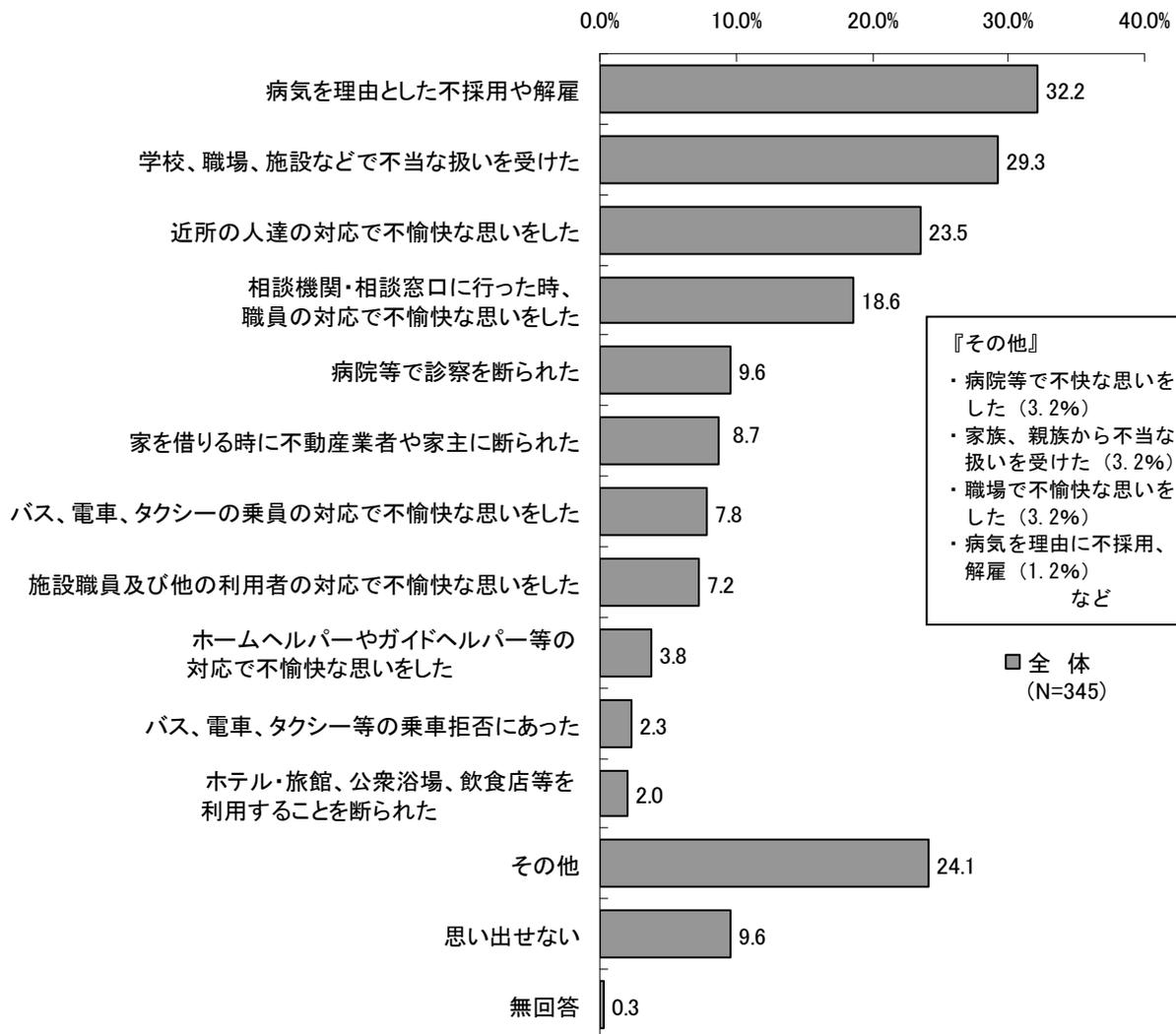
	調査数(人)	差別を受けたり、いやな思いをした経験			
		ある	ない	無回答	
全体	1038	33.2	60.8	6.0	
年齢	20歳代以下	116	37.9	58.6	3.4
	30歳代	226	39.4	55.8	4.9
	40歳代	254	37.0	58.3	4.7
	50歳代	199	33.7	60.8	5.5
	60～64歳	87	24.1	67.8	8.0
	65～74歳	87	23.0	67.8	9.2
	75歳以上	56	8.9	75.0	16.1
無回答	13	38.5	61.5	-	
全体	1038	33.2	60.8	6.0	
主な診断名(集約)	統合失調症	299	38.1	55.5	6.4
	気分(感情)障害	406	33.7	61.3	4.9
	依存症	38	26.3	60.5	13.2
	認知症	39	-	87.2	12.8
	その他	240	32.9	61.7	5.4
	無回答	16	31.3	68.8	-

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問33で「1. ある」を選ばれた方におたずねします]

問33-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表8-139 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



障がいのために差別を受けたり、いやな思いをしたことがある人の、その内容としては、「病気を理由とした不採用や解雇」(32.2%)が最も多く、次いで「学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた」(29.3%)、「近所の人達の対応で不愉快な思いをした」(23.5%)、「相談機関・相談窓口に行った時、職員の対応で不愉快な思いをした」(18.6%)となっている。

年齢別にみると、50歳代以下では60歳代以上に比べて「病気を理由とした不採用や解雇」の割合が高く、3~4割を占めている。また、30~50歳代では「相談機関・相談窓口に行った時、職員の対応で不愉快な思いをした」の割合も2割を超えて高くなっている。

主な診断名(集約)別にみると、気分(感情)障害及びその他では「病気を理由とした不採用や解雇」「学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた」の割合が高い。

【図表8-140 年齢別、主な診断名（集約）別 差別を受けたり、いやな思いをした内容】（%）

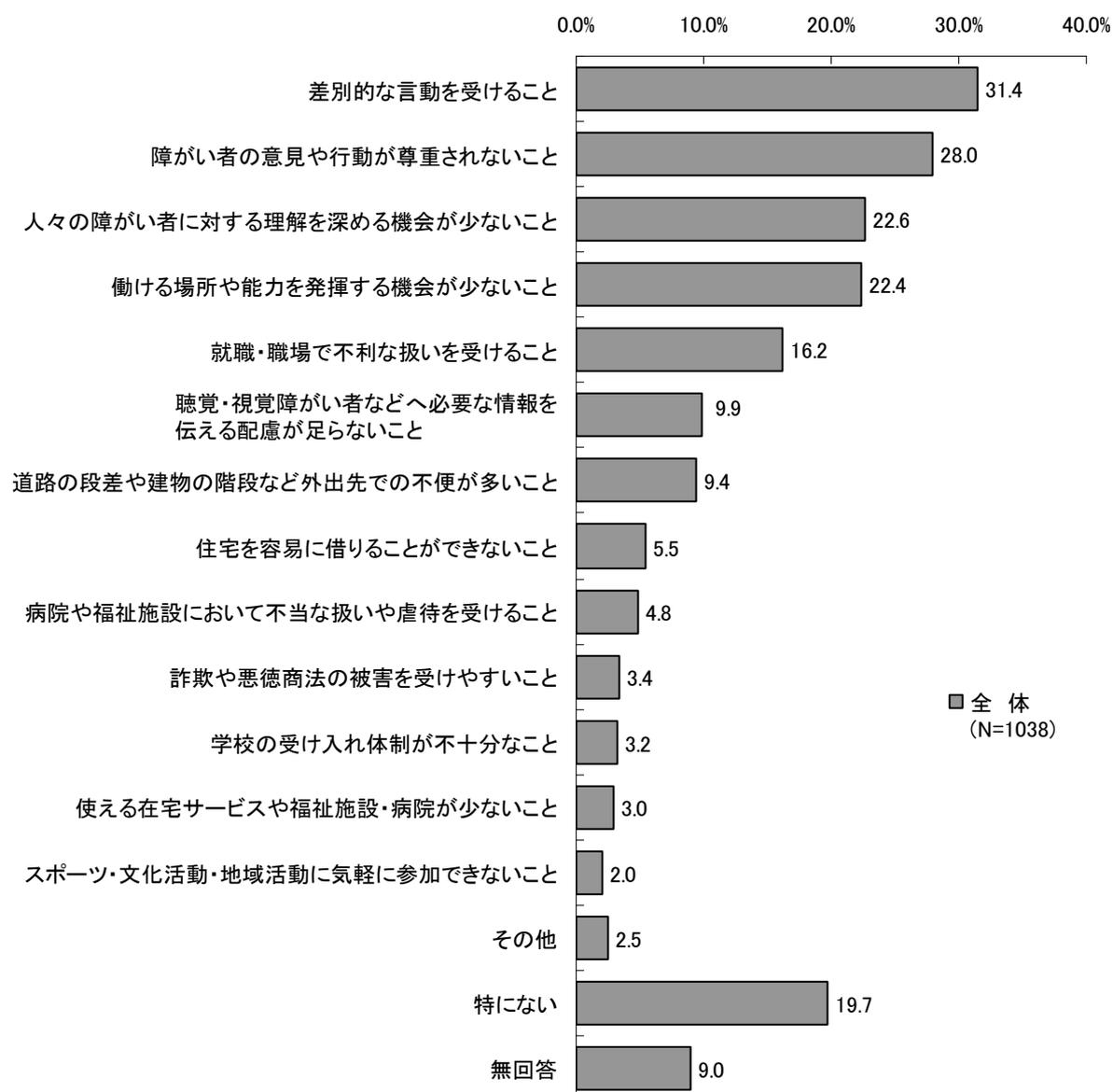
	調査数（人）	差別を受けたり、いやな思いをした内容														
		病気を理由とした不採用や解雇	学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた	近所の人達の対応で不愉快な思いをした	相談機関・相談窓口に行った時、職員対応で不愉快な思いをした	病院等で診察を断られた	家を借りる時に不動産業者や家主に断られた	快な思いをした	バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした	施設職員及び他の利用者の対応で不愉快な思いをした	ホームヘルパーやガイドヘルパー等の対応で不愉快な思いをした	バス、電車、タクシー等の乗車拒否にあつた	ホテル・旅館、公衆浴場、飲食店等を利用することを断られた	その他	思い出せない	無回答
全体	345	32.2	29.3	23.5	18.6	9.6	8.7	7.8	7.2	3.8	2.3	2.0	24.1	9.6	0.3	
年齢	20歳代以下	44	40.9	50.0	13.6	2.3	4.5	6.8	9.1	4.5	2.3	-	-	11.4	11.4	-
	30歳代	89	38.2	30.3	23.6	23.6	12.4	14.6	12.4	11.2	7.9	3.4	3.4	28.1	5.6	-
	40歳代	94	33.0	31.9	26.6	24.5	12.8	5.3	7.4	6.4	2.1	2.1	2.1	23.4	7.4	-
	50歳代	67	29.9	23.9	25.4	20.9	7.5	11.9	6.0	6.0	3.0	3.0	3.0	31.3	6.0	-
	60～64歳	21	19.0	9.5	23.8	4.8	-	4.8	-	4.8	-	-	-	19.0	23.8	4.8
	65～74歳	20	10.0	15.0	25.0	10.0	5.0	-	5.0	10.0	5.0	5.0	-	20.0	25.0	-
	75歳以上	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-
	無回答	5	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-
全体	345	32.2	29.3	23.5	18.6	9.6	8.7	7.8	7.2	3.8	2.3	2.0	24.1	9.6	0.3	
主な診断名（集約）	統合失調症	114	24.6	22.8	24.6	16.7	9.6	7.0	8.8	8.8	5.3	2.6	3.5	28.9	12.3	-
	気分（感情）障害	137	37.2	34.3	21.9	18.2	9.5	8.8	7.3	6.6	2.9	1.5	2.2	22.6	7.3	0.7
	依存症	10	40.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	-	20.0	-	10.0	-	-	30.0	-
	認知症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	79	34.2	30.4	21.5	20.3	8.9	10.1	8.9	5.1	3.8	1.3	-	24.1	7.6	-
	無回答	5	20.0	40.0	80.0	60.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-

## 9. 障がい者福祉全般について

## (1) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問34 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。（〇は3つまで）

【図表8-141 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



障がい者の人権に関しての問題としては、「差別的な言動を受けること」(31.4%)が最も多く、次いで「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」(28.0%)、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(22.6%)、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(22.4%)となっている。

年齢別にみると、30歳代以下の若年者では「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」や「就職・職場で不利な扱いを受けること」等の割合が高い。また、「差別的な言動を受けること」の割合は若い年代ほど高く、20歳代以下では4割強(43.1%)を占めている。

主な診断名(集約)別にみると、統合失調症の人では「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」(33.8%)、認知症の人では「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」(23.1%)や「使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと」(12.8%)の割合が他に比べて高い。

【図表8-142 年齢別、主な診断名（集約）別  
障がい者の人権に関して問題があると思うこと】（%）

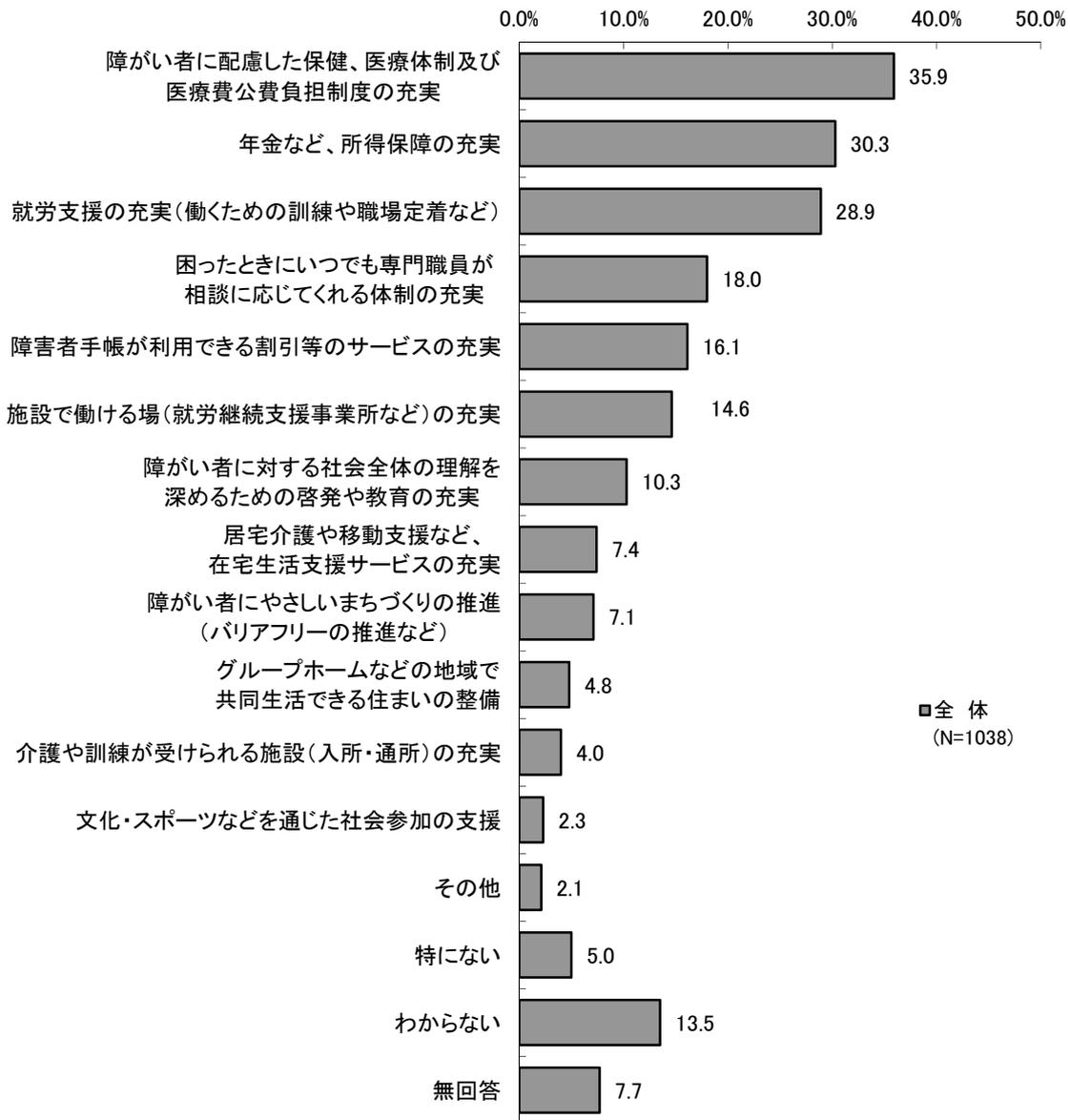
	調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
		こ と 差 別 的 な 言 動 を 受 け る	が 障 が い 者 の 意 見 や 行 動	少 な い 解 を 深 め る 機 会 が す	と 揮 働 す る 機 会 が 少 な い こ	働 け る 機 会 が 少 な い こ	い 就 職 を 受 け る こ と	る ど 聴 覚 が 要 な 情 報 を 伝 え な	が 段 道 路 の 外 出 先 で の 不 便	と 住 宅 を 容 易 に 借 り る こ
全 体	1038	31.4	28.0	22.6	22.4	16.2	9.9	9.4	5.5	
年 齢	20歳代以下	116	43.1	31.9	21.6	26.7	22.4	8.6	2.6	6.0
	30歳代	226	36.3	38.1	23.5	27.0	26.1	11.5	4.4	4.9
	40歳代	254	35.0	26.4	26.4	26.4	16.5	10.6	10.2	7.1
	50歳代	199	28.6	28.1	26.1	25.6	11.1	9.5	12.1	6.0
	60～64歳	87	21.8	20.7	19.5	8.0	6.9	12.6	10.3	3.4
	65～74歳	87	23.0	18.4	13.8	10.3	6.9	4.6	12.6	3.4
	75歳以上	56	10.7	12.5	12.5	8.9	8.9	10.7	23.2	5.4
	無回答	13	23.1	30.8	15.4	15.4	15.4	-	15.4	-
全 体	1038	31.4	28.0	22.6	22.4	16.2	9.9	9.4	5.5	
主 な 診 断 名 （ 集 約 ）	統合失調症	299	31.8	33.8	22.4	23.1	12.4	6.0	3.3	5.4
	気分（感情）障害	406	33.3	25.1	25.9	25.1	19.7	11.8	10.6	6.2
	依存症	38	21.1	18.4	31.6	10.5	13.2	7.9	10.5	2.6
	認知症	39	10.3	7.7	12.8	10.3	5.1	7.7	23.1	7.7
	その他	240	32.5	30.4	17.9	20.8	17.1	11.3	12.9	5.0
	無回答	16	37.5	31.3	18.8	25.0	18.8	25.0	6.3	-

	調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
		受 け る こ と 不 当 な 扱 い や 虐 待 を い	を 詐 欺 や 悪 徳 商 法 の 被 害	不 十 分 な 受 け 入 れ 体 制 が	い 福 祉 施 設 ・ 病 院 が 少 な い こ と	使 え る 在 宅 サ ー ビ ス や	地 域 活 動 に 気 軽 に 参 加 ・	ス ポ ー ツ ・ 文 化 活 動 に 参 加 ・	そ の 他	特 に な い
全 体	1038	4.8	3.4	3.2	3.0	2.0	2.5	19.7	9.0	
年 齢	20歳代以下	116	8.6	6.0	7.8	0.9	5.2	0.9	13.8	6.0
	30歳代	226	6.2	3.5	4.4	0.9	2.7	1.3	14.2	9.3
	40歳代	254	4.3	1.2	2.0	2.0	1.2	3.9	18.5	5.9
	50歳代	199	4.0	3.5	3.0	4.5	1.0	3.0	19.1	7.0
	60～64歳	87	2.3	3.4	2.3	1.1	2.3	3.4	32.2	9.2
	65～74歳	87	3.4	4.6	1.1	6.9	1.1	1.1	29.9	18.4
	75歳以上	56	1.8	5.4	-	10.7	1.8	3.6	26.8	17.9
	無回答	13	7.7	-	-	7.7	-	-	15.4	15.4
全 体	1038	4.8	3.4	3.2	3.0	2.0	2.5	19.7	9.0	
主 な 診 断 名 （ 集 約 ）	統合失調症	299	6.0	2.7	2.3	2.3	2.7	2.3	23.4	8.7
	気分（感情）障害	406	4.4	3.7	3.0	2.2	1.2	2.2	17.5	7.6
	依存症	38	-	2.6	5.3	2.6	-	2.6	23.7	18.4
	認知症	39	2.6	7.7	-	12.8	2.6	5.1	30.8	15.4
	その他	240	5.0	2.5	4.2	3.3	2.9	2.9	17.5	8.3
	無回答	16	6.3	12.5	12.5	6.3	-	-	-	18.8

(2) 障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと

問35 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。（〇は3つまで）

【図表8-143 障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと】



障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこととしては、「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(35.9%)が最も多く、次いで「年金など、所得保障の充実」(30.3%)、「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」(28.9%)となっている。

年齢別にみると、「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」の割合は40歳代以下で他の年代に比べて高く、特に20歳代以下では4割強(43.1%)を占めている。また、65歳以上の高齢者では「居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実」の割合が高い。

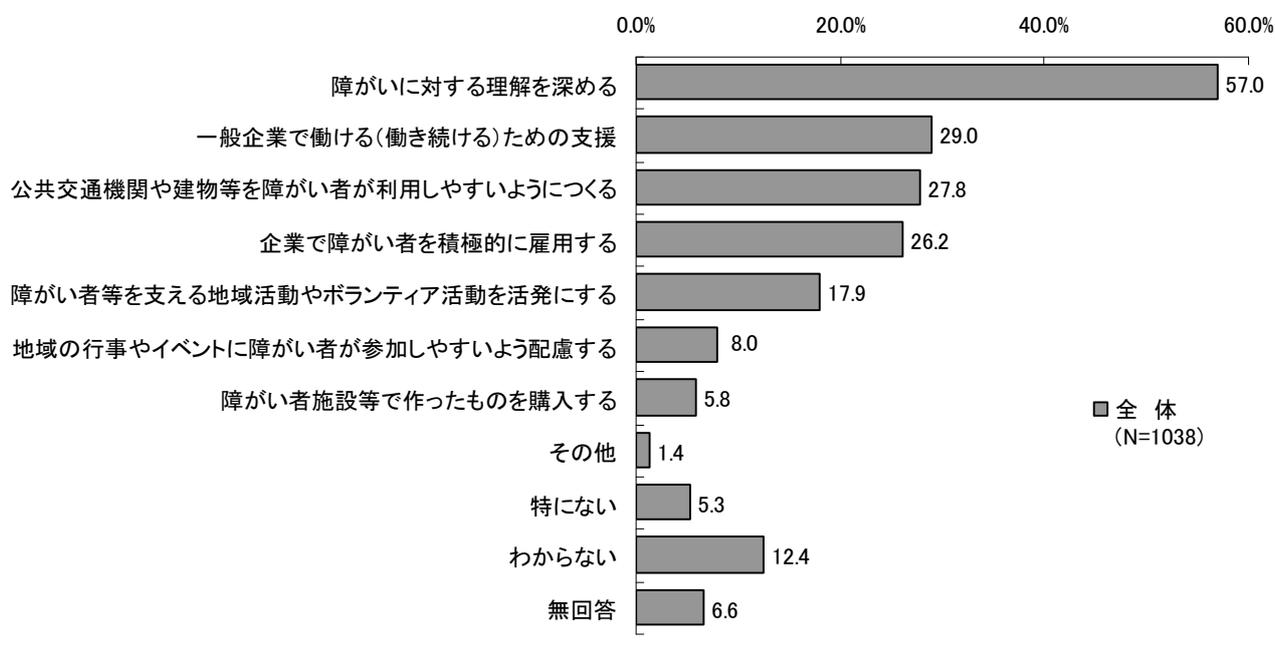
主な診断名(集約)別にみると、統合失調症の人では「障がい者手帳が利用できる割引等のサービスの充実」(24.1%)が他の疾患と比べ割合が高くなっている。



(3) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと

問36 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。（〇は3つまで）

【図表8-145 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】



障がい者支援として地域社会や企業等に望むこととしては、「障がいに対する理解を深める」(57.0%)が最も多く、次いで「一般企業で働ける(働き続ける)ための支援」(29.0%)、「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」(27.8%)、「企業で障がい者を積極的に雇用する」(26.2%)となっている。

年齢別に詳細にみると、「障がいに対する理解を深める」の割合は40歳代以下で高く、6割を超えている。また、「一般企業で働ける(働き続ける)ための支援」や「企業で障がい者を積極的に雇用する」の割合は50歳代以下で高い。

主な診断名(集約)別にみると、気分(感情)障害の人では他に比べて「障がいに対する理解を深める」(62.6%)や「一般企業で働ける(働き続ける)ための支援」(35.5%)の割合が高くなっている。

【図表8-146 年齢別、主な診断名（集約）別  
障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】（%）

	調査数（人）	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと										
		障がいに対する理解を深める	一般企業での働き続けるための支援	公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる	企業で障がい者を積極的に雇用する	障がい者等を支える地域活動やボランティア活動を活発にする	地域の行事やイベントに障がい者が参加しやすいよう配慮する	障がい者施設等で作ったものを購入する	その他	特になし	わからない	無回答
全体	1038	57.0	29.0	27.8	26.2	17.9	8.0	5.8	1.4	5.3	12.4	6.6
年齢	20歳代以下	116	64.7	44.8	31.9	31.0	13.8	3.4	1.7	1.7	10.3	4.3
	30歳代	226	63.3	32.3	29.2	31.9	15.0	7.1	6.6	0.4	1.8	12.4
	40歳代	254	61.4	35.4	30.7	30.3	18.9	6.3	4.7	1.6	3.5	9.4
	50歳代	199	54.3	26.6	28.1	26.6	18.6	11.6	6.5	1.5	6.0	13.1
	60～64歳	87	43.7	13.8	23.0	13.8	26.4	6.9	3.4	3.4	13.8	18.4
	65～74歳	87	46.0	13.8	21.8	9.2	18.4	14.9	6.9	1.1	11.5	16.1
	75歳以上	56	41.1	8.9	17.9	21.4	16.1	8.9	12.5	1.8	8.9	16.1
	無回答	13	69.2	30.8	23.1	15.4	23.1	-	-	-	7.7	-
全体	1038	57.0	29.0	27.8	26.2	17.9	8.0	5.8	1.4	5.3	12.4	6.6
主な診断名（集約）	統合失調症	299	54.2	23.7	29.1	26.1	18.4	9.7	5.0	1.7	8.0	12.4
	気分（感情）障害	406	62.6	35.5	30.5	27.6	17.0	6.7	4.2	1.7	3.4	9.6
	依存症	38	42.1	18.4	13.2	23.7	31.6	7.9	2.6	2.6	5.3	21.1
	認知症	39	46.2	10.3	17.9	30.8	15.4	12.8	12.8	-	7.7	17.9
	その他	240	55.8	27.5	26.3	22.9	17.5	6.7	7.5	0.8	5.0	15.0
	無回答	16	50.0	56.3	18.8	37.5	12.5	18.8	25.0	-	-	12.5